HP Photosmart C6100 All-in-One series

ベーシック ガイド

HP Photosmart C6100 All-in-One series

ベーシック ガイド

出版番号： Q8191-90266

Hewlett-Packard 社の告知

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の明示的保証規定に記載されているものに限られます。ここに記載の何ものも、追加保証を構成すると解釈されるものではありません。HP は、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねます。

目次

1　安全に関する注意事項

安全にお使いいただくために

安全に関わる表示

本機を取り扱う前に、まずこのページの「安全にかかわる表示」をお読みください。続いて「安全にお使いいただくために」、および「設置場所について」をよく読んで、安全にお使いいただくための注意事項にご留意ください。

本機を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って本機を準備してください。本書には、本機のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについての情報も記載されています。

本書では、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は、次のような意味を持つものとして定義されています。

⚠警告	指示を守らないと、死亡または重傷を負うおそれがあることを示しています。
⚠注意	指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物理的損害の発生のおそれがあることを示しています。

⚠警告

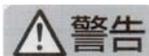
分解・改造・修理はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本機が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

For safety use i

⚠警告

指定以外の電源を使わない

電源は必ず指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電のおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源ボタンを OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後カスタマ・ケア・センタにご連絡ください。そのまま使用すると火災になるおそれがあります。

動作中の装置に手を入れない

装置の動作中は中に手を入れないでください。けがをするおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れるので、コンセントが加熱して火災になるおそれがあります。

電源コードを引っ張ったりねじ曲げたりしない

電源プラグを抜くときは必ずプラグ部分を持って行ってください。また、電源コードを無理に曲げたりねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。

本機内に水や異物をいれない

本機内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災になったり、感電や故障するおそれがあります。もし、入ってしまったときは、すぐに電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜き、カスタマ・ケア・センタに連絡してください。

関わる

本機の設置場所を決めるときは、次のことに注意してください。

- ほこり・湿気の多い場所に置かない
- 不安定な場所に置かない
- 温度変化の激しい場所に置かない
- お子様の手の届くところに置かない
- お子様の手の届くところに置かない
- じゅうたんを敷いた場所で使用しない
- 腐食性ガスの発生する場所で使用しない
- 直射日光の当たる場所に置かない

ii for safety use

2　HP All-in-One の概要

HP All-in-One を使用すれば、コピー作成、文書スキャン、写真印刷などの操作をメモリ カードからすばやく簡単に実行できます。 HP All-in-One に備わった機能の多くは、コンピュータを使わなくてもコントロール パネルから直接利用することができます。

注記　本ガイドには、基本操作やトラブルシューティングに関する説明と、HP サポートの連絡先やサプライ品の注文についての情報が記載されています。

オンスクリーン ヘルプには、HP All-in-One に付属の HP Photosmart ソフトウェアの使用方法をはじめ、あらゆる機能についての詳細な情報が記載されています。詳細については、オンスクリーン ヘルプの利用を参照してください。

写真の印刷

HP All-in-One にはメモリ カード スロットと前面 USB ポートがあり、コンピュータに写真をアップロードしなくても、メモリ カードやストレージ デバイスから写真を印刷したり編集することができます。 また、HP All-in-One がネットワーク接続されていたり、USB ケーブルでコンピュータに接続されている場合は、写真をコンピュータに転送して印刷、編集、共有を行うこともできます。

コンピュータからの印刷

HP All-in-One は印刷が可能であれば、どのソフトウェアからでも使用できます。フチ無し印刷、ニュース レター、グリーティング カード、アイロン プリント紙、ポスターなどのさまざまな用途の印刷に対応しています。

コピー

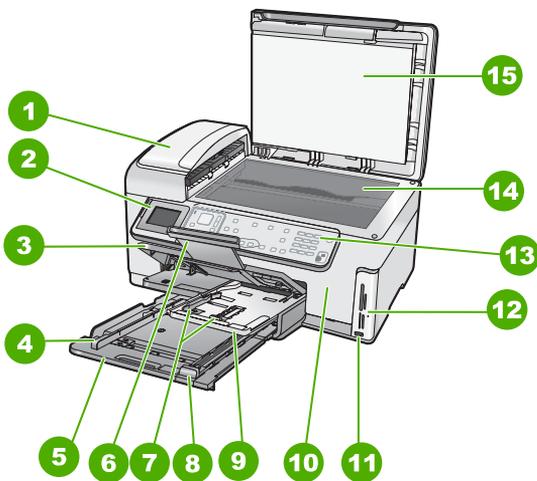
HP All-in-One を使用すると、高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーをさまざまな種類の用紙で作成できます。原稿のサイズを特定の用紙サイズに合わせて拡大/縮小したり、コピーの濃淡を調整したり、特別なコピー機能を使用してフチ無しコピーなど、写真の高品質コピーを作成したりすることもできます。

スキャン

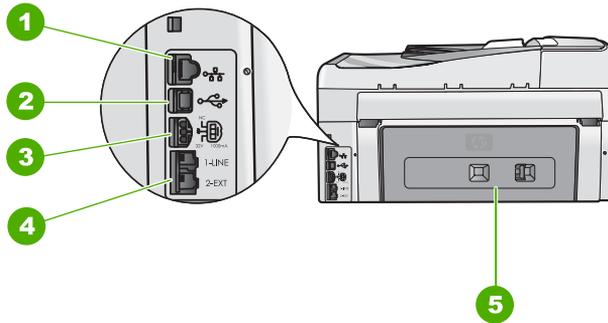
スキャンとは、コンピュータで使用できるように、文字や写真を電子的な形式に変換するプロセスのことです。HP All-in-One にセットできれば、ほとんど何でもスキャンできます (写真、雑誌の記事、文字文書など)。

ファクス

HP All-in-One を使用して、カラー ファクスを含むファクスの送受信ができます。よく使用するファクス番号にすばやく簡単にファクスを送信するには、短縮ダイヤル番号を設定できます。コントロール パネルで、解像度や送信するファクスの薄さ/濃さのコントラストなど、さまざまなファクスのオプションも設定できます。

HP All-in-One 各部の説明

番号	説明
1	自動ドキュメント フィーダ
2	カラー グラフィック ディスプレイ (ディスプレイ)
3	排紙トレイ
4	メイン給紙トレイの横方向用紙ガイド
5	メイン給紙トレイ (給紙トレイ)
6	延長排紙トレイ (用紙補助トレイ)
7	フォト トレイの横方向および縦方向用紙ガイド
8	メイン給紙トレイの縦方向用紙ガイド
9	フォト トレイ
10	プリント カートリッジ アクセスドア
11	カメラまたはその他のストレージ デバイス用、前面 USB ポート
12	メモリ カード スロットとフォト ランプ
13	コントロール パネル

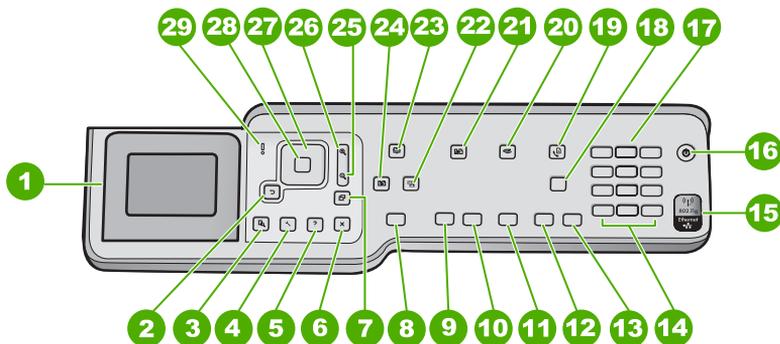
(続き)

番号	説明
14	ガラス板
15	原稿押さえ

番号	説明
1	Ethernet ポート
2	後部 USB ポート
3	電源コネクタ*
4	1-LINE (ファクス) および 2-EXT (電話) ポート
5	後部アクセスドア

* HP 提供の電源アダプタ以外は使用しないでください。

コントロール パネルの機能

次の図と表を使って、HP All-in-One のコントロール パネルの機能について説明します。

HP All-in-One の概要

番号	名称および説明
1	カラー グラフィック ディスプレイ (またはディスプレイ) : メニュー、写真、およびメッセージを表示します。ディスプレイは、見やすい位置にくるように角度を調整できます。
2	戻るボタン:ディスプレイの前の画面に戻ります。
3	プレビュー : コピーまたは写真ジョブのプレビューを表示します。
4	セットアップ : レポートを生成し、ファクスとネットワーク設定の変更、ツールと基本設定へのアクセスに使用する [セットアップ メニュー] メニューを表示します。
5	ヘルプ : ディスプレイに [ヘルプ メニュー] メニューが開き、各トピックの詳細を確認できます。選択したトピックによって、内容がディスプレイに表示される場合とコンピュータ画面に開く場合があります。
6	キャンセル : 現在の操作を中止し、メイン画面に戻ります。
7	回転 : 現在表示されている写真が 90 度右回りに回転します。続けて押すと、90 度ずつ回転します。
8	フォト プリント : メモリ カードで選択した写真を印刷します。現在選択されている写真がない場合は、ディスプレイに表示されている写真が印刷されます。アイドル状態のときに フォト プリント ボタンを押すと、[**Photosmart Express**] メニューが表示されます。
9	コピー スタート - モノクロ : モノクロ コピーを開始します。
10	コピー スタート - カラー : カラー コピーを開始します。
11	スキャン スタート : アイドル状態から スキャン スタート ボタンを押すと、スキャンの送信先を選択するための [スキャン メニュー] が開きます。既に [スキャン メニュー] を開いている場合は、スキャン ジョブをハイライト表示された送信先に送ります。
12	ファクス スタート - モノクロ : モノクロ ファクスの送信を開始します。
13	ファクス スタート - カラー : カラー ファクスの送信を開始します。
14	スペース および **#** : ファクス操作で使用するスペースとポンド記号を入力します。 記号 および * : ファクス操作で使用する記号とアスタリスクを入力します。
15	ワイヤレス ランプ : 802.11 b および g 無線がオンになっていることを示します。
16	**On** : HP All-in-One のオン/オフを切り替えます。HP All-in-One の電源をオフにしていても、本体には必要最小限の電力が供給されています。電力

(続き)

番号	名称および説明
	を完全に絶つには、HP All-in-One の電源を切り、電源コードを抜きます。
17	キーパッド: ファクス番号や値、文字を入力します。
18	自動応答 このボタンが点灯している場合、HP All-in-One は自動的に着信に応答します。 ランプが点灯していない場合は、着信に応答しません。
19	ファクス メニュー ：ファクス番号を入力するための [ファクス番号を入力] 画面を表示します。もう一度押すと、ファクス オプションを選択するための [ファクス メニュー] 画面が表示されます。
20	スキャン メニュー ：スキャンの送信先を指定する [スキャン メニュー] を開きます。
21	コピーメニュー ：コピー枚数、用紙サイズなどコピー オプションを選択します。
22	写真の修正 ：これをオンにすると、表示または印刷する写真を自動的に調整します。利用できる機能には、カラー効果、写真の明度、フレーム、赤目の補正などの機能があります。 写真の修正 ボタンを押して、この機能のオフとオンを切り替えます。デフォルトで、この機能はオンに設定されています。
23	Photosmart Express ：写真の印刷、保存、編集、共有を行うための [Photosmart Express] メニューが起動します。
24	再印刷 ：写真をスキャンして印刷します。
25	ズームアウト：ズームアウトは、ディスプレイ上で写真全体を表示したり、同時に複数の写真を表示します。
26	ズームイン：ズームインは、ディスプレイ上で画像を拡大します。このボタンは、印刷時にトリミング ボックスを調整する場合にも使用できます。
27	指示パッド：上下左右の矢印ボタンを押して、メニュー オプション間をスクロールできます。 写真をズームインしている場合は、矢印ボタンを使って写真を動かし、印刷する特定の領域を選択することもできます。
28	OK ：ディスプレイに表示されるメニュー、設定、または値を選択します。
29	注意ランプ：問題が発生したことを示します。詳細は、ディスプレイを参照してください。

HP Photosmart ソフトウェアの使用

HP All-in-One にインストールした HP Photosmart ソフトウェア (Windows) または HP Photosmart Mac ソフトウェア (Mac) を使用すれば、コントロール パネルからは利用できない数多くの機能にアクセスすることができます。ソフトウェアを使用すると、写真のプリントの作成やオンラインでのプリントの印刷を短時間で簡単に行うことができます。このほかに、写真の保存、表示、共有などのソフトウェアの基本機能を使用することもできます。

ソフトウェアの詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。

詳細

印刷物およびオンスクリーンで、さまざまなリソースから、HP All-in-One の設定と使用方法に関する情報が得られます。

- **セットアップ ガイド**
  『セットアップ ガイド』では、HP All-in-One のセットアップやソフトウェアのインストール方法について説明します。『セットアップ ガイド』に記載された手順を順序どおりに行ってください。
  セットアップ中に問題が生じた場合、『セットアップ ガイド』の最後のセクションにあるトラブルシューティング、または本ガイドの トラブルシューティングとサポートを参照してください。
- **HP Photosmart ソフトウェア ツアー** (Windows)
  HP Photosmart ソフトウェア のツアーは、HP All-in-One に含まれるソフトウェアの概要を対話形式で、しかも楽しみながら理解できるように構成されています。HP All-in-One と共にインストールしたソフトウェアを使って、写真を編集、整理、印刷する方法がわかります。
- **オンスクリーン ヘルプ**
  オンスクリーン ヘルプは、HP All-in-One と共にインストールしたソフトウェアでしかご利用になれない機能をはじめ、本『ベーシック ガイド』には記載されていない HP All-in-One の機能について詳しく説明します。
  詳細については、オンスクリーン ヘルプの利用を参照してください。
- **デバイスから表示するヘルプ**
  ヘルプは使用しているデバイスから直接利用でき、選択したトピックについての追加情報が得られます。
  コントロール パネルからヘルプにアクセスするには ヘルプ ボタンを押します。
- **Readme**
  Readme ファイルには、その他の出版物には含まれていない最新情報が収録されています。Readme ファイルにアクセスするには、ソフトウェアをインストールします。
- www.hp.com/support
  インターネットにアクセス可能な場合は、HP Web サイトからヘルプやサポートを入手することができますこの Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。

オンスクリーン ヘルプの利用

このガイドでは、HP All-in-One の使用をすぐに開始できるように、主な機能について説明します。HP All-in-One が対応するすべての機能については、デバイス付属のオンスクリーン ヘルプをよくお読みください。

Windows コンピュータで [HP Photosmart ソフトウェア ヘルプ] にアクセスするには

1. HP ソリューション センター で、HP All-in-One のタブをクリックします。
2. **[ヘルプとサポート]** をクリックします。

[HP Photosmart Mac ヘルプ] にアクセスするには

➔ HP Photosmart Studio で **[ヘルプ]** メニューを開き、 **[HP Photosmart Mac ヘルプ]** を選択します。
[HP Photosmart Mac ヘルプ] が表示されます。

3 ネットワーク設定

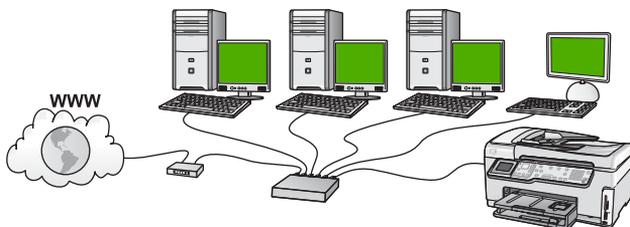
ここでは、HP All-in-One をネットワークに接続する方法とネットワーク設定を表示し、管理する方法について説明します。

実行する項目	参照先
有線 (Ethernet) ネットワークに接続する	有線ネットワークの設定
アクセス ポイント (802.11) を使用してワイヤレス ネットワークに接続する	内蔵ワイヤレス WLAN 802.11 ネットワークの設定
アクセス ポイントを使用しないでワイヤレス ネットワークに接続する	ワイヤレス アドホック ネットワークの設定
ネットワーク環境で使用するために HP All-in-One ソフトウェアをインストールする	ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする
ネットワークの複数のコンピュータへの接続を追加する	ネットワーク上の複数のコンピューターに接続する
USB 接続からネットワーク接続へ HP All-in-One を切り替える 注記　ここで説明する手順は、USB 接続で設置した HP All-in-One を後からワイヤレスまたは Ethernet ネットワーク接続に変更する場合に使用してください。	HP All-in-One を USB 接続からネットワーク接続に切り替える
ネットワーク設定を表示または変更する	ネットワーク設定の変更
トラブルシューティング情報を取得する	ネットワークのトラブルシューティング

注記　HP All-in-One はワイヤレスまたは有線ネットワークのどちらにも接続できますが、両方同時に接続することはできません。

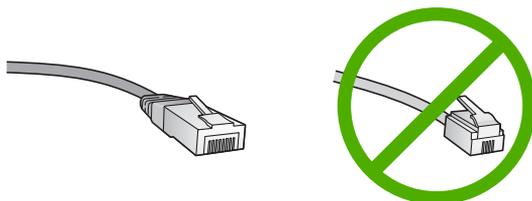
有線ネットワークの設定

ここでは、HP All-in-One をルーター、スイッチ、またはハブに Ethernet ケーブルで接続してネットワーク接続用に HP All-in-One をインストールする方法

について説明します。この方法は有線または Ethernet ネットワークとして知られています。

有線ネットワークに必要なもの

HP All-in-One をネットワークに接続するために必要なものがすべて揃っていることを確認します。

❑ Ethernet ポート、ルーター、スイッチ、ハブを含む、正常に稼動する Ethernet ネットワーク

❑ CAT-5 Ethernet ケーブル

標準の Ethernet ケーブルは普通の電話ケーブルと似ていますが、互換性はありません。 この 2 種類のケーブルでは線の本数が異なり、また異なるコネクタが付いています。 Ethernet ケーブル コネクタ (すなわち RJ-45 コネクタ) は幅が広く厚みがあり、末端の接触部分は常に 8 箇所あります。 電話ケーブルのコネクタは接触部分が 2 箇所から 6 箇所の間です。

❑ Ethernet 接続可能なデスクトップ、またはラップトップ コンピュータ

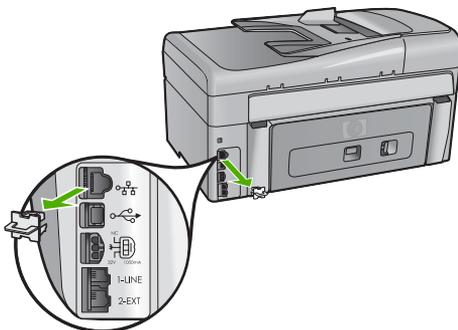
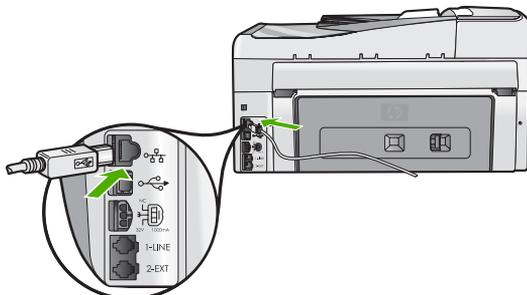
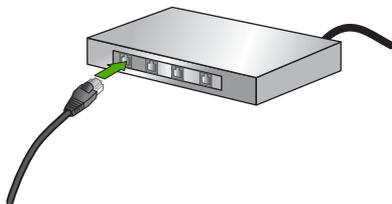
注記　HP All-in-One は 10 Mbps および 100 Mbps Eithernet ネットワークへ接続可能です。 ネットワーク インターフェース カード (NIC) の購入をお考え場合、または既にご購入済みの場合、この両方の速度で動作することを確認してください。

❑ ケーブルまたは DSL などのブロードバンド インターネット アクセスを推奨します。HP All-in-One から直接 HP Photosmart 共有 にアクセスする場合には、ブロードバンド インターネット アクセスが必要です。

HP All-in-One をネットワークに接続する

Ethernet ポートは、HP All-in-One の背面に装備されています。

HP All-in-One をネットワークに接続する

1. HP All-in-One の後部からイエローのプラグを抜きます。

2. HP All-in-One 背面の Ethernet ポートに Ethernet ケーブルを接続します。

3. Ethernet ケーブルのもう一方の端を Ethernet ルーター、スイッチの空いているポートに接続します。

4. HP All-in-One がネットワークに接続されたら、ソフトウェアをインストールします。

ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする

このセクションでは、HP All-in-One ソフトウェアをネットワークに接続されたコンピュータへインストールする方法について説明します。本ソフトウェアをインストールする前に、HP All-in-One をネットワークに接続しておいてください。

ネットワーク設定

注記 1　コンピュータが一連のネットワーク ドライブに接続するよう設定する場合、ソフトウェアをインストールする前に、コンピュータが現在それらのドライブに接続されていることを確認してください。 そうしないと、インストール ソフトウェアがネットワーク ドライブに割り当てられた予約済みドライブ名を使用する可能性があり、そのネットワーク ドライブ名へのアクセスが不可能になります。

注記 2　インストールに要する時間は、お使いの OS、空いているディスク スペース、プロセッサの速度などによって異なりますが、20 分から 45 分かかります。

Windows 用の HP All-in-One ソフトウェアをインストールするには

1. コンピュータで実行中のアプリケーションおよびファイヤーウォールまたはウィルス検出ソフトウェアをすべて終了します。
2. HP All-in-One に付属する Windows 用の CD をお使いのコンピュータ の CD-ROM ドライブに挿入し、画面の指示に従います。
3. ファイヤーウォールに関するダイアログ ボックスが表示されたら、次のように対応してください。
   – **[インストール停止の問題]** に関する画面が表示されたら、実行中のファイヤーウォールまたはアンチスパイウェア プログラムにより HP ソフトウェアのインストールが妨害されている可能性があります。インストール中は、一時的にファイヤーウォールまたはアンチスパイウェア プログラムを無効にしてください。手順については、ファイヤーウォール付属のマニュアルを参照してください。インストールが完了したら、ファイヤーウォールまたはアンチスパイウェア プログラムをまた有効にしてください。

     注記　ファイヤーウォールまたはアンチスパイウェア プログラムを無効にした後に **[インストール停止の問題]** 画面が表示されても、インストールを引き続き実行してください。

   – **[ファイヤーウォールに関する注意]** は、Microsoft のインターネット接続用ファイヤーウォールまたは Windows ファイヤーウォールが有効であることを意味します。**[次へ]** をクリックして、セットアップ プログラムで必要なポートをオープンし、インストールを続行できるようにします。HP 提供のプログラムに対して **[Windows のセキュリティ警告]** が表示された場合、このプログラムのブロックを解除してください。
4. **[接続タイプ]** 画面で **[ネットワークを介して接続]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
   セットアップ プログラムがネットワーク上の HP All-in-One を探している間､**[検索中]** 画面が表示されます。

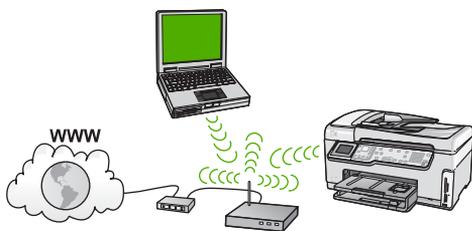
5. **[プリンタが見つかりました]** 画面で、そのプリンタについての詳細が正しいことを確認してください。
   ネットワーク上で複数のプリンタが検出されると、**[複数のプリンタが見つかりました]** 画面が表示されます。接続する HP All-in-One を選択してください。
   HP All-in-One のデバイス設定を確認するには、ネットワーク構成ページを印刷します。
6. デバイスの説明が正しい場合、**[はい、このプリンタをインストールします]** を選択します。
7. コンピュータの再起動をメッセージに合わせて行い、インストール処理を終了します。
   ソフトウェアのインストールが完了したら、HP All-in-One の準備は完了です。
8. ファイヤーウォールやウィルス検出ソフトウェアを無効にしていた場合は、もう一度有効にしてください。
9. ネットワークへの接続を確認するには、お使いのコンピュータから HP All-in-One へセルフテスト レポートの印刷を行います。

Mac 用の HP All-in-One ソフトウェアをインストールするには

1. お使いの Mac で実行中のアプリケーションをすべて終了します。
2. HP All-in-One に付属する Macintosh 用の CD をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
3. HP All-in-One の **[installer]** アイコンをダブルクリックします。
4. **[認証]** ダイアログで、お使いの Mac やネットワークへのアクセスに使用される、管理者用パスワードを入力してください。
   インストーラ ソフトウェアによって、HP All-in-One デバイスが検索されます。
5. **[HP Installer]** ダイアログで、言語と、接続する HP All-in-One を選択します。
6. 画面上の指示に従って、**[設定アシスタント]** を含む全てのインストール作業を完了してください。
   ソフトウェアのインストールが完了したら、HP All-in-One の準備は完了です。
7. ネットワークへの接続を確認するには、お使いの Mac から HP All-in-One へセルフテスト レポートの印刷を行います。

内蔵ワイヤレス WLAN 802.11 ネットワークの設定

ワイヤレス ネットワークの性能とセキュリティを最大限に高めるため、HP All-in-One およびその他のネットワーク構成要素との接続には、ワイヤレス アクセス ポイント (802.11) を使用することをお勧めします。ネットワーク構成要素をアクセス ポイントを経由して接続することを **インフラストラクチ**

ャ ネットワークと呼びます (アクセス ポイントのないワイヤレス ネットワークが **アドホック** ネットワークです)。

アドホック ネットワークと比較すると、ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークには次のような利点があります。

- ネットワーク セキュリティの強化
- 信頼性の強化
- ネットワークの柔軟性
- パフォーマンスの向上（特に 802.11 g モードで)
- ブロードバンド インターネット アクセスの共有
- HP Photosmart 共有 機能が使用可能 (ケーブル モデムや DSL などのブロードバンド インターネット アクセスによる)

内蔵ワイヤレス WLAN 802.11 ネットワークに必要な準備

HP All-in-One を内蔵ワイヤレス WLAN 802.11 ネットワークに接続するには、以下が必要になります。

❑ ワイヤレス アクセス ポイントを含むワイヤレス 802.11 ネットワーク。

注記　Apple は、AirMac という名の設定が簡単なアクセス ポイントを販売しています。AirMac は Mac に接続しなければなりませんが、任意の 802.11b 互換ワイヤレス ネットワーク デバイス (PC か Mac のいずれに搭載されているかに関係なく) からの信号を受信できます。

❑ ワイヤレス ネットワーク サポートまたはネットワーク インタフェース カード (NIC) を備えたデスクトップ コンピュータやノートパソコン。

注記　Mac の場合、ワイヤレス ネットワーク サポートは通常 AirMac カードで行われます。

- ❑ ケーブルまたは DSL などのブロードバンドによるインターネット アクセス (推奨)
  インターネット アクセスを行っているワイヤレス ネットワーク上の HP All-in-One を接続する場合には、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) を使用したワイヤレス ルーター（アクセス ポイントまたは無線基地局) を使用することをお勧めします。

  注記　デバイスから直接 HP Photosmart 共有 にアクセスする場合には、ブロードバンドによるインターネット アクセスが必要です。

- ❑ ネットワーク名 (SSID)

  注記　SSID、WEP キー、WPA パスフレーズは、ワイヤレス ルータから取得するか、もしくはルータの組み込み Web サーバを使用してアクセス ポイントから取得します。詳細については、お使いのアクセス ポイントに付属のマニュアルをご覧ください。

- ❑ WEP キーまたは WPA パスフレーズ (必要な場合)

  注記　アクセス ポイントによっては、2 つ以上の WEP キーを提供する場合があります。ワイヤレス ネットワークを設定するときは、必ず最初の WEP キー (インデックス 1) を使用してください。

注記 1　IP アドレス フィルタリングが設定されている場合は、HP All-in-One アドレスがリストされていることを確認します。

注記 2　MAC アドレス フィルタリングが設定されている場合は、HP All-in-One アドレスがリストされていることを確認します。

内蔵ワイヤレス WLAN 802.11 ネットワークへの接続

ワイヤレス設定ウィザードを使用すると、HP All-in-One をネットワークに簡単に接続できます。アクセス ポイントがサポートしていれば、SecureEasySetup も使用できます。お使いのアクセス ポイントが EasySetup の使用をサポートしているかどうか、またセットアップに関する他の情報については、アクセス ポイントに付属のマニュアルをご覧ください。

△ 注意　他のユーザーがお客様のワイヤレス ネットワークにアクセスするのを防ぐために、パスワードまたはパスフレーズを使用したり、アクセス ポイントに一意の SSID を使用することをお勧めします。 お客様のアクセス ポイントはデフォルトの SSID が設定された状態で出荷されるため、同じデフォルトの SSID を持つ他のユーザーがアクセスできてしまう可能性があります。 SSID の変更方法の詳細については、アクセス ポイントに付属のマニュアルを参照してください。

注記　ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークに接続する前に、Ethernet ケーブルが HP All-in-One から外されていることを確認します。

ワイヤレス設定ウィザードで HP All-in-One を接続するには

1. アクセス ポイントに関する次の情報を書き留めてください。
   – ネットワーク名（SSID とも呼ばれる)
   – WEP キー、WPA パスフレーズ(必要に応じて)

   こうした情報がどこにあるのかわからない場合は、お使いのワイヤレス アクセス ポイントに付属のマニュアルを参照してください。 SSID と WEP キーまたは WPA パスフレーズは、アクセス ポイント用の埋め込み Web サーバー (EWS) に見つかる場合があります。 アクセス ポイントの EWS を表示する方法については、アクセス ポイントに付属のマニュアルを参照してください。

   注記　ネットワークに Apple AirMac ベース ステーションが設定され、WEP HEX や WEP ASCII ではなくパスワードを使用してこのネットワークにアクセスする場合は、該当する WEP キーを入手する必要があります。詳細については、Apple AirMac ベース ステーションに付属のマニュアルを参照してください。

2. HP All-in-One のコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
3. [**ネットワーク**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
4. ▼ を押して [**ワイヤレス設定ウィザード**] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。
   [**ワイヤレス設定ウィザード**] が起動します。 このセットアップ ウィザードは利用可能なネットワークを検索し、検出されたネットワーク名 (SSID) の一覧を表示します。 最も強い信号のネットワークが最初に、最も弱い信号のネットワークが最後に表示されます。
   ワイヤレス ネットワーク テストも実行され、ネットワークが正しく設定されているかどうかを確認する一連の診断テストが行われます。 ワイヤレスネットワークテストの結果を印刷出力することもできます。
5. ▼ を押し、ステップ 1 で書き留めたネットワーク名を選択して、 **OK** を押します。

   使用するネットワーク名が一覧にない場合

   a. [**新規ネットワーク名 (SSID) を入力する**] を選択します。 必要に応じて、▼ を使って選択し、 **OK** を押します。
      ビジュアル キーボードが表示されます。
   b. SSID を入力します。 HP All-in-One のコントロール パネルの矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の文字や数字を選択し、 **OK** を押して確定します。

      注記　大文字と小文字は **正確に** 区別して入力してください。 大文字と小文字を間違えると、ワイヤレス接続に失敗します。

   c. 新しい SSID の入力が終了したら、矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の [**完了**] を選択し、 **OK** を押します。
   d. [**インフラストラクチャ**] が選択されるまで ▼ を押し続け、 **OK** を押します。

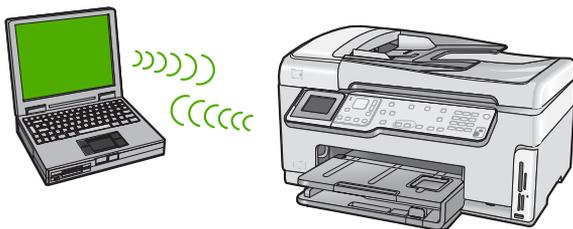
e. [**WEP 暗号化**] または [**WPA 暗号化**] が選択されるまで ▼ を押し続け、 **OK** を押します。
WEP 暗号化を**使用しない**場合は、[**いいえ、このネットワークは暗号化を使用しない**] が表示されるまで ▼ を押して、 **OK** を選択し、ステップ 7 に進みます。

6. プロンプトが表示されたら、次のように WPA または WEP キーを入力します。
   a. 矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の文字や数字を選択し、 **OK** を押して確定します。

   注記 大文字と小文字は **正確に** 区別して入力してください。 大文字と小文字を間違えると、ワイヤレス接続に失敗します。

   b. WPA または WEP キーの入力が終了したら、矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の [**完了**] を選択します。
   c. **OK** を押して確定します。
   HP All-in-One がネットワークに接続を試みます。 WPA または WEP キーが無効というメッセージが表示された場合は、新しいネットワーク用に書き留めたキーを確認し、プロンプトに従ってキーを修正し、再度接続を試みます。
7. HP All-in-One がネットワークに正しく接続されたら、お使いのコンピュータに戻ってネットワークを使用するコンピュータに本ソフトウェアをインストールしてください。

ワイヤレス アドホック ネットワークの設定

このセクションは、アクセス ポイントを使用せずに HP All-in-One をワイヤレス ネットワーク上のコンピュータに接続する場合にお読みください。これを、**ピア ツー ピア** または **アドホック** ネットワークと呼びます。Mac では、これを **ピア　ツー　ピア** ネットワークと呼びます。アクセス ポイントをわざわざ購入したくない場合、よりシンプルなネットワークを構築したい場合は、アドホック接続を使用することをお勧めします。

注記 アクセス ポイントがない場合でも、アドホック接続は可能ですが、柔軟性や、ネットワーク セキュリティのレベルは低下し、アクセス ポイントを使用した場合に比べてネットワーク パフォーマンスは遅くなります。さらに、ブロードバンド アクセス (ケーブルや DSL など) をおそらく共有しないため、HP All-in-One の HP Photosmart 共有 機能を使うことができません。

HP All-in-One をコンピュータに接続するには、コンピュータでネットワーク プロファイルを作成します。ネットワーク プロファイルは、ネットワーク名 (SSID)、通信モード (アドホックまたはインフラストラクチャ)、暗号化の有効または無効化などのネットワーク設定で構成されます。

お使いのオペレーティング システムに応じて、以下のいずれかのセクションを参照してください。

- Windows XP コンピュータの準備
- Mac の準備

アドホック ネットワークに必要な準備

HP All-in-One をワイヤレス ネットワークに接続するには、ワイヤレス ネットワーク アダプタを搭載した Windows コンピュータまたは AirMac カードを搭載した Mac が必要です。

Windows XP コンピュータの準備

コンピュータをネットワークに接続する準備をし、ネットワーク プロファイルを作成しておきます。

コンピュータの準備をするには

1. 実行中の全てのアプリケーションを終了し、OS 内の XP ファイアウォールやその他のファイアウォール、ウイルス対策用ソフトウェアを一時的に無効にします。
2. ウィルス感染からコンピュータを守るために、インターネット接続を無効にします。 ケーブルまたは DSL の場合には、コンピュータの背面から Ethernet ケーブルを取り外します。 ダイアルアップ接続の場合は、電話コードを取り外します。
3. ワイヤレス接続以外の、 LAN 接続（Ethernet を含む）をすべて無効にする。 また、 Ethernet の IEEE 1394（Firewire、 i.LINK または Lynx）もすべて無効にする。

Windows XP で LAN 接続を無効にするには

a. **[Windows の[スタート]]** ボタンをクリックし、 **[コントロール パネル]** をクリックし、 **[ネットワーク接続]** をダブルクリックします。
b. 各 **[ローカル エリア接続]** を右クリックし、 **[無効]** をクリックします。 ポップアップ メニューに **[有効]** が表示される場合は、 **[ローカル エリア接続]** はすでに無効になっています。

Windows XP Service Pack 2 で Windows ファイアウォールを無効にするには

a. Windows の **[コントロール パネル]** で、**[セキュリティ センター]** をクリックします。
b. **[Windows ファイアウォール]** をクリックし、**[無効]** を選択します。

Windows XP Service Pack 1 で Windows ファイアウォールを無効にするには

a. Windows の **[コントロール パネル]** で、**[ネットワーク接続]** をクリックします。
b. **[この接続の設定を変更する]** をクリックします。
c. **[詳細設定]** タブをクリックします。
d. ファイアウォールの保護チェックボックスをオフにします。

ネットワーク プロファイルを作成するには

注記　HP All-in-One には、SSID として **hpsetup** というネットワーク プロファイルがあらかじめ設定されています。しかし、セキュリティとプライバシーの点では、ここで説明した手順に従ってコンピュータに新しいネットワーク プロファイルを作成することをお勧めします。次に、ワイヤレス設定ウィザードを実行し、新しいネットワークを検出してください。

1. 上記の手順を実行し、コンピュータの準備が完了していることを確認します。
2. **[コントロール パネル]** で、 **[ネットワーク接続]** をダブルクリックしてください。
3. **[ネットワーク接続]** ウィンドウで、**[ワイヤレス ネットワーク接続]** を右クリックしてください。 ポップアップ メニューに **[有効]** が表示されている場合は、[有効] を選択してください。 逆に、メニューに **[無効]** が表示される場合は、ワイヤレス接続はすでに有効になっています。
4. **[ワイヤレス ネットワーク接続]** のアイコンを右クリックし、 **[プロパティ]** をクリックします。
5. **[ワイヤレス ネットワーク]** タブをクリックします。
6. **[Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する]** のチェック ボックスをオンにします。
7. **[追加]** をクリックし、 以下の手順に従ってください。
   a. **[ネットワーク名 (SSID)]** ボックスに名前 **Mynetwork** を入力します。

      注記　**Mynetwork** の **M** は大文字で、残りの文字は小文字であることに注意してください。 このことは、後にワイヤレス設定ウィザードで SSID を入力する必要がある場合に重要なので覚えておいてください。

   b. **[Network Authentication]** リストがあれば **[開く]** を選択し、ないときは次のステップに進みます。

ネットワーク設定

c. **[データの暗号化]** リストで、**[WEP]** を選択します。

注記 WEP キーを使用しないネットワークを作成することも可能です。 しかし、ネットワークの安全性を確保するためには、WEP キーを使用することをお勧めします。

d. **[キーは自動的に提供される]** の横のチェックボックスが選択されて **いない** ことを確認します。 選択されている場合は、クリックしてオフにします。
e. **[ネットワーク キー]** ボックスに、**ぴったり** 5 文字、または **ぴったり** 13 文字の英数字 (ASCII) の WEP キーを入力してください。例えば 5 文字入力する場合は、**ABCDE** または **12345** のように入力します。 また、13 文字入力する場合は、**ABCDEF1234567** のように入力します。(12345 と ABCDE は入力例です。ご自由に組み合わせてください。)
あるいは、WEP キーに、HEX (16 進数) の数字を使用することもできます。HEX WEP キーは 40 ビット 10 文字 の暗号か、128 ビット 26 文字の暗号でなければなりません。
f. **[ネットワークキーの確認入力]** ボックスに、前のステップで入力したのと同じ WEP キーを入力してください。
g. 大文字と小文字の区別も含め、入力したとおりに正確に WEP キーを書き留めてください。

注記 大文字と小文字の区別は正確に記憶しておかなければなりません。 HP All-in-One に間違った WEP キーを入力すると、ワイヤレス接続に失敗します。

h. **[これはコンピュータ相互 (ad-hoc) のネットワークで、ワイヤレスアクセスポイントを使用しない]** のチェック ボックスを選択します。
i. **[OK]** をクリックし、 **[ワイヤレス ネットワーク プロパティ]** ウィンドウを閉じて、再び **[OK]** をクリックします。
j. 再び **[OK]** をクリックして **[ワイヤレス ネットワーク プロパティ接続]** ウィンドウを閉じます。

8. HP All-in-One に戻り、[ワイヤレス設定ウィザード] を使って HP All-in-One をワイヤレス ネットワークに接続してください。

Mac の準備

コンピュータをネットワークに接続する準備をし、ネットワーク プロファイルを作成しておきます。

コンピュータの準備をするには

➔ コンピュータで実行中のアプリケーションをすべて終了し、すべてのファイアウォールを一時的に無効にします。

新規ネットワーク プロファイルを作成するには

注記　HP All-in-One には、SSID として **hpsetup** というネットワーク プロファイルがあらかじめ設定されています。しかし、セキュリティとプライバシーの点では、ここで説明した手順に従ってコンピュータに新しいネットワーク プロファイルを作成することをお勧めします。次に、ワイヤレス設定ウィザードを実行し、新しいネットワークを検出してください。

1. AirPort の電源が入っていることを確認してください。
   AirMac をオンにすると、メニュー バーに次のアイコンが表示されます。

   確認するには、**[AirMac]** アイコンをクリックします。
   [AirMac を入にする] が表示されている場合はこれを選択し、AirMac の電源を入れてください。
   ツールバーの AirMac アイコンが表示されていない場合は、以下の手順に従ってください。
   a. システム環境設定の **[ネットワーク]** の画面上で、**[AirMac]** を選択して **[設定]** ボタンを押します。
   b. **[メニューバーに AirMac の状況を表示する]** を有効にします。
2. ツールバーの **[AirMac]** アイコンをクリックします。
3. **[ネットワークの作成...]** を選択します。
4. **[コンピュータとコンピュータ]** ダイアログで、 **[名前]** ボックスをクリックし、新しいネットワーク ネームを入力します。
   例えば、**Mynetwork** の名前 (またはイニシャルなど、何か意味のある語) を入力します。

   注記　**Mynetwork** の **M** は大文字で、残りの文字は小文字であることに注意してください。 このことは、後にワイヤレス設定ウィザードで SSID を入力する必要がある場合に重要なので覚えておいてください。
5. **[チャンネル]** ボックスでは、デフォルトの **[自動]** の設定を使用してください。
6. **[オプションを表示]** をクリックします。
7. セキュリティのための暗号化を有効にするには、**[暗号化]** のチェックボックスを選択します。
8. **[パスワード]** ボックスに、**ぴったり** 5 文字、または **ぴったり** 13 文字の英数字 (ASCII) のパスワードを入力してください。例えば 5 文字入力する場合は、**ABCDE** または **12345** のように入力します。 また、13 文字入力する場合は、**ABCDEF1234567** のように入力します。
   あるいは、パスワードに、HEX (16 進数) の数字を使用することもできます。 HEX パスワードは 40 ビット 10 文字 の暗号か、128 ビット 26 文字の暗号でなければなりません。

9. **[確認]** ボックスに、同じパスワードを入力します。
10. HP All-in-One で **WEP キー** と呼ばれるパスワードを書き留めます。 ワイヤレス設定ウィザードを実行するときにこの WEP キーが必要になります。
11. **[OK]** をクリックします。
12. HP All-in-One に戻り、[ワイヤレス設定ウィザード] を使って HP All-in-One をワイヤレス ネットワークに接続してください。

その他のオペレーティング システム用のネットワーク プロファイルを作成する

Windows XP 以外のオペレーティング システムの場合は、ワイヤレス LAN カードに付属の設定プログラムの使用をお勧めします。ご使用のワイヤレス LAN カード用の設定プログラムを調べるには、コンピュータのプログラム一覧にアクセスしてください。

Mac OS X 以外のオペレーティング システムの場合は、ワイヤレス LAN カードに付属の設定プログラムの使用をお勧めします。ご使用のワイヤレス LAN カード用の設定プログラムを調べるには、コンピュータのプログラム一覧にアクセスしてください。

LAN カードの設定プログラムを使用し、以下の値に設定したネットワーク プロファイルを作成します。

- **ネットワーク名 (SSID)**： Mynetwork (例)
- **接続モード**： アドホック
- **暗号化** ： 有効

注記 ご自分のイニシャルなど、ここに示すサンプル以外のネットワーク名を作成してください。 ただし、ネットワーク名は大文字と小文字を区別します。 従って、使用した文字が大文字か小文字か覚えておいてください。

ワイヤレス アドホック ネットワークへの接続

ワイヤレス設定ウィザードを使用すれば、HP All-in-One をワイヤレス アドホック ネットワークに接続できます。

ワイヤレス アドホック ネットワークに接続するには

1. HP All-in-One のコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. [ネットワーク] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
3. ▼ を押して [ワイヤレス設定ウィザード] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。
   [ワイヤレス設定ウィザード] が起動します。このセットアップ ウィザードは利用可能なネットワークを検索し、検出されたネットワーク名 (SSID) の一覧を表示します。一覧の一番上にはインフラストラクチャ ネットワークが表示され、次に使用可能なアドホック ネットワークが表示されます。最も強い信号のネットワークが最初に、最も弱い信号のネットワークが最後に表示されます。

4. ディスプレイ上で、作成したネットワーク名（たとえば、Mynetwork）を確認してください。
5. 矢印ボタンを使用してネットワーク名を選択し、 **OK** を押します。
一覧にネットワーク名があり、それを選択した場合は、ステップ 6 に進みます。

使用するネットワーク名が見つからない場合は、以下の手順に従ってください。
a. [**新規ネットワーク名 (SSID) を入力する**] を選択します。
ビジュアル キーボードが表示されます。
b. SSID を入力します。HP All-in-One のコントロール パネルの矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の文字や数字を選択し、 **OK** を押して確定します。

注記 大文字と小文字は **正確に** 区別して入力してください。 大文字と小文字を間違えると、ワイヤレス接続に失敗します。

c. 新しい SSID の入力が終了したら、矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の [**完了**] を選択し、 **OK** を押します。
d. [**アドホック**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
e. [**はい、このネットワークは WEP 暗号化を使用**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。ビジュアル キーボードが表示されます。
WEP 暗号化を使用したく **ない** 場合は、[**いいえ、このネットワークは暗号化を使用しない**] が表示されるまで ▼ を押して、 **OK** を選択し、ステップ 7 に進みます。
6. プロンプトが表示されたら、次のように WEP キーを入力します。使用しない場合は、ステップ 7 に進みます。
a. 矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の文字や数字を選択し、 **OK** を押して確定します。

注記 大文字と小文字は **正確に** 区別して入力してください。 大文字と小文字を間違えると、ワイヤレス接続に失敗します。

b. WEP キーの入力が終了したら、矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の [**完了**] を選択します。
7. もう一度 **OK** ボタンを押して確定します。
HP All-in-One が SSID への接続を試みます。WEP キーが無効というメッセージが表示された場合は、新しいネットワーク用に書き留めたキーを確認し、プロンプトに従って WEP キーを修正し、再度接続を試みます。
8. HP All-in-One がネットワークへの接続に成功したら、お使いのコンピュータにソフトウェアをインストールします。

ネットワーク上の複数のコンピュータに接続する

小規模のコンピュータ ネットワーク上の複数のコンピュータに HP All-in-One を接続することができます。 HP All-in-One をネットワーク上の 1 台のコンピュータに既に接続している場合、追加するコンピュータごとに、HP All-in-One

ソフトウェアをインストールする必要があります。 このソフトウェアは、ワイヤレス接続のインストール中に既存ネットワークの SSID (ネットワーク名) を自動的に検出します。HP All-in-One のネットワーク接続が一旦完了すれば、次回コンピュータを追加する際、再び設定を行う必要がなくなります。

注記　HP All-in-One はワイヤレスまたは有線ネットワークのどちらにも接続できますが、両方同時に接続することはできません。

HP All-in-One を USB 接続からネットワーク接続に切り替える

USB 接続を使用して設置した HP All-in-One は、後から変更してワイヤレス ネットワークに接続することができます。ワイヤレス ネットワークの設定方法をすでに理解している場合は、次の一般的な手順を用いてアップグレードしてください。

注記　ワイヤレス ネットワークの性能とセキュリティを最大限に高めるため、HP All-in-One の接続にはアクセス ポイント (ワイヤレス ルーターなど) を使用するようにしてください。

USB 接続を内蔵のワイヤレス WLAN 802.11 接続に変更するには

1. HP All-in-One の背面から USB 接続ケーブルを取り外します。
2. HP All-in-One のコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
3. [ネットワーク] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
4. ▼ を押して [ワイヤレス設定ウィザード] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。
   [ワイヤレス設定ウィザード] が起動します。
5. ネットワーク接続のためには、ソフトウェアをインストールし、**[デバイスの追加]** から **[ネットワークを介して接続]** を選択します。
6. インストールが完了したら、**[コントロール パネル]** の **[プリンタと FAX]** を開き、USB を使用してインストールしたプリンタを削除します。

USB 接続を有線 (Ethernet) 接続に変更するには

1. HP All-in-One の背面から USB 接続ケーブルを取り外します。
2. HP All-in-One 背面の Ethernet ポートとルーター、スイッチの Ethernet ポートを Ethernet ケーブルで接続します。
3. ネットワーク接続のためには、ソフトウェアをインストールし、**[デバイスの追加]** から **[ネットワークを介して接続]** を選択します。
4. (Windows のみ) インストールが完了したら、**[コントロール パネル]** の **[プリンタと FAX]** を開き、USB を使用してインストールしたプリンタを削除します。

ネットワーク設定の変更

HP All-in-One のコントロール パネルでネットワーク設定を管理することができます。また、埋め込み Web サーバーを使用すればより詳細なネットワーク設定を行うことができます。この Web サーバーは既存のネットワーク接続を

使用して Web ブラウザからアクセスできるネットワーク構成およびステータス ツールです。

- コントロール パネルから基本的なネットワーク設定を変更する
- コントロール パネルからネットワークの詳細設定を変更する
- 埋め込み Web サーバーの使用
- ネットワーク構成ページの定義

コントロール パネルから基本的なネットワーク設定を変更する

HP All-in-One のコントロール パネルではワイヤレス接続の設定や管理を行ったり、さまざまなネットワーク管理タスクを実行したりできます。 このタスクには、ネットワーク設定の表示、ネットワークのデフォルト設定の復元、ワイヤレスのオン・オフ設定、ネットワーク設定の変更などが含まれます。

- ワイヤレス設定ウィザードの使用
- ネットワーク設定の表示と印刷
- ネットワークをデフォルトに戻す
- ワイヤレスをオンまたはオフに設定する
- ワイヤレス ネットワーク テストの印刷

ワイヤレス設定ウィザードの使用

ワイヤレス設定ウィザードを使用すると、HP All-in-One へのワイヤレス接続を簡単に設定したり、管理したりできます。

[ワイヤレス設定ウィザード] を実行するには

1. HP All-in-One のコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. [ネットワーク] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
3. ▼ を押して [ワイヤレス設定ウィザード] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。
   [ワイヤレス設定ウィザード] が実行されます。

ネットワーク設定の表示と印刷

ネットワーク設定の一覧を HP All-in-One のコントロール パネルに表示したり、より詳細な構成ページを印刷することができます。ネットワーク設定ページには、IP アドレス、リンク速度、DNS、mDNS など、重要なネットワーク設定が一覧表示されます。

ネットワーク設定を表示して印刷するには

1. HP All-in-One のコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. [ネットワーク] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
   [ネットワーク メニュー] が表示されます。

ネットワーク設定

3. [ネットワーク設定を表示] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、**OK** を押します。
   [ネットワーク設定] が表示されます。
4. 次のいずれかの操作を実行します。
   – **有線ネットワーク設定を表示するには、** [概要を表示 (有線 LAN の場合)] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
     これで、有線 (Ethernet) ネットワーク設定の概要が表示されます。
   – **無線ネットワーク設定を表示するには、** [概要を表示 (無線 LAN の場合)] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
     これで、無線ネットワーク設定の概要が表示されます。
   – **ネットワーク構成ページを印刷するには、** [ネットワーク設定ページの印刷] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
     これにより、ネットワーク構成ページが印刷されます。

ネットワークをデフォルトに戻す

ネットワーク設定を HP All-in-One 購入時の設定に戻すことができます。

注意　この場合、入力された全てのワイヤレスの設定情報が消去されます。 この情報を再度保存するには、ワイヤレス設定 ウィザードを再度実行する必要があります。

ネットワーク設定をデフォルトに戻すには

1. HP All-in-One のコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. [ネットワーク] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
3. [デフォルトのネットワークに戻す] が選択されるまで ▼ を押し続け、**OK** を押します。
4. ネットワーク設定をデフォルトに戻すことを確定します。

ワイヤレスをオンまたはオフに設定する

ワイヤレスはデフォルトでオフに設定されています。ワイヤレスがオフの場合は、HP All-in-One 前面のブルーのインジケータが点灯します。ワイヤレス ネットワークへの接続を保つには、無線を常にオンにしておく必要があります。しかし、HP All-in-One が有線ネットワークに接続されていたり、USB で接続されている場合は、無線は使用されません。この場合、無線をオフにしておくことをお勧めします。

ワイヤレスをオンまたはオフに設定するには

1. HP All-in-One のコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. [ネットワーク] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
3. [ワイヤレス] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
4. ▼ を押して [オン] または [オフ] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。

ワイヤレス ネットワーク テストの印刷

ワイヤレス ネットワーク テストにより、ネットワークが正しく設定されているかどうかを確認する一連の診断テストが行われます。ワイヤレス ネットワーク テストは必要なときにいつでも出力できます。

ワイヤレス テスト レポートを印刷するには

1. HP All-in-One のコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. [**ネットワーク**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、**OK** を押します。
3. [**ワイヤレス ネットワーク テスト**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、**OK** を押します。
   [**ワイヤレス ネットワーク テスト**] が印刷されます。

コントロール パネルからネットワークの詳細設定を変更する

必要に応じて、ネットワークを詳細に設定することができます。ただし、ネットワーク管理に詳しくない場合は、これらの設定を変更しないでください。

- リンク速度の設定
- IP 設定の変更

リンク速度の設定

ネットワーク上でのデータ送信速度を変更することができます。デフォルトの設定は [**自動**] です。

リンク速度を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ネットワーク**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、**OK** を押します。
   [**ネットワーク メニュー**] が表示されます。
3. [**詳細設定**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、**OK** を押します。
   [**リンク速度**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、**OK** を押します。
4. ▼ を押してお使いのネットワーク機器が対応するリンク速度を選択し、**OK** を押して設定を確定します。
   – [**自動**]
   – [**10 Mb/sec 全二重通信**]
   – [**10 Mb/sec 半二重通信**]
   – [**100 Mb/sec 全二重通信**]
   – [**100 Mb/sec 半二重通信**]

IP 設定の変更

デフォルトの IP 設定は [**自動**] で、IP 設定を自動的に行いますが、ネットワーク管理に詳しい場合は、IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイを手動で変更できます。HP All-in-One の IP アドレスとサブネット マスクを確認するには、HP All-in-One からネットワーク設定ページを印刷します。

注記　IP 設定を手動で入力する場合、稼働中のネットワークにあらかじめ接続しておいてください。接続しておかない場合、メニューを閉じると設定情報が表示されなくなります。

注意　IP アドレスを手動で割り当てる場合は注意が必要です。 インストール時に無効な IP アドレスを割り当てると、各ネットワーク コンポーネントから HP All-in-One に接続できなくなります。

IP 設定を変更するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ネットワーク**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
   [**ネットワーク メニュー**] が表示されます。
3. [**詳細設定**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
   [**IP 設定**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
4. [**手動**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
5. ▼ をハイライト表示して次のいずれかの IP 設定を選択し、 **OK** を押します。
   – [**IP アドレス**]
   – [**サブネット マスク**]
   – [**デフォルト ゲートウェイ**]
6. 変更を行い、 **OK** を押して、設定を確定します。

埋め込み Web サーバーの使用

お使いのコンピュータを有線ネットワーク上の HP All-in-One に接続している場合、HP All-in-One に内蔵の埋め込みサーバーを使用できます。埋め込み Web サーバーは Web ベースのユーザ インタフェースを採用しており、Web スキャンやネットワーク セキュリティの詳細設定など、HP All-in-One のコントロールパネルにはないオプションがいくつかあります。また、埋め込み Web サーバーではネットワークのステータス監視およびプリンタ サプライ品の注文なども行うことができます。

埋め込み Web サーバーで使用可能な機能の使用方法については、埋め込み Web サーバーのオンスクリーン ヘルプを参照してください。 埋め込み Web サーバーのヘルプにアクセスするには、埋め込み Web サーバーを開き、**[ホーム]** タブ上の **[他のリンク]** にある **[ヘルプ]** リンクをクリックします。

注記　埋め込み Web サーバーは、ネットワーク設定を変更しようとしても HP All-in-One コントロール パネルにアクセスできない場合、またはコントロール パネルにはない高度なオプション設定を変更するときにのみご使用ください。

- 埋め込み Web サーバーへのアクセス
- 埋め込み Web サーバーのセットアップ ウィザードの使用

埋め込み Web サーバーへのアクセス

埋め込み Web サーバ-には、ネットワーク上の HP All-in-One に接続したコンピュータからのみアクセスできます。

埋め込み Web サーバーにアクセスするには

1. ネットワーク構成ページを印刷し、HP All-in-One の IP アドレスを確認します。
2. コンピュータの Web ブラウザの **[アドレス]** ボックスに、ネットワーク設定ページに記載されている HP All-in-One の IP アドレスを入力します。
   例: http://192.168.1.101
   HP All-in-One 情報を示す、埋め込み Web サーバーの **[ホーム]** ページが表示されます。

   注記　ブラウザでプロキシ サーバーを使用している場合は、埋め込み Web サーバーにアクセスする前に無効にしておいてください。

3. 埋め込み Web サーバーで使用されている言語を変更する必要がある場合、以下の手順に従います。
   a. **[設定]** タブをクリックします。
   b. **[設定]** ナビゲーション メニューの **[言語の選択]** をクリックします。
   c. **[言語の選択]** 一覧で、適切な言語をクリックします。
   d. **[適用]** をクリックします。
4. **[ホーム]** タブをクリックすると、プリンタとネットワークに関する情報を確認できます。また、**[ネットワーク]** タブをクリックすると、ネットワーク情報の詳細を確認したり、ネットワーク情報を変更したりできます。
5. 必要に応じて構成内容を変更します。
6. 埋め込み Web サーバーを終了します。

埋め込み Web サーバーのセットアップ ウィザードの使用

埋め込み Web サーバーのネットワーク セットアップ ウィザードには、ネットワーク接続パラメータを設定するための直感的インタフェースが用意されています。

埋め込み Web サーバーのセットアップ ウィザードにアクセスするには

1. ネットワーク設定ページを印刷し、HP All-in-One の IP アドレスを確認します。
2. コンピュータの Web ブラウザの **[アドレス]** ボックスに、ネットワーク設定ページに記載されている HP All-in-One の IP アドレスを入力します。
   例: http://192.168.1.101
   HP All-in-One 情報を示す、埋め込み Web サーバーの **[ホーム]** ページが表示されます。

   注記　ブラウザでプロキシ サーバーを使用している場合は、埋め込み Web サーバーにアクセスする前に無効にしておいてください。

3. **[ネットワーク]** タブをクリックします。
4. **[接続]** ナビゲーション メニューの **[有線 (802.3)]** をクリックします。
5. **[ウィザードの開始]** をクリックしてウィザードの指示に従います。

ネットワーク構成ページの定義

ネットワーク構成ページには、HP All-in-One のネットワーク設定が表示されます。一般情報、802.3 有線 (Ethernet)、802.11 ワイヤレスおよび Bluetooth® などの設定があります。

全般ネットワーク設定

次の表で、ネットワーク設定ページに表示される全般ネットワーク設定について説明します。

パラメータ	説明
ネットワーク状態	HP All-in-One の状態には以下のようなものがあります。 ● **準備完了**： HP All-in-One はデータ送受信の待機中です。 ● **オフライン**： HP All-in-One は現在ネットワークに接続されていません。
アクティブな接続の種類	HP All-in-One のネットワーク モードを以下に示します。 ● **有線**： HP All-in-One を Ethernet ケーブルで IEEE 802.3 ネットワークに接続します。 ● **ワイヤレス**：HP All-in-One がワイヤレス (802.11) ネットワークに接続されています。 ● **なし**： ネットワーク接続がありません。
URL	埋め込み Web サーバーの IP アドレス。 注記　埋め込み Web サーバーを開くには、この URL が必要です。
ファームウェア リビジョン	内部ネットワーク接続コンポーネントおよび本体ファームウェアのバージョン コード。 注記　HP サポートに問い合わせると、問題にもよりますが、このファームウェア バージョン コードを問われることがあります。
ホスト名	インストール ソフトウェアがデバイスに割り振っている TCP/IP 名。 デフォルトでは、文字 HP の後に MAC (媒体アクセス制御) アドレスの最後の 6 桁が続きます。

(続き)

パラメータ	説明
管理パスワード	埋め込み Web サーバーで使用する管理者のパスワード状態。以下のような状態があります。 ● **設定**: パスワードが指定されています。 埋め込み Web サーバーのパラメータを変更するには、パスワードの入力が必要です。 ● **設定なし**: パスワードが設定されていません。 埋め込み Web サーバーのパラメータを変更するには、パスワードの入力は必要ありません。
mDNS	ローカル ネットワークや ad hoc ネットワークでは、中央の DNS サーバを使用しない場合があります。代わりに、mDNS と呼ばれる DNS の代替が使用されます。 mDNS を使用すると、LAN に接続されているすべての HP All-in-One をご使用のコンピュータから認識できます。また、Ethernet 対応のデバイスであれば、ネットワーク上のどのコンピュータでも取り扱うことができます。

有線 (802.3) ネットワーク設定

次の表では、ネットワーク構成ページに表示される 802.3 有線設定について説明します。

パラメータ	説明
ハードウェア アドレス (MAC)	HP All-in-One ごとに付けられている MAC (媒体アクセス制御) アドレス。 これは、ルーター、スイッチ、その他のデバイスなどのネットワーク ハードウェアに割り振られた 12 桁の固有の識別番号です。 同一の MAC アドレスを持つハードウェアは存在しません。 注記　取り付け時にケーブル モデムや DSL モデムに接続したネットワーク カードや LAN アダプタの MAC アドレスを登録するように求めるインターネット サービス プロバイダ (ISP) もあります。
IP アドレス	ネットワーク上のデバイスを識別する固有のアドレスです。 IP アドレスは、DHCP または AutoIP から動的に割り当てられます。 静的 IP アドレスを設定することもできますが、推奨しません。 注意　IP アドレスを手動で割り当てる場合は注意が必要です。 無効な IP アドレスをインストール時に割り当てると、各ネットワーク コンポーネントから HP All-in-One を参照できなくなります。

(続き)

パラメータ	説明
サブネットマスク	サブネットはインストール ソフトウェアが割り当てる IP アドレスで、これを使うと大きなネットワークの中の一部分としてネットワークを利用できるようになります。 サブネットは、サブネットマスクで指定されます。 このマスクによって、HP All-in-One の IP アドレスを構成するビットのうちネットワークとサブネットを示す部分が決まります。また、本体自体を示すビットも決まります。 注記　サブネットを利用するすべての HP All-in-One とコンピュータに、同じサブネットを割り当てることをお奨めします。
デフォルトゲートウェイ	他のネットワークの入り口となる、ネットワーク上のノード。 このインスタンスのノードには、コンピュータやその他機器を使用できます。 注記　手動で ip アドレスを設定していない場合は、ソフトウェアをインストールすると、デフォルトのゲートウェイのアドレスがアサインされます。
構成ソース	IP アドレスを HP All-in-One に割り当てるためのプロトコル。以下のものがあります。 ● **AutoIP**： インストール ソフトウェアによって自動的に構成パラメータが決められます。 ● **DHCP**： 構成パラメータは、そのネットワーク上の動的ホスト構成プロトコル (DHCP) サーバーから提供されます。 小さなネットワークでは、ルーターがこれに当たります。 ● **手動**： 静的 IP アドレスなどの構成パラメータが手動で設定されます。 ● **指定なし**： HP All-in-One の初期化に使用するモード。
DNS サーバー	ネットワークのドメイン名サービス (DNS) の IP アドレス。 Web の使用や電子メールの送信には、ドメイン名が使用されています。 たとえば、URL http://www.hp.com には、ドメイン名の hp.com が含まれています。インターネット上の DNS は、このドメイン名を IP アドレスに変換します。この IP アドレスを使用して、デバイス間で相互に参照が行われます。 ● **IP アドレス**： ドメイン名サーバーの IP アドレス。 ● **指定なし**： IP アドレスが指定されていないか、本体が初期化中です。

(続き)

パラメータ	説明
	注記　DNS の IP アドレスがネットワーク構成ページに表示されるか確認してください。 表示されていない場合は、インターネット サービス プロバイダ (ISP) から DNS の IP アドレスを入手してください。
リンク構成	ネットワークのデータ転送速度。 **10TX-Full**、**10TX-Half**、**100TX-Full**、および **100TX-Half** があります。 なし に設定すると、ネットワーク機能は無効になります。
転送されたパケットの合計	HP All-in-One が起動してから正常に送信したパケットの数。 このカウンタは、HP All-in-One の電源をオフにするとクリアされます。 パケット交換方式ネットワークでメッセージを送信すると、メッセージはパケット単位に分けられます。 各パケットにはデータだけでなく宛先アドレスが格納されます。
受信したパケットの合計	HP All-in-One が起動してから正常に受信したパケットの数。 このカウンタは、HP All-in-One の電源をオフにするとクリアされます。

ワイヤレス (802.11) ネットワーク設定

次の表に、ネットワーク構成ページに表示される 802.11 ワイヤレス設定について説明します。

パラメータ	説明
ハードウェア アドレス (MAC)	HP All-in-One ごとに付けられている MAC (媒体アクセス制御) アドレス。 これは、ワイヤレス アクセス ポイント、ルーター、その他のデバイスなどのネットワーク ハードウェアに割り振られた 12 桁の固有の識別番号です。同一の MAC アドレスを持つハードウェアは存在しません。 2 つの MAC アドレスが割り当てられていますが、 1 つは有線 Ethernet 用、もう 1 つは ワイヤレス 802.11 用です。 注記　取り付け時にケーブル モデムや DSL モデムに接続したネットワーク カードや LAN アダプタの MAC アドレスを登録するように求めるインターネット サービス プロバイダ (ISP) もあります。
IP アドレス	ネットワーク上のデバイスを識別する固有のアドレスです。 IP アドレスは、DHCP または AutoIP から動的に割り当てられます。 静的 IP アドレスを設定することもできますが、推奨いたしません。

パラメータ	説明
	注記　無効な IP アドレスをインストール時に手動で割り当てると、各ネットワーク コンポーネントから HP All-in-One を参照できなくなります。
サブネット マスク	サブネットはインストール ソフトウェアが割り当てる IP アドレスで、これを使うと大きなネットワークの中の一部分としてネットワークを利用できるようになります。 サブネットは、サブネット マスクで指定されます。 このマスクによって、HP All-in-One の IP アドレスを構成するビットのうちネットワークとサブネットを示す部分が決まります。また、本体自体を示すビットも決まります。 注記　サブネットを利用するすべての HP All-in-One とコンピュータに、同じサブネットを割り当てることをお奨めします。
デフォルト ゲートウェイ	他のネットワークの入り口となる、ネットワーク上のノード。 このインスタンスのノードには、コンピュータやその他機器を使用できます。 注記　デフォルト ゲートウェイのアドレスはインストール ソフトウェアが割り当てます。
構成ソース	IP アドレスを HP All-in-One に割り当てるためのプロトコル。以下のものがあります。 ● **AutoIP**： インストール ソフトウェアによって自動的に構成パラメータが決められます。 ● **DHCP**： 構成パラメータは、そのネットワーク上の動的ホスト構成プロトコル (DHCP) サーバーから提供されます。 小さなネットワークでは、ルーターがこれに当たります。 ● **手動**： 静的 IP アドレスなどの構成パラメータが手動で設定されます。 ● **指定なし**： HP All-in-One の初期化に使用するモード。
DNS サーバー	ネットワークのドメイン名サービス (DNS) の IP アドレス。 Web の使用や電子メールの送信には、ドメイン名が使用されています。 たとえば、URL http://www.hp.com には、ドメイン名の hp.com が含まれています。インターネット上の DNS は、このドメイン名を IP アドレスに変換します。この IP アドレスを使用して、デバイス間で相互に参照が行われます。 ● **IP アドレス**： ドメイン名サーバーの IP アドレス。 ● **指定なし**： IP アドレスが指定されていないか、本体が初期化中です。

(続き)

パラメータ	説明
	注記 DNS の IP アドレスがネットワーク構成ページに表示されるか確認してください。 表示されていない場合は、インターネット サービス プロバイダ (ISP) から DNS の IP アドレスを入手してください。
ワイヤレス状態	ワイヤレス ネットワークの状態 ● **接続**： HP All-in-One はワイヤレス LAN に接続され、動作中です。 ● **切断**： 設定が間違っているか (不正な WEP キーなど)、HP All-in-One が通信範囲外にある、Ethernet ケーブルが差し込まれ、稼動中のネットワークに接続されている、などの理由で、HP All-in-One はワイヤレス LAN に接続されていません。 ● **無効**： 無線がオフになっています。 ● **適用できません**： このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。
通信モード	機器やステーションがやりとりを行う IEEE 802.11 ネットワーキング フレームワーク。 ● **インフラストラクチャ**： HP All-in-One が無線ルーターや無線基地局などの無線アクセス ポイント経由で、他のネットワーク機器とやりとりします。 ● **アドホック**： HP All-in-One はネットワーク上の機器と直接やりとりします。 無線アクセス ポイントは使用しません。 別名ピア ツー ピア ネットワークとも呼ばれます。 Mac では、アドホック モードはコンピュータ ツー コンピュータ モードと呼ばれます。 ● **適用できません**： このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。
ネットワーク名 (SSID)	サービス設定 ID。 ワイヤレス LAN (WLAN) の識別に使用される 32 文字までの固有の識別子。 SSID はネットワーク名とも呼ばれます。このフィールドは、HP All-in-One が接続されているネットワークの名前を示しています。
信号強度 (1 ～ 5)	送信信号または帰還信号は 1 段階から 5 段階に分けられます。 ● **5**：最高 ● **4**：良い ● **3**：普通 ● **2**：悪い ● **1**：最低 ● **信号なし**： ネットワーク上に信号が検出されません。 ● **適用できません**： このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。

(続き)

パラメータ	説明
チャネル	現在無線通信に使用しているチャネル数。 ご使用のネットワークによって異なります。また、要求されたチャネルの番号と異なる場合もあります。 値は 1 ～ 14 です。ただし、国/地域によっては認可チャネルの範囲が制限されていることがあります。 ● **(番号)**： 1 から 14 までの値。 国/地域によって異なります。 ● **なし**： 使用中のチャネルはありません。 ● **適用できません**： WLAN は無効に設定されているか、この種類のネットワークには適用されません。 注記　アドホック モードを使用していて、コンピュータと HP All-in-One の間でデータを送受信できない場合は、コンピュータと HP All-in-One の通信チャネルが同じかどうかを確認してください。 インフラストラクチャ モードの場合、チャネルはアクセス ポイントを見れば分かります。
認証の種類	使用中の認証方式には、次の種類があります。 ● **なし**： 使用中の認証がありません。 ● **オープン システム** (アドホック、インフラストラクチャ両用) ： 認証不要 ● **共有キー**： WEP キーが必要。 ● **WPA-PSK** (インフラストラクチャのみ) ： 事前共有キーを使用する WPA 。 ● **適用できません**： このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。 認証によってユーザーとデバイスの身元を確かめてからネットワークへのアクセスを認めるため、無許可のユーザーがネットワーク リソースにアクセスしにくくなります。 このセキュリティ方式は無線ネットワークによく使われています。 **オープン システム**認証を使うネットワークでは、ネットワーク ユーザーを身元に応じて選別しません。 あらゆる無線ユーザーがネットワークからアクセス可能です。 しかし、このようなネットワークでは一時的な傍受を防ぐ第 1 レベルのセキュリティとして、WEP (Wired Equivalent Privacy) 暗号化が使用されることがあります。 **共有キー**による認証を行うネットワークでは、ユーザーやデバイスに対し、静的キー (16 進数または英数字からなる文字列) を使用して本人 (本物) であることを証明するように求めるという方法で、セキュリティを高めています。 ネットワーク上のすべてのユーザーまたはデバイスは同じキーを共有します。 WEP 暗号化は、共有鍵による認証とともに使用さ

ネットワーク設定

(続き)

パラメータ	説明
	れます。 このとき、認証と暗号化の両方に同じ鍵を使用します。 サーバー ベースの認証 (**WPA-PSK**) を行うネットワークは、セキュリティが大いに強化されます。このようなネットワークは、ほとんどのワイヤレス アクセス ポイントとワイヤレス ルーターでサポートされています。 アクセス ポイントやルーターは、ネットワークへのアクセスを求めるユーザーやデバイスの身元を検証した上で、アクセスを許可します。 認証サーバーでは、複数の異なる認証プロトコルが使用される場合があります。
暗号化	ネットワークで使用されている暗号化方式には次のようなものがあります。 ● **なし**： 使用中の暗号化方式はありません。 ● **64-bit WEP**： 5 文字の英数字または 10 桁の 16 進数の WEP キーが使用されています。 ● **128-bit WEP**： 13 文字の英数字または 26 桁の 16 進数の WEP キーが使用されています。 ● **WPA-AES**： Advanced Encryption Standard 暗号化方式が使用されています。 これはセキュリティを確保するための暗号化アルゴリズムですが、アメリカ合衆国の当局に認定されていない規格です。 ● **WPA-TKIP**： Temporal Key Integrity Protocol の略。高度な暗号化プロトコルが使用されます。 ● **自動**： AES または TKIP が使用されています。 ● **適用できません**： このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。 WEP は、電波を経由するデータを暗号化することで、エンド ツー エンドの転送の場合と同様のデータ保護を実現することを目的としています。 このセキュリティ方式は無線ネットワークによく使われています。
アクセス ポイントのハードウェア アドレス	HP All-in-One が接続されているネットワークにあるアクセス ポイントの、ハードウェア アドレス。 以下のような種類があります。 ● **(MAC アドレス)**： アクセス ポイントの固有 MAC (媒体アクセス制御) ハードウェア アドレス。 ● **適用できません**： このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。
送信したパケットの合計	HP All-in-One が起動してから正常に送信したパケットの数。 このカウンタは、HP All-in-One の電源をオフにするとクリアされます。 パケット交換方式ネットワークでメッセージを送信すると、メッセージはパケット単位に分けられま

(続き)

パラメータ	説明
	す。 各パケットにはデータだけでなく宛先アドレスが格納されます。
受信したパケットの合計	HP All-in-One が起動してから正常に受信したパケットの数。 このカウンタは、HP All-in-One の電源をオフにするとクリアされます。

Bluetooth 設定

次の表では、ネットワーク構成ページに表示される Bluetooth 設定について説明します。

パラメータ	説明
デバイス アドレス	Bluetooth デバイスのハードウェア アドレス。
デバイス名	プリンタに割り当てられたデバイス名。プリンタを Bluetooth デバイスとして識別できます。
パスキー	Bluetooth 経由で印刷するためにユーザ入力が必要な値。
表示	通信範囲内にある Bluetooth デバイスに対する HP All-in-One の表示/非表示を切り替えます。 ● **すべて表示**： 範囲内のどの Bluetooth デバイスからでも、HP All-in-One を使って印刷できます。 ● **非表示**： HP All-in-One のデバイス アドレスを記憶している Bluetooth デバイスだけが印刷できます。
セキュリティ	Bluetooth で接続した HP All-in-One に設定されるセキュリティ レベル ● **低**： HP All-in-One はパスキーを要求しません。 範囲内のどの Bluetooth デバイスからも印刷できます。 ● **高**： HP All-in-One は、Bluetooth デバイスが印刷ジョブを送信するのを許可する前に、Bluetooth デバイスのパスキーを要求します。

4 ファクス設定

『セットアップ ガイド』に記載されたすべての手順が完了したら、このセクションの説明を読みファクスのセットアップを行ってください。『セットアップ ガイド』は後で使用できるように保管してください。

このセクションでは、ファクス機能が HP All-in-One と同じ電話回線上の機器やサービスと正常に動作するように、HP All-in-One を設定する方法を説明します。

ヒント **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) を使用して、応答モードやファクスのヘッダー情報などの重要なファクス設定を簡単に設定することもできます。HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアから **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) にアクセスできます。**[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) を起動したら、このセクションの手順に従ってファクスの設定を行います。

HP All-in-One でファクスをセットアップする

HP All-in-One のファクス機能のセットアップを開始する前に、お住まいの国または地域でどのタイプの電話システムを使用しているか確認します。HP All-in-One のファクス機能のセットアップの説明は、パラレル方式またはシリアル方式のどちらの電話方式を使用しているかによって異なります。

- お住まいの国または地域が下記の表になければ、シリアル タイプの電話方式をご使用のはずです。シリアル方式の電話の場合、共有する電話機器 (モデム、電話、留守番電話等) のコネクタの種類が違うため、HP All-in-One の "2-EXT" ポートに接続することはできません。電話機器はすべて壁の電話ジャックに接続してください。

  注記 シリアル タイプの電話方式を使用する国または地域の場合、HP All-in-One 付属の電話コードに別の壁プラグが接続している可能性があります。これにより、別の通信装置を壁側のモジュラー ジャックに接続して、HP All-in-One を差し込むことができます。

- お住まいの国または地域が下記の表にあれば、パラレル タイプの電話方式をご使用のはずです。パラレル タイプの電話の場合、HP All-in-One 背面の "2-EXT" ポートを使用して、共有する電話機器を電話回線に接続することができます。

  注記 パラレル タイプの電話の場合、HP All-in-One に付属の 2 線式電話コードを使用して、壁の電話ジャックに HP All-in-One を接続することをお勧めします。

パラレル タイプの電話の国または地域

アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシア	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	南米	マレーシア
メキシコ	フィリッピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ	ベネズエラ
ベトナム		

シリアル方式またはパラレル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

自宅またはオフィスに合った正しいファクス設定の選択

ファクスを正常に使用するには、同じ電話回線で HP All-in-One とともに何か機器やサービスを使用する場合、その種類を知っておく必要があります。 既存のオフィス機器を HP All-in-One に直接接続しなければならない場合に重要です。 また、正常にファクスするには、ファクスの設定を一部変更しなければならないこともあります。

自宅またはオフィスに合った HP All-in-One のセットアップ方法を調べるには、まずこのセクションの質問を最後まで読んで答えてみてください。 そして、1 つ後のセクションにある表から、ご自分の答えに対するセットアップ方法を選択してください。

以下の質問は必ず順番に読んでお答えください。

1. 電話会社からデジタル加入者線 (DSL) を利用していますか。 (DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)
   - ❑ はい、DSL を利用しています。
   - ❑ いいえ。

   「はい」とお答えの方は ケース B : DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。

ファクス設定

「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。

2. 構内交換機 (PBX) システムまたは統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システムを利用していますか。
   「はい」とお答えの方は ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。
3. 複数の電話番号が与えられ、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変えられる、電話会社の着信識別サービスを利用していますか。
   - ❑ はい、着信識別サービスを利用しています。
   - ❑ いいえ。

   「はい」とお答えの方は ケース D: 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。
   着信識別サービスを利用しているかどうか不明ですか。 多くの電話会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。
   この着信識別サービスでは、電話番号ごとに異なる呼び出し音パターンを使用します。 シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出し音パターンを使用できます。 一方の電話番号をシングル呼び出し音にして電話用に、もう一方の電話番号をダブル呼び出し音にしてファクス用に割り当てることができます。 こうしておけば、電話が鳴ったときに電話かファクスかがわかります。
4. 同じ電話番号で HP All-in-One ファクスと電話を一緒に利用しますか。
   - ❑ はい、電話も受信します。
   - ❑ いいえ。

   続けて質問にお答えください。
5. HP All-in-One と同じ電話回線でコンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用していますか。
   - ❑ はい、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用しています。
   - ❑ いいえ。

   コンピュータ ダイヤルアップ モデムを利用しているかどうか不明ですか。 次のいずれかに当てはまる場合は、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを利用しています。
   – ダイヤルアップ接続でコンピュータのソフトウェア アプリケーションから直接ファクスを送受信している
   – ダイアルアップ接続でコンピュータから電子メールのメッセージを送受信している
   – ダイアルアップ接続でコンピュータからインターネットを利用している

   続けて質問にお答えください。

6. 同じ電話番号で HP All-in-One ファクスと留守番電話を一緒に利用しますか。
   ❑ はい、留守番電話も利用します。
   ❑ いいえ。
   続けて質問にお答えください。
7. 同じ電話番号で HP All-in-One ファクスと電話会社からのボイスメールサービスを一緒に利用しますか。
   ❑ はい、ボイスメールサービスを利用します。
   ❑ いいえ。
   質問にすべて答えたら、次のセクションに進み、適切なファクス セットアップを選択します。

適切なファクス セットアップの選択

これで、同じ電話回線で HP All-in-One と機器やサービスを一緒に利用する場合の質問はすべて終了です。自宅またはオフィスに合ったセットアップを選択できます。

表の 1 列目から、自宅やオフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。ご使用の電話方式に合わせて、2 列目、3 列目から適切なセットアップを選択します。各方法については、この後手順を追って説明します。

前述の質問にすべて答えたが、どの機器やサービスも利用していなかった場合は、表の 1 列目から「いいえ」を選択してください。

注記　自宅またはオフィスのセットアップがこのセクションで説明されていない場合、HP All-in-One を通常のアナログ電話のようにセットアップします。付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。他の電話コードを使用している場合は、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。

ファクスと一緒に利用する機器やサービス	パラレル方式に推奨するファクス セットアップ	シリアル方式に推奨するファクス セットアップ
なし (すべての質問に「いいえ」と回答しました)。	ケース A：単独のファクス回線 (電話の着信なし)	ケース A：単独のファクス回線 (電話の着信なし)
DSL サービス (質問 1 のみに「はい」と回答しました)。	ケース B：DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ	ケース B：DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ
PBX または ISDN システム (質問 2 のみに「はい」と回答しました)。	ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ	ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ

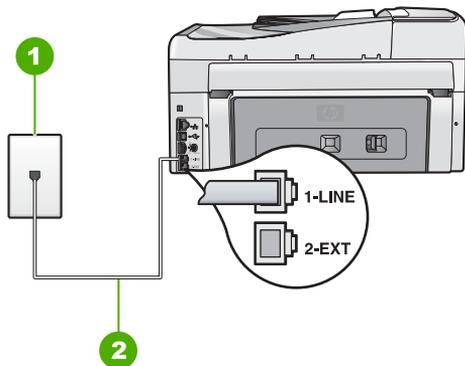
(続き)

ファクスと一緒に利用する機器やサービス	パラレル方式に推奨するファクス セットアップ	シリアル方式に推奨するファクス セットアップ
着信識別サービス (質問 3 のみに「はい」と回答しました)。	ケース D: 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する	ケース D: 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する
電話 (質問 4 のみに「はい」と回答しました)。	ケース E : 電話とファクスを一緒に利用する	ケース E : 電話とファクスを一緒に利用する
電話とボイスメールサービス (質問 4 および 7 のみに「はい」と回答しました)。	ケース F : 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する	ケース F : 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する
コンピュータ ダイヤルアップ モデム (質問 5 のみに「はい」と回答しました)。	ケース G : 同じ回線でファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデム (質問 4 および 5 のみに「はい」と回答しました)。	ケース H : 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する	適用できません。
電話と留守番電話 (質問 4 および 6 のみに「はい」と回答しました)。	ケース I : 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話 (質問 4 、 5 および 6 のみに「はい」と回答しました)。	ケース J : 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイスメールサービス (質問 4 、 5 および 7 のみに「はい」と回答しました)。	ケース K : 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する	適用できません。

国または地域ごとのファクスのセットアップ方法の詳細については、以下に示すファクス構成専用 Web サイトを参照してください。

オーストリア	www.hp.com/at/faxconfig
ドイツ	www.hp.com/de/faxconfig
スイス(フランス語)	www.hp.com/ch/fr/faxconfig
スイス(ドイツ語)	www.hp.com/ch/de/faxconfig
イギリス	www.hp.com/uk/faxconfig
スペイン	www.hp.es/faxconfig
オランダ	www.hp.nl/faxconfig
ベルギー (フランス語)	www.hp.be/fr/faxconfig
ベルギー(ドイツ語)	www.hp.be/nl/faxconfig
ポルトガル	www.hp.pt/faxconfig
スウェーデン	www.hp.se/faxconfig
フィンランド	www.hp.fi/faxconfig
デンマーク	www.hp.dk/faxconfig
ノルウェー	www.hp.no/faxconfig
アイルランド	www.hp.com/ie/faxconfig
フランス	www.hp.com/fr/faxconfig
イタリア	www.hp.com/it/faxconfig

ケース A : 単独のファクス回線 (電話の着信なし)

電話を受け付けない単独の電話回線を利用し、この電話回線に機器を何も接続しない場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

単独のファクス回線の環境に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

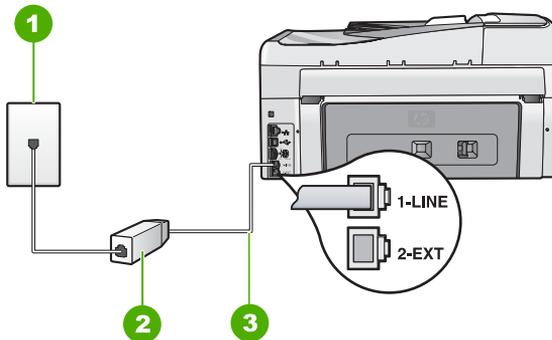
注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. 自動応答 の設定をオンにします。
3. (オプション) [応答呼び出し回数] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
4. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、 [応答呼び出し回数] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP All-in-One が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース B : DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ

電話会社から DSL サービスを利用する場合は、次のように壁側のモジュラージャックと HP All-in-One の間に DSL フィルタを取り付けます。HP All-in-One が電話回線と正しくやり取りすることができるように、DSL フィルタで HP All-in-One を妨害する可能性のあるデジタル信号を除去します(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています)。

注記 DSL を利用しているのにこの DSL フィルタを取り付けないと、HP All-in-One でファクスを送受信できなくなります。

HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	DSL プロバイダから支給された DSL フィルタおよびコード
3	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

DSL の環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL フィルタのコードを壁側のモジュラージャックに接続します。

注記 着信識別サービス、留守番電話、ボイスメールなど、他のオフィス機器やサービスなどがこの電話回線に接続されている場合、セットアップの追加手順については、このセクションの該当するセクションを参照してください。

4. ファクス テストを実行します。

ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ

PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、次の指示に従ってください。

- PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、ファクスおよび電話用のポートに HP All-in-One が接続されていることを確認してください。 また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

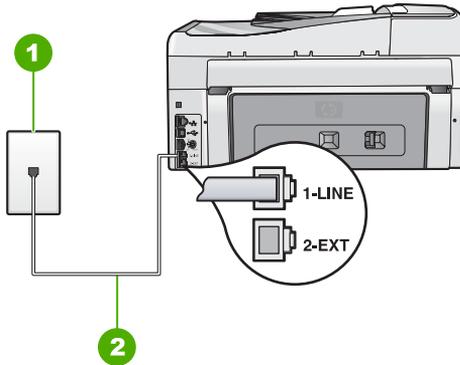
注記 ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続すると問題が発生する場合は、多用途向けのポートを使用してみてください。ポートには、"multi-combi" などのようなラベルが付けられています。

- PBX システムを使用している場合は、電話の保留音送出機能をオフにします。

注記 多くのデジタル PBX システムでは、電話の呼び出し音が工場出荷時の設定で「オン」になっています。電話の呼び出し音は、ファクス送信の妨害となり、HP All-in-One でファクスの送受信ができなくなります。電話の呼び出し音をオフにする方法については、PBX システム付属のマニュアルを参照してください。

- PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線番号をダイヤルします。
- 付属のコードで 壁側のモジュラー ジャックとお使いの HP All-in-One を正しく接続します。 接続していない場合、ファクスを正しく行うことはできません。 この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。 付属の電話コードでは短すぎる場合、お近くの電器店からカプラーを購入して延長することができます。

ケース D: 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する

1 本の電話回線に複数の電話番号があり、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変える、電話会社の着信識別サービスを利用している場合、次のように HP All-in-One を設定します。

HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

着信識別サービスの環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. 自動応答 の設定をオンにします。
3. [応答呼出し音のパターン] 設定を変更して、電話会社がお使いのファクス番号に指定した呼び出し音のパターンに合わせます。

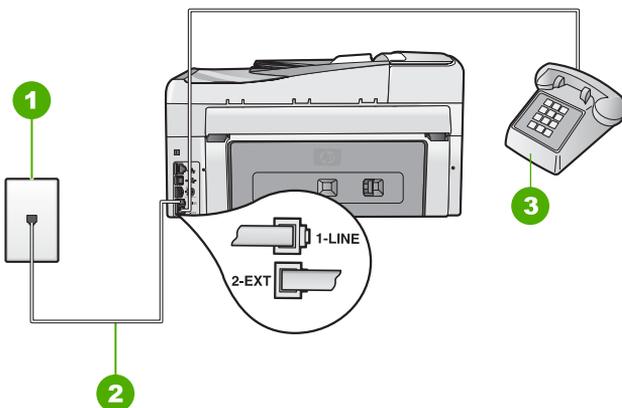
注記　HP All-in-One の工場出荷時の設定では、すべての呼び出し音パターンに応答するよう設定されています。 [応答呼出し音のパターン] がファクス番号に割り当てられていた呼出し音のパターンと一致するように設定しないと、HP All-in-One が電話とファクスの両方の呼び出し音に応答してしまったり、まったく応答しなくなったりすることがあります。

4. (オプション) [応答呼び出し回数] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
5. ファクス テストを実行します。

HP All-in-One では、 [応答呼出し音のパターン] 設定で選択した呼び出し音のパターンの着信に対して、 [応答呼び出し回数] 設定で選択した呼び出し回数

の後に自動応答します。 そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース E : 電話とファクスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にオフィス機器 (またはボイスメールサービス) を何も接続しない場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。
3	電話機 (オプション)

電話とファクスの共有回線環境に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

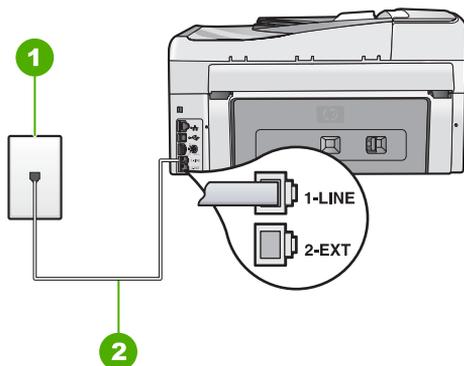
   注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. ここで、HP All-in-One でのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   – 着信に **自動** で応答する設定の場合は、HP All-in-One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP All-in-One は、ファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、HP All-in-One が着信に応答する前に自分で応答する必要があります。HP All-in-One で着信を自動的に受信するには、 **自動応答** 設定をオンにします。
   – ファクスを **手動** で受信する設定の場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP All-in-One でファクスを受信できません。手動で着信に応答するように HP All-in-One を設定するには、 **自動応答** をオフにします。
3. ファクス テストを実行します。
4. 電話を壁側モジュラー ジャックに接続します。
5. 電話システムによって、次のいずれかの操作を行います。
   – パラレル方式の電話システムを使用している場合、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
   – シリアル方式の電話の場合は、壁のプラグが接続された HP All-in-One ケーブルの一番先に電話を直接接続します。

HP All-in-One が着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答します。

ケース F : 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、電話会社からボイスメールサービスも利用する場合は、次のように HP All-in-One を接続します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。すべてのファクスを手動で受信する必要があります。受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コードを使用する

ボイスメールサービスの環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

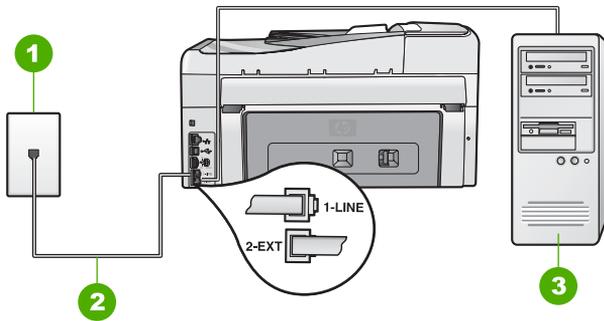
2. 自動応答 の設定をオフにします。
3. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。 そうしないと HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

ケース G：同じ回線でファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)

電話を受け付けないファクス回線を利用し、この回線にコンピュータ ダイヤルアップ モデムを接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP All-in-One と共有しているので、モデムと HP All-in-One の両方を同時に使用することができません。たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを

送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。
3	モデム搭載コンピュータ

コンピュータ ダイヤルアップ モデムの環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

5. 自動応答 の設定をオンにします。
6. (オプション) [応答呼び出し回数] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
7. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、 [応答呼び出し回数] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP All-in-One が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース H : 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ ダイヤルアップ モデムも接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP All-in-One と共有しているので、モデムと HP All-in-One の両方を同時に使用することができません。たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP All-in-One をセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

パラレル スプリッターの例

ファクス設定

- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、下記の手順で HP All-in-One をセット アップしてください。

HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの "IN" 電話ポート
3	コンピュータの "OUT" 電話ポート
4	電話
5	モデム搭載コンピュータ
6	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

3. 電話をコンピュータ ダイヤルアップ モデムの背面の"OUT"ポートにつなぎます。
4. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

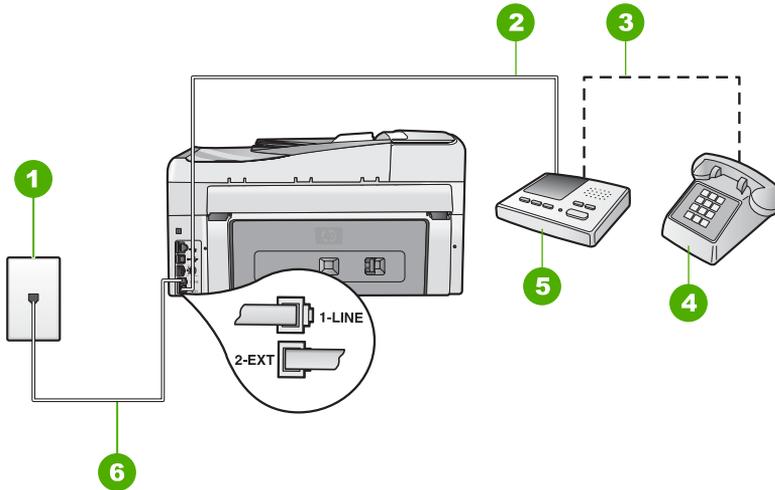
5. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

6. ここで、HP All-in-One でのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   – 着信に **自動** で応答する設定の場合は、HP All-in-One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP All-in-One は、ファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、HP All-in-One が着信に応答する前に自分で応答する必要があります。HP All-in-One で着信を自動的に受信するには、 **自動応答** 設定をオンにします。
   – ファクスを **手動** で受信する設定の場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP All-in-One でファクスを受信できません。手動で着信に応答するように HP All-in-One を設定するには、 **自動応答** をオフにします。
7. ファクス テストを実行します。

HP All-in-One が着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答します。

ケース I : 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話番号で留守番電話も接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	留守番電話の "IN" ポート
3	留守番電話の "OUT" ポート
4	電話機 (日本では留守電機能付き電話が一般的です)
5	留守番電話
6	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

注記　HP All-in-One に留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP All-in-One でファクスを受信できないことがあります。

ファクス設定

3. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

   注記 留守番電話が外部の電話に接続できない場合、留守番電話と電話の両方を HP All-in-One に接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入および使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

5. **自動応答** の設定をオンにします。
6. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
7. HP All-in-One の [**応答呼び出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
8. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP All-in-One は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。ファクス受信トーンを検出すると、HP All-in-One はファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、HP All-in-One は回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

ケース J：電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話も接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

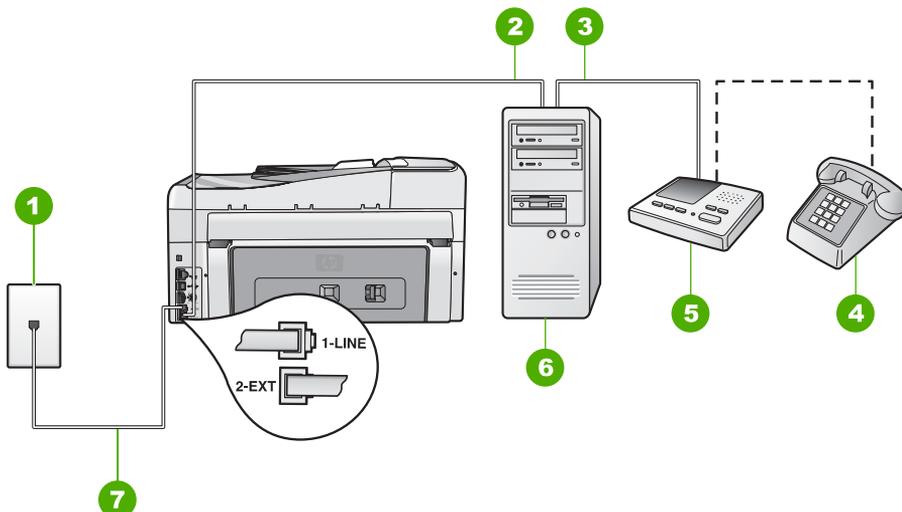
コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP All-in-One と共有しているので、モデムと HP All-in-One の両方を同時に使用することができません。たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP All-in-One をセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線

式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

パラレル スプリッターの例

- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、下記の手順で HP All-in-One をセットアップしてください。

HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの "IN" 電話ポート
3	コンピュータの "OUT" 電話ポート
4	電話機 (日本では留守電機能付き電話が一般的です)
5	留守番電話
6	モデム搭載コンピュータ
7	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

3. 留守番電話のコードを壁側のモジュラージャックから抜き、コンピュータ モデムの背面の “OUT” ポートに接続します。
   こうすると、たとえコンピュータ モデムの方が先に回線に接続されていても、HP All-in-One と留守番電話の間を直接接続できます。

   注記　留守番電話をこのように接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP All-in-One でファクスを受信できないことがあります。

4. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

   注記　留守番電話が外部の電話に接続できない場合、留守番電話と電話の両方を HP All-in-One に接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入および使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

6. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記　モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

7. 自動応答 の設定をオンにします。
8. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
9. HP All-in-One の [応答呼び出し回数] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
10. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP All-in-One は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。ファクス受信トーンを検出すると、HP All-in-One はファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、HP All-in-One は回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線でコンピュータ ダイヤルアップ モデムも利用して電話会社からボイスメール サービスも利用する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

注記　ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。すべてのファクスを手動で受信する必要があります。受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP All-in-One と共有しているので、モデムと HP All-in-One の両方を同時に使用することができません。 たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP All-in-One をセットアップする方法は 2 種類あります。 はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります (パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

パラレル スプリッターの例

ファクス設定

- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、下記の手順で HP All-in-One をセット アップしてください。

HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの "IN" 電話ポート
3	コンピュータの "OUT" 電話ポート
4	電話
5	モデム搭載コンピュータ
6	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

3. 電話をコンピュータ ダイヤルアップ モデムの背面の "OUT" ポートにつなぎます。
4. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

6. 自動応答 の設定をオフにします。
7. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。 そうしないと HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

ファクスを受信するように HP All-in-One の設定を変更

ファクスを正しく受信するためには、HP All-in-One の一部設定の変更が必要になる場合があります。個々のファクス オプションについて選択すべき設定がわからない場合は、本ガイドにあるファクスの設定に関する詳細説明をご覧ください。

- 応答モードの設定
- 応答までの呼び出し回数を設定
- 着信識別応答呼出し音のパターンの変更

応答モードの設定

応答モードでは、HP All-in-One が電話の着信に自動で応答するかどうかについての設定を行います。

- HP All-in-One でファクスに**自動的に**応答するには、 [自動応答] をオンにします。HP All-in-One が、すべての受信電話とファクスに自動で応答します。
- ファクスに**手動で**応答するには、 [自動応答] をオフにします。受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP All-in-One はファクスを受信しません。

応答モードを設定するには

➔ 自動応答 を押して、希望の設定に合わせてランプのオン/オフを切り替えます。
自動応答 ランプが点灯している場合は、HP All-in-One が自動的に応答します。ランプが点灯していない場合は、HP All-in-One は着信への応答を行いません。

応答までの呼び出し回数を設定

[自動応答] 設定をオンにすると、HP All-in-One が自動的に着信音に応答するまでの呼び出し回数を指定できます。

[応答呼び出し回数] 設定は、特に HP All-in-One と同じ電話回線で留守番電話を使用している場合に重要です。HP All-in-One が応答する前に留守番電話で応答する必要があるからです。HP All-in-One の [応答するまでの呼出し回数] を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。

たとえば、留守番電話の呼び出し回数を少なくし、HP All-in-One の呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP All-in-One が電話回線を監視します。HP All-in-One がファクス受信音を検出した場合は、HP All-in-One はファクスを受信します。音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。

コントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには

1. セットアップ を押します。
2. ▼ を押して [ファクスの基本設定] をハイライト表示させ、 OK を押します。
3. ▼ を押して [応答呼び出し回数] をハイライト表示させ、 OK を押します。
4. キーパッドを使用して呼び出し回数を入力するか、▼ または ▲ を押して呼び出し回数を変更します。
5. OK を押して設定します。

着信識別応答呼出し音のパターンの変更

多くの電話会社から、1 本の電話回線で複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。この着信識別サービスでは、番号ごとに呼び出し音のパターンが異なります。HP All-in-One が特定の呼び出し音の着信に応答するように設定することができます。

着信識別音が設定されている電話回線に HP All-in-One を接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファクス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。ファクス番号には、2 回または 3 回の呼び出し音を割り当てることをお勧めします。HP All-in-One は、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファクスの受信を開始します。

着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン [すべての呼び出し] を使用してください。

コントロール パネルで応答呼出し音のパターンを変更するには

1. HP All-in-One がファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。
3. ▼ を押して [**ファクスの詳細設定**] を選択し、次に **OK** を押します。
4. ▼ を押して [**応答呼出し音のパターン**] を選択し、次に **OK** を押します。
5. ▼ を押して適切なオプションをハイライト表示させ、 **OK** を押します。
   ファクス回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、HP All-in-One は着信に応答して、ファクスを受信します。

ファクス設定のテスト

ファクス設定をテストして HP All-in-One の状態を調べ、正常にファクス送信できるように設定されたことを確認することができます。このテストは、HP All-in-One のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。テストの内容は次のとおりです。

- ファクスのハードウェアをテストする
- 正しい種類の電話コードが HP All-in-One に接続されていることを確認する
- 電話線が正しいポートに接続されていることを確認する
- ダイヤル トーンを検出する
- アクティブな電話回線を検出する
- 電話回線の接続状態をテストする

テスト結果は、レポートとして HP All-in-One から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認し、テストを再実行してください。

コントロール パネルからファクス機能のセットアップをテストするには

1. 家庭やオフィスなど、お使いになる用途に合わせた指示に従って、HP All-in-One のファクス機能をセットアップします。
2. テストを行う前に、インク カートリッジを取り付け、給紙トレイに普通紙をセットします。
3. **セットアップ** を押します。
4. ▼ を押して [**ツール**] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。
5. ▼ を押して [**ファクス テストを実行**] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。
   HP All-in-One のディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。

6. レポートを確認します。
   – テストに合格してもファクスの問題が解消されない場合は、レポートに記載されているファクス設定を調べて、正しく設定されていることを確認します。ファクス設定が行われていない、または不適切な場合は、ファクスに問題が発生する可能性があります。
   – テストに失敗した場合は、レポートを参照して問題の解決方法を確認してください。
7. HP All-in-One からファクス レポートを取り出した後、 **OK** を押します。
   必要ならば、見つかった問題を解決して、テストを再実行します。

ファクスヘッダーの設定

ファクスのヘッダーを使用すると、すべての送信ファクスの上部に名前とファクス番号が印刷されます。HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを使用して、ファクス ヘッダーを設定することをお勧めします。ここに記されているとおり、コントロール パネルからファクスのヘッダーを設定することもできます。

注記　一部の国または地域では、法令等によりファクスのヘッダー情報の明記が義務付けられています。

コントロール パネルからデフォルトのファクスのヘッダーを設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. ▼ を押して [ファクスの基本設定] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。
3. ▼ を押して [ファクスのヘッダー] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。
   ディスプレイにビジュアル キーボードが表示されます。
4. ビジュアル キーボードを使用して、ユーザーの個人名または会社名を入力します。完了したら、ビジュアル キーボードの [完了] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。
5. キーパッドを使用してファクス番号を入力し、 **OK** を押します。

ファクス設定

5 HP All-in-One 機能の使用

HP All-in-One では、コピーの作成、文書のスキャン、ファクスの送受信、メモリ カードからの写真印刷などをすばやく簡単に行えます。HP All-in-One の機能の多くは、コンピュータを使わなくても直接コントロール パネルから操作できます。

この章には、HP All-in-One の基本的な操作方法に関する情報が記載されています。また、用紙のセット方法やインク カートリッジの交換方法についても記載されています。

原稿および用紙のセット

HP All-in-One には、A4 またはレター用紙、リーガル用紙、フォト用紙、OHP フィルム、封筒などのさまざまなサイズと種類の用紙をセットできます。デフォルトでは、HP All-in-One は、給紙トレイの用紙のサイズと種類を自動的に検出し、最高品質の印刷結果が得られるように設定を調整します。

フォト用紙、OHP フィルム、封筒、ラベルなどの特殊用紙を使用する場合、または自動調整された設定で高品質の印刷結果が得られない場合は、用紙のサイズと種類を手動で設定できます。

- 自動ドキュメント フィーダに原稿をセット
- ガラス板への原稿のセット
- ハガキ/L 判用紙のセット

自動ドキュメント フィーダに原稿をセット

原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットすると、1 ページまたは複数ページのレター サイズ、A4 サイズ、リーガル サイズの文書をコピー、スキャン、ファクスすることができます。

自動ドキュメント フィーダには、レター サイズと A4 サイズの用紙は最大 50 枚、リーガル サイズの用紙は 35 枚までセットできます。

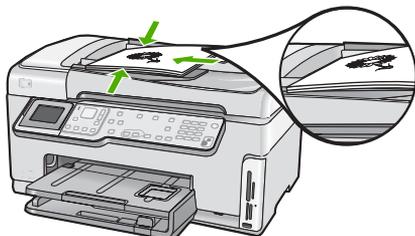
注記 [ページに合わせる] コピーなど、一部の機能は原稿を自動ドキュメント フィーダにセットすると動作しません。原稿はガラス板にセットしてください。

注意 自動ドキュメント フィーダには写真をセットしないでください。写真が破損する恐れがあります。

ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットするには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。自動ドキュメント フィーダに用紙をスライドさせます。正しくセッ

トされると、ビープ音が鳴るか、ディスプレイに HP All-in-One がセットした用紙を認識したことを示すメッセージが表示されます。
リーガル用紙をセットする場合は、用紙を挿入する前に延長フィーダ トレイを開いてください。

ヒント　原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする方法については、ドキュメント フィーダ トレイにある図を参照してください。

2. 用紙の両端に当たって止まるまで、用紙ガイドをスライドさせます。

注記　HP All-in-One のカバーを持ち上げる前に、ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り出してください。

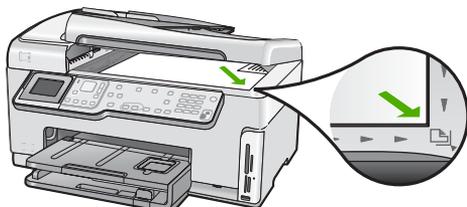
ガラス板への原稿のセット

ガラス板に原稿をセットすると、最大で A4 サイズまたはレター用紙までの原稿をコピー、スキャン、またはファクスすることができます。原稿にリーガル サイズまたは複数の用紙サイズのページがある場合は、自動ドキュメント フィーダにセットしてください。

注記　ガラス板や原稿押さえに汚れが付着していると、多くの特殊機能が正常に機能しなくなる可能性があります。

ガラス板に原稿をセットするには

1. すべての原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り出してから、HP All-in-One のカバーを持ち上げてください。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

ヒント　原稿のセット方法については、ガラス板の端に示されているガイドを参照してください。

3. カバーを閉じます。

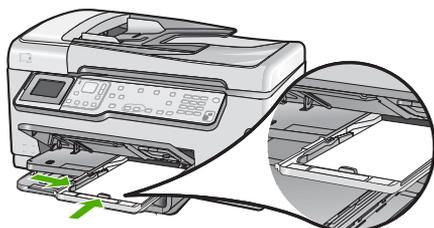
ハガキ/L 判用紙のセット

HP All-in-One のフォト トレイには、ハガキ/L 判用紙をセットできます。より美しく仕上げるために、L 判ではプレミアム プラス フォト用紙を使用してください。

フォト トレイにハガキ/L 判用紙をセットするには

1. 排紙トレイをしっかり持ち上げます。

2. フォト トレイを引き出します。

3. 短いほうの辺を奥に、光沢面を下にしてフォト用紙の束をフォト トレイに挿入します。フォト用紙の先端が止まるまで奥に差し込んでください。お使いのフォト用紙にミシン目付きのタブがある場合は、そのタブが自分のほうに向くようにフォト用紙をセットしてください。
4. 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドを動かし、フォト用紙の端に合わせます。
   フォト トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。 フォト用紙の束がきちんとフォト トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

5. フォト トレイを押し込み、排紙トレイを下げます。

紙詰まりの防止

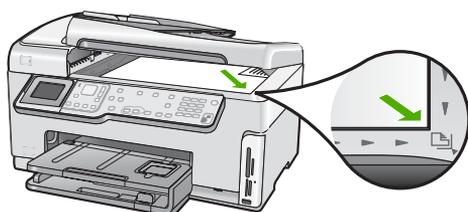
紙詰まりを起こさないようにするには、以下の注意に従ってください。

- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- ガラス板に原稿をセットしたままにしないでください。ガラス板の上に原稿があるときに原稿を自動ドキュメント フィーダにセットすると、自動ドキュメント フィーダの中で原稿が詰まることがあります。
- 未使用の用紙はチャック付きの袋に平らに入れ、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないように保管してください。
- 用紙を給紙トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- ラベルを印刷する場合は、製造から 2 年以内のラベル シートを使用してください。古いシートのラベルは HP All-in-One から排出されるまでに剥がれ落ちて、紙詰まりの原因となります。
- 給紙トレイに種類やサイズの異なる用紙を一緒にセットしないでください。給紙トレイにセットした用紙は、すべて同じサイズと種類でなければなりません。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイの横方向用紙ガイドを調整してください。横方向用紙ガイドで給紙トレイの用紙を折らないようにしてください。
- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用の HP All-in-One で推奨している用紙の種類をお使いください。

コピーの作成

コントロール パネルから高画質のコピーを作成できます。

コントロール パネルからコピーを作成するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押してコピーを行います。

画像のスキャン

スキャンはコンピュータからでも、HP All-in-One からでも行うことができます。このセクションでは、HP All-in-One のコントロール パネルによるスキャン方法についてのみ説明します。

スキャン機能を使用するには、HP All-in-One とコンピュータとを接続して電源をオンにする必要があります。また、スキャンを実行するに先だってコンピュータに HP All-in-One ソフトウェアをインストールし、実行しておく必要もあります。Windows コンピュータで HP All-in-One ソフトウェアが動作してい

ることを確認するには、画面右下の時刻の横にあるシステム トレイに HP All-in-One のアイコンが表示されていることを確認します。

注記 Windows のシステム トレイにある **[HP Digital Imaging Monitor]** アイコンを閉じると、HP All-in-One の一部のスキャン機能が使えなくなる場合があります。その場合は、コンピュータを再起動するか、または HP Photosmart ソフトウェアを起動すると、機能を完全に回復させることができます。

- 原稿をコンピュータにスキャンする
- 写真の再印刷
- メモリ カードまたはストレージ デバイスに原稿をスキャンする

原稿をコンピュータにスキャンする

ガラス板にセットした原稿を、コントロール パネルの操作でスキャンすることができます。

コンピュータにスキャンするには

1. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
2. **スキャン メニュー** を押します。
3. ▼ を押して [**コンピュータにスキャン**] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。
4. HP All-in-One がネットワーク上の 1 つまたは複数のコンピュータに接続されている場合は、次の操作を行います。
   a. **OK** を押して [**コンピュータの選択**] を選択します。
   HP All-in-One に接続されているコンピュータの一覧がディスプレイに表示されます。

   注記 USB 接続されているコンピュータ、およびネットワーク接続されているコンピュータが [**コンピュータの選択**] メニューに一覧表示されます。

   b. **OK** を押してデフォルトのコンピュータを選択するか、▼ を押して別のコンピュータを選択し、 **OK** を押します。
   [**スキャンの送信先**] メニューがディスプレイに表示され、選択したコンピュータのアプリケーション一覧が表示されます。

   HP All-in-One を USB ケーブルで直接コンピュータに接続している場合は、ステップ 5 に進みます。
5. **OK** を押してスキャン画像を受信するデフォルトのアプリケーションを選択するか、▼ を押して別のアプリケーションを選択し、 **OK** を押します。
   コンピュータにスキャンのプレビュー画像が表示され、そこで編集を行うことができます。
6. プレビュー画像に必要な編集を加え、**[適用]** をクリックします。

写真の再印刷

印刷された写真をスキャンして、さまざまなサイズで再印刷できます。最大サイズは、レター (8.5 x 11 インチ) または A4 (210 x 297 mm) 用紙です。

デフォルトでは、HP All-in-One が使用する用紙の種類を自動的に検出するように設定されています。写真を再印刷する場合は、 [用紙の種類] を [自動] に設定し、HP All-in-One にフォト用紙をセットすると最適な結果が得られます。 [自動] 設定では印刷品質に問題がある場合にのみ、 [用紙の種類] を変更してください。

写真をスキャンして再印刷するには

1. 再印刷 を押します。
2. 画面の指示に従って、ガラス板の右下隅に原稿の写真面を下にしてセットし、以下のいずれかの操作を行います。

デフォルトの印刷設定で写真原稿を再印刷するには

➔ フォト プリント を押します。

写真原稿を再印刷する前に印刷設定を変更するには

a. OK を押します。
b. ◀ または ▶ を押して用紙サイズを選択し、 OK を押します。
お使いいただける用紙サイズの種類は、お住まいの国/地域によって異なります。

注記　選択した用紙のサイズによっては、ページに印刷する写真のレイアウトの選択が求められます。

c. [原稿の色あせを修正?] のメッセージが表示されたら、 [はい] または [いいえ] のいずれかを選択し、 OK を押します。
原稿がスキャンされ、ディスプレイに写真のプレビューが表示されます。
d. OK を押して選択メニューを表示します。

ヒント　選択した写真を複数枚印刷する場合は、▼ を押して [コピー枚数] を選択し、 OK を押します。矢印キーを使ってコピー枚数を指定します。

印刷する前に写真を編集するには、▼ を押して [写真の編集] をハイライト表示させ、 OK を押します。

e. ▼ を押して [選択完了] を選択し、次に OK を押します。
[印刷概要] 画面が表示されます。

f. ▲ または ▼ を押して以下のいずれかを選択し、次に **OK** を押します。

[印刷オプション]	印刷に使用する用紙の種類と写真に日時のスタンプを加えるかどうかを手動で指定できます。 デフォルトでは、[用紙の種類] は [自動] に、[日付スタンプ] は [オフ] に設定されています。これらデフォルト設定は、必要に応じて [新しいデフォルトの設定] オプションで変更できます。
[印刷プレビュー]	1 ページにどのように印刷されるかをプレビュー表示します。印刷する前に設定を確認できるので、設定ミスによる用紙とインクの無駄を省くことができます。
[今すぐ印刷]	ユーザーが選択したサイズとレイアウトで写真を印刷します。

メモリ カードまたはストレージ デバイスに原稿をスキャンする

挿入してあるメモリ カードや前面 USB ポートに接続したストレージ デバイスにスキャンした画像を JPEG 画像として送信することができます (デジタルカメラや USB メモリによってはストレージとして認識しない場合があります)。 また、写真印刷オプションを使用して、スキャンした画像からフチ無しプリントを作成したり、アルバム ページを作成したりできます。

注記　HP All-in-One がネットワークに接続されている場合は、カードまたはデバイスがネットワーク上で共有設定されている場合にのみ、スキャンした画像にアクセスできます。

スキャン画像をメモリ カードまたはストレージ デバイスに保存するには

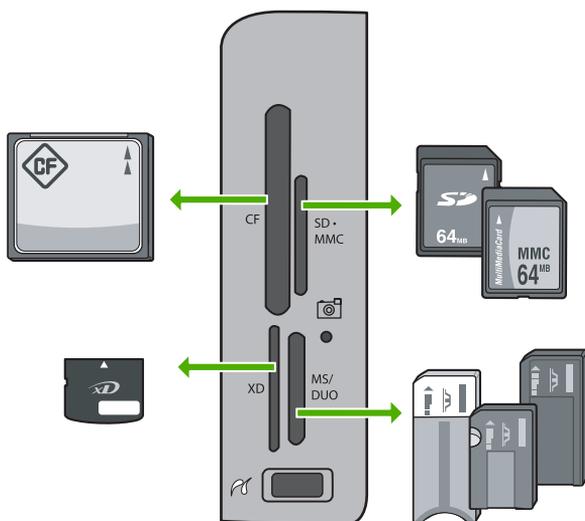
1. メモリ カードが HP All-in-One の適切なスロットに挿入されているか、またはストレージ デバイスが前面の USB ポートに接続されていることを確認します。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
3. **スキャン メニュー** ボタンを押します。
4. ▼ を押して [メモリ カードにスキャン] をハイライト表示させ、**OK** を押します。
   HP All-in-One によって画像がスキャンされ、そのファイルがメモリ カードまたはストレージ デバイスに JPEG 形式で保存されます。

L 判の写真の印刷

メモリ カードまたはストレージ デバイス上の特定の写真を選択して、L 判の写真を印刷できます。

L 判の写真を 1 枚または複数枚印刷するには

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。

ラベルが左側、接点が HP All-in-One 側になるようにメモリ カードを持ち、カードを適切なスロットに差し込んでフォト ランプが点灯するのを確認します。
HP All-in-One では、以下のメモリカードをサポートしています。各タイプのメモリカードは、そのカードに適したスロットにのみ差し込むことができます。

– **左上**：CompactFlash (I、II)
– **右上**：Secure Digital、MultiMediaCard (MMC)、 Secure MultiMedia Card
– **左下**：xD-Picture Card
– **右下**：Memory Stick、Magic Gate Memory Stick、Memory Stick Duo (専用アダプタが必要です)、Memory Stick Pro

2. **OK** を押して [**表示と印刷**] を選択します。
   OK を押すと、最新の写真がディスプレイに表示されます。
3. ◀ または ▶ を使って、メモリ カードまたはストレージ デバイス上の写真をスクロールします。
4. 印刷する写真が表示されたら、 **OK** を押します。
   [**印刷**] メニューが表示されます。デフォルトでは、 [**L 判**] がハイライト表示されます。

   ヒント　デフォルトの印刷設定で写真を印刷する場合は、 **フォト プリント** を押します。現在フォト トレイにセットされている用紙に L 判写真が印刷されます。

5. **OK** を押して [**L 判**] を選択します。

6. ◀ または ▶ を押して用紙サイズを選択し、 **OK** を押します。
   次のオプションを選択できます。
   – L 判のフォト用紙 1 枚に 1 面の L 判のフチ無し写真を印刷する
   – L 判のフチあり写真をフルサイズの用紙に最大 4 枚印刷する
   OK を押すと、選択した写真が再表示されます。
7. (オプション) 印刷設定を変更、または印刷する別の写真を選択します。

   選択した写真を複数枚印刷するには
   a. **OK** を押して、選択メニューを表示します。
   b. ▼ を押して [**コピー枚数**] を選択し、次に **OK** を押します。
   c. ▲ または ▼ を押して印刷枚数を増減し、 **OK** を押します。

   選択した写真を印刷する前に編集するには
   a. **OK** を押して、選択メニューを表示します。
   b. ▼ を押して [**写真の編集**] を選択し、次に **OK** を押します。

   印刷する別の写真を選択するには
   a. ◀ または ▶ を使って、メモリ カードまたはストレージ デバイス上の写真をスクロールします。
   b. 印刷する写真が表示されたら、 **OK** を押します。
   c. **OK** を押して [**印刷するための選択**] を選択します。
   d. 印刷するすべての写真について、上記の手順を繰り返します。
8. 印刷設定の変更を完了して写真を選択し、 **OK** を押すと選択メニューが表示されます。
9. ▼ を押して [**選択完了**] を選択し、次に **OK** を押します。
   [**印刷概要**] 画面が表示されます。
10. ▲ または ▼を押して次のいずれかのオプションを選択し、 **OK** を押します。

[**印刷オプション**]	手動で印刷する用紙の種類を選択し、日時のスタンプを写真に印刷するかどうかを指定できます。 デフォルトでは、 [**用紙の種類**] は [**自動**] に、 [**日付スタンプ**] は [**オフ**] に設定されています。デフォルトの設定は、必要に応じて [**新しいデフォルトの設定**] オプションを使って変更できます。
[**印刷プレビュー**]	印刷状態を示すプレビューを画面に表示します。この機能を使用すれば、印刷する前に設定を確認できるので、失敗による用紙とインクの無駄を防ぐことができます。
[**今すぐ印刷**]	サイズとレイアウトを指定して写真を印刷します。

ソフトウェア アプリケーションからの印刷

ほとんどの印刷設定はソフトウェア アプリケーションによって自動的に設定されます。印刷品質の変更、特定の種類の用紙やフィルムへの印刷、特殊機能の使用の場合にのみ、手動で設定を変更する必要があります。

ソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Windows)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. HP All-in-One をプリンタとして選択します。
   HP All-in-One を通常使うプリンタとして設定している場合は、この手順を省略することができます。この場合、HP All-in-One は既に選択されています。
4. 設定を変更する必要がある場合は、**[プロパティ]** ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
   ソフトウェアによって、このボタンは **[プロパティ]**、**[オプション]**、**[プリンタ設定]**、**[プリンタ]**、 **[プリファレンス]** などの名前になっています。

   注記　写真を印刷するときは、用紙の種類および写真の画質補正で正しいオプションを選択する必要があります。

5. **[詳細設定]**、**[印刷機能のショートカット]**、**[基本設定]**、**[カラー]** タブで、印刷ジョブのための適切なオプションを選択します。

   ヒント　**[印刷機能のショートカット]** タブで定義済みの印刷タスクのいずれか 1 つを選択すると、現在の印刷ジョブに適したオプションを簡単に選択できます。**[印刷機能のショートカット]** リストの中から印刷タスクの種類をクリックします。その種類の印刷タスクのデフォルト設定が設定されて、**[印刷機能のショートカット]** タブに表示されます。必要に応じて、ここで設定を調整し、そのカスタム設定を新しい印刷ショートカットとして保存することができます。カスタム印刷ショートカットを保存するには、保存したいショートカットを選択し、**[保存]** をクリックしてください。ショートカットを削除するには、削除したいショートカットを選択し、**[削除]** をクリックします。

6. **[OK]** をクリックして、**[プロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。
7. 印刷を開始するには、**[印刷]** または **[OK]** をクリックします。

ソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Mac)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[ページ設定]** をクリックします。
   [ページ設定] ダイアログ ボックスが表示され、用紙のサイズ、方向、倍率を指定することができます。
3. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
4. ページ属性を指定します。
   – 用紙のサイズを選択します。
   – 用紙の方向を選択します。
   – 拡大/縮小の比率を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。

6. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。
   [プリント] ダイアログ ボックスが表示され、**[印刷部数と印刷ページ]** パネルが開きます。
7. 印刷するプロジェクトに合わせて、ポップアップ メニューでそれぞれのオプションの印刷設定を変更します。

   注記 写真を印刷するときは、用紙の種類および写真の画質補正で正しいオプションを選択する必要があります。

8. 印刷を開始するには、**[プリント]** をクリックします。

基本的なファクスの送信

ここで説明するように、1 ページまたは複数ページのモノクロ ファクスをコントロール パネルを使って簡単に送信できます。

注記 ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する**前に**ファクス送受信の確認を有効にします。

ヒント 電話やダイヤル モニタ機能を使用して、ファクスを手動で送信することもできます。 この機能では、ダイヤルするペースを指定できます。 通話料金をコーリング カードで支払いたいときなど、ダイヤル中にトーン音に応答する必要があるときに、この機能は役に立ちます。

ファクス レポート、ファクスの手動送信などのファクス機能の詳細については、オンスクリーン ヘルプをご覧ください。

コントロール パネルから基本的なファクスを送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記 複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. **ファクス メニュー** を押します。
   キーパッドを使用してファクス番号を入力するか、▲ を押してダイヤルした最後の番号をリダイヤルするか、▼ を押して短縮ダイヤルを利用します。

   ヒント 入力するファクス番号間に一定の間隔を加えるには、画面にダッシュ記号 ([-]) が表示されるまで、**記号 (*)** ボタンを繰り返し押します。

3. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   – **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、** HP All-in-One は入力した番号にドキュメントを送信します。
   – **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと、** [**ﾌｨｰﾀﾞ に原稿がない**] メッセージが表示されます。原稿が印刷面を下にしてガラス板にセットされていることを確認し、▼ を押して [**スキャナ ガラスから原稿をファクスする**] をハイライト表示させ、**OK** を押します。

   ヒント 受信者からの知らせで、送信したファクスの品質に問題があることがわかった場合は、ファクスの解像度やコントラストを変えてみます。

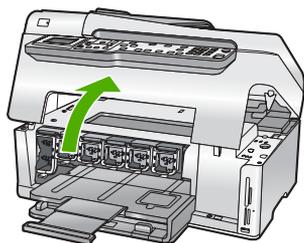
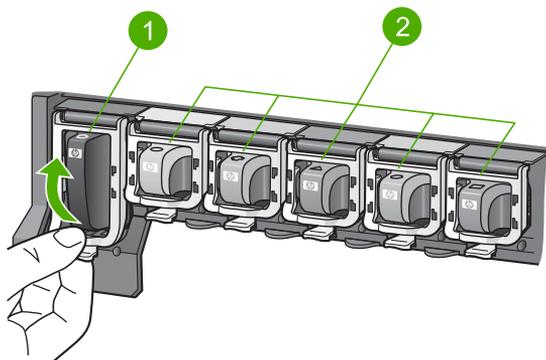
インク カートリッジの交換

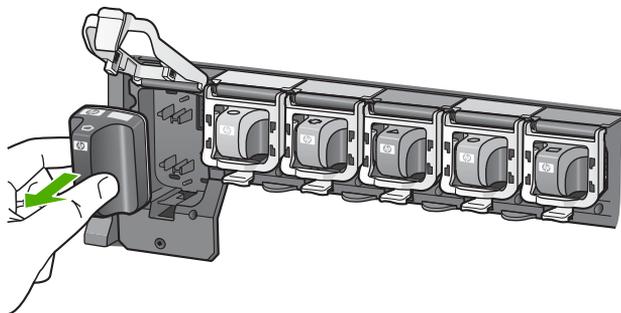
インク カートリッジを交換する際は、以下の指示に従ってください。

注記 はじめて HP All-in-One にインク カートリッジを装着する場合は、必ずデバイス付属のインク カートリッジをお使いください。付属するインク カートリッジのインクは、最初のセットアップ時にプリント ヘッド アセンブリのインクと混ぜ合わさる特別な仕組みになっています。

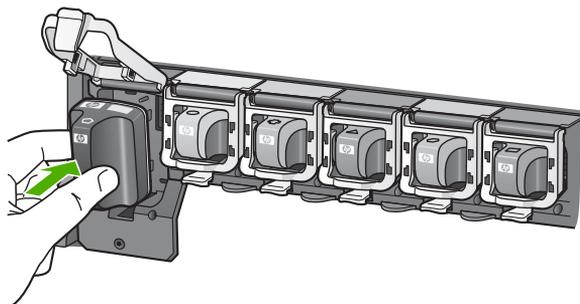
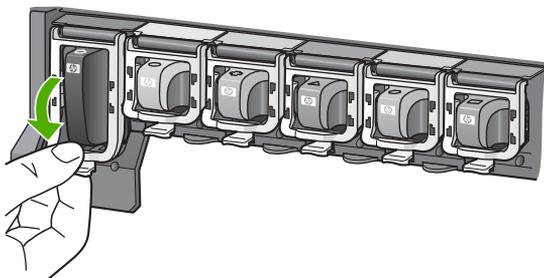
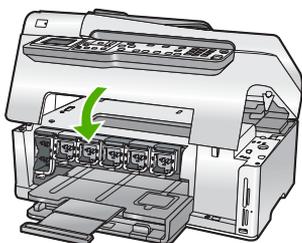
HP All-in-One の交換用インク カートリッジを用意していない場合は、 www.hp.com/learn/suresupply でカートリッジの注文ができます。指示が表示されたら、国/地域を選択して、指示に従って製品を選択し、ページ上のショッピング リンクをクリックします。

インク カートリッジを交換するには

1. HP All-in-One の電源がオンになっていることを確認します。
2. プリント カートリッジ アクセス ドアを本体前面の中央から持ち上げて、所定の位置で止まるまで開きます。

3. インク カートリッジの下にあるタブを強く押して、HP All-in-One 内部のラッチを外し、ラッチを持ち上げます。
   黒のインク カートリッジを交換する場合、一番左のラッチを持ち上げます。
   イエロー、ライト シアン、シアン(ブルー)、ライト マジェンタ(ピンク)、マジェンタの 5 つのカラー インク カートリッジのいずれかを交換する場合、中央領域にある該当するラッチを持ち上げます。

1	黒のインク カートリッジのインク カートリッジ ラッチ
2	カラー インク カートリッジのインク カートリッジ ラッチ

4. インク カートリッジを手前に引き、スロットから外します。

ヒント　残量わずかまたは空になったインク カートリッジはリサイクルできます。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのインク カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳細については、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

5. 新しいインク カートリッジをパッケージから取り出し、インク カートリッジのハンドルを持って、空のスロットへ滑り込ませます。
取り付けるインク カートリッジと同じ形状のアイコンおよび色のスロットに、インク カートリッジを挿入してください。

6. 所定の位置にカチッとはまるまで、グレーのラッチを押し込みます。

7. 交換する各インク カートリッジに対して、ステップ 2 〜 5 を繰り返します。
8. プリント カートリッジ アクセス ドアを閉じます。

プリンタの調整

インク カートリッジを交換すると、プリンタは自動的に調整を行います。この機能は、セルフテスト レポートでカラー ブロックに筋や白線が表示されたときにも使用してください。

プリンタを調整しても印刷品質が改善されない場合は、プリント ヘッドのクリーニングを行ってください。調整とクリーニングによっても印刷品質の問題が解決しない場合は、HP カスタマ サポートに連絡してください。

コントロール パネルでプリンタを調整するには

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **セットアップ** を押します。
   セットアップ メニューが表示されます。
3. ▼ を押して [**ツール**] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。
   [**ツール**] メニューが表示されます。
4. ▼ を押して [**プリンタの調整**] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。

5. HP All-in-One がテスト ページの印刷、プリント ヘッドの調整、プリンタの位置調整を行います。この用紙はリサイクルするか捨ててください。成功または失敗のメッセージが表示されます。

注記　プリンタを調整するときに、色付きの用紙が給紙トレイにセットされていると、調整に失敗します。その場合は、給紙トレイに未使用の白い普通紙をセットしてから、調整をやり直してください。

引き続き調整に失敗する場合は、センサーかインク カートリッジが故障している可能性があります。HP サポートにお問い合わせください。 www.hp.com/support にアクセスしてください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

6. **OK** を押して続行します。
7. この用紙はリサイクルするか捨ててください。

HP All-in-One のクリーニング

きれいにコピーやスキャンをするには、ガラス板と原稿押さえをクリーニングしてください。 また、HP All-in-One の外側のほこりも拭き取ってください。

- ガラス板のクリーニング
- 原稿押さえのクリーニング
- 外側のクリーニング

ガラス板のクリーニング

指紋、しみ、髪の毛、ほこりなどがガラス板の表面に付着していると、性能が落ち、 [ページに合わせる] などの正確性に悪影響を及ぼす場合があります。

ガラス板の表面だけでなく、自動ドキュメント フィーダの下にある小さい帯状のガラス部分もクリーニングしてください。自動ドキュメント フィーダ内部のガラス部分が汚れていると、筋が入る場合があります。

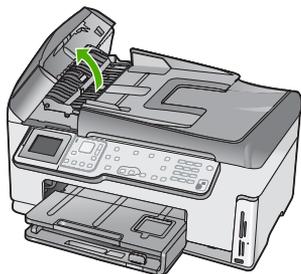
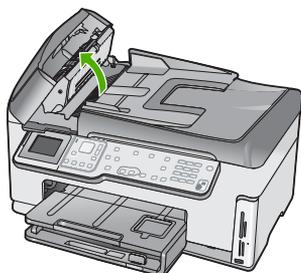
ガラス板をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、カバーを開けます。
2. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス板を拭きます。

注意　研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス板にかけないでください。ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

3. 乾いた糸くずの出ない柔らかい布でガラス板の水分をふき取り、しみが残らないようにします。
4. HP All-in-One の電源をオンにします。

自動ドキュメント フィーダ内部のガラス片をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにします。
2. 自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。

3. 自動ドキュメント フィーダ装置を外します。

   ガラス片は自動ドキュメント フィーダ装置の下にあります。
4. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス片を拭きます。

注意 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス板にかけないでください。ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

5. 自動ドキュメント フィーダ装置を下げ、自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。
6. HP All-in-One の電源をオンにします。

原稿押さえのクリーニング

HP All-in-One のカバーの裏側にある白い原稿押さえの表面に、微少な塵がたまることがあります。

原稿押さえをクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、カバーを開けます。
2. 刺激性の少ないせっけんとぬるま湯で、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。
   軽く拭いて汚れを落とします。力を入れてこすらないでください。
3. 乾いた糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かします。

   注意　原稿押さえを傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

4. さらにクリーニングが必要な場合には、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用して上記の手順を繰り返してから、湿らせた布で残ったアルコールを完全に拭き取ってください。

   注意　ガラス板や HP All-in-One の塗装部品にアルコールをこぼさないように注意してください。デバイスに損傷を与える場合があります。

外側のクリーニング

柔らかい布か、または少し湿らせたスポンジで、外側のほこり、しみ、汚れなどを拭き取ります。HP All-in-One の内側はクリーニングの必要はありません。HP All-in-One のコントロール パネルや内側に液体がかからないようにしてください。

注意　アルコールやアルコール系のクリーニング剤は使用しないでください。HP All-in-One の表面を傷める可能性があります。

6 トラブルシューティングとサポート

この章では、HP All-in-One のトラブルシューティング情報について説明します。インストールおよび設定に関する問題や操作時のトピックについて特に詳しく説明します。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

この章では、保証とサポート情報についても説明します。サポートの連絡先については、このガイドの裏表紙内側に記載されています。

HP All-in-One を USB ケーブルで接続してから、HP All-in-One ソフトウェアをコンピュータにインストールすると、いろいろな問題の原因になります。ソフトウェア インストール画面で指示される前に HP All-in-One をコンピュータに接続した場合、次の手順に従ってください。

セットアップ時によく起こる問題を解決するには

1. コンピュータから USB ケーブルを取り外します。
2. ソフトウェアをアンインストールします (インストール済みの場合)。
3. コンピュータを再起動してください。
4. HP All-in-One の電源をオフにし、1 分間待ってから再起動します。
5. HP All-in-One ソフトウェアを再インストールします。

注意　ソフトウェアのインストール画面で指示されるまで、USB ケーブルをコンピュータに接続しないでください。

ソフトウェアのアンインストールと再インストール

インストールが不完全な場合、またはソフトウェア インストール画面で指示される前に USB ケーブルをコンピュータに接続した場合は、ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールする必要があります。HP All-in-One のアプリケーション ファイルをコンピュータから単に削除するだけでは不十分です。HP All-in-One 付属のソフトウェアをインストールしたときに追加されたアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

(Windows) ソフトウェアをアンインストールし、再インストールするには

1. Windows のタスクバーで、**[スタート]**、**[設定]**、**[コントロール パネル]**の順にクリックします。
2. **[プログラムの追加と削除]**をダブルクリックします。
3. HP All-in-One を選択し、**[変更と削除]** をクリックします。
   画面の指示に従ってください。
4. お使いのコンピュータから HP All-in-One の接続を解除します。
5. コンピュータを再起動してください。

注記　コンピュータを再起動する前に HP All-in-One とコンピュータとの接続を解除することが重要です。ソフトウェアの再インストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。

6. コンピュータの CD-ROM ドライブに HP All-in-One CD-ROM を挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
7. 画面の指示および HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』の指示に従ってください。

ソフトウェアのインストールが完了したら、Windows システム トレイに **[HP Digital Imaging Monitor]** アイコンが表示されます。

ソフトウェアが正しくインストールされているかどうかを確認するには、デスクトップで HP ソリューション センター アイコンをダブルクリックしてください。 HP ソリューション センター にプリンタの基本アイコン (**[画像のスキャン]** および **[ドキュメント スキャン]**) が表示されていれば、ソフトウェアは正しくインストールされています。

(Mac) ソフトウェアをアンインストールし、再インストールするには

1. Mac から HP All-in-One の接続を解除します。
2. **[Applications]**:**[Hewlett-Packard]** フォルダを開きます。
3. **[HP アンインストーラ]** をダブルクリックします。
   画面の指示に従ってください。
4. ソフトウェアのアンインストールが終了したら、コンピュータを再起動します。
5. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブに HP All-in-One の CD-ROM を挿入します。
6. デスクトップで、CD-ROM を開き、**[HP All-in-One インストーラ]** をダブルクリックします。
7. 画面の指示および HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』の指示に従ってください。

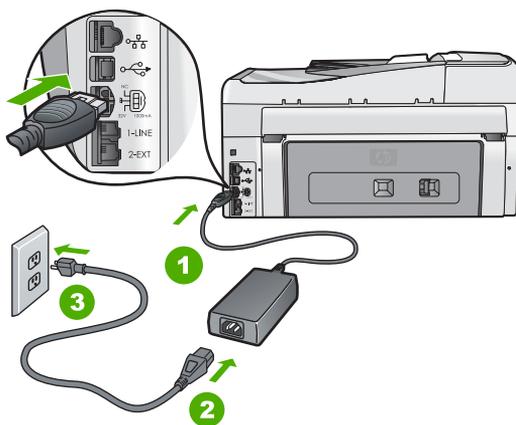
ハードウェアのセットアップに関するトラブルシューティング

このセクションは、HP All-in-One ハードウェアのセットアップ時に発生する可能性がある問題を解決する際に使用してください。

HP All-in-One の電源が入らない

原因 HP All-in-One が電源に正しく接続されていません。

解決方法

- 電源コードが、HP All-in-One と電源アダプタの両方に正しく接続されていることを確認してください。 電源コードは、アース付き電源コンセントか、サージ保護器か、テーブルタップに差し込んでください。

1	電源コネクタ
2	電源コードと電源アダプタ
3	電源コンセント

- テーブル タップを使用している場合は、テーブル タップがオンになっていることを確認してください。 または、HP All-in-One の電源コードを電源コンセントに直接接続してみてください。

- 電源コンセントをテストして、正しく機能していることを確認してください。 作動することが確認できている電気製品を接続して、電力が供給されているか確認します。 電源が入らない場合は、電源コンセントに問題があります。
- スイッチ付きの電源コンセントに HP All-in-One をつないでいる場合は、そのスイッチが入っていることを確認してください。 スイッチがオンにも関わらず電力が供給されない場合は、電源コンセントに問題があります。

原因　**On** ボタンの押し方が短すぎます。

解決方法　**On** ボタンの押し方が短すぎると HP All-in-One が応答しないことがあります。 **On** ボタンを一回押します。HP All-in-One の電源をオンにするにはしばらく時間がかかることがあります。この時間中に **On** ボタンを再度押すと、デバイスの電源がオフになる場合があります。

警告　以上の操作を行ってもまだ HP All-in-One の電源がオンにならないときは、機械的な故障が考えられます。HP All-in-One から電源コードを外し、HP へご連絡ください。お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。

www.hp.com/support

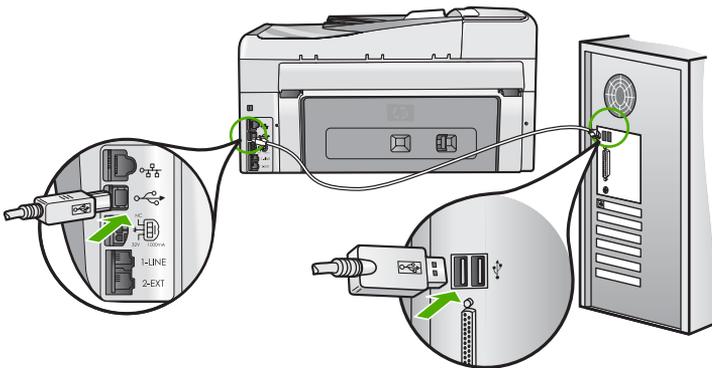
メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

USB ケーブルを接続したが、コンピュータで HP All-in-One を使用するときに問題が発生する

原因　USB ケーブルがソフトウェアがインストールされる前に接続されています。USB ケーブルを指示される前に接続するとエラーが発生します。

解決方法　初めに、HP All-in-One 付属のソフトウェアをインストールしてから、USB ケーブルを接続します。インストールしている間、画面上で指示されるまで、USB ケーブルは差し込まないでください。

ソフトウェアをインストールしたら、USB ケーブルを使ってコンピュータを HP All-in-One に接続するのは簡単です。USB ケーブルの一方の端をコンピュータの背後に接続し、他方の端を HP All-in-One の背面に接続するだけで済みます。コンピュータの背後にある任意の USB ポートに接続できます。

トラブルシューティングとサポート

ソフトウェアのインストールと USB ケーブルの接続については、HP All-in-One 付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

ディスプレイに間違った言語が表示される

解決方法 言語の設定は [**基本設定**] メニューからいつでも変更できます。

言語と国/地域を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. ▼ を押して [**基本設定**] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。
3. ▼ を押して [**言語の設定**] をハイライト表示させ、 **OK** を押します。
4. ▼ を押して言語間をスクロールします。使用する言語が表示されたら、 **OK** を押します。
5. 画面の指示に従って ▼ を押して [**はい**] または [**いいえ**] を選択し、 **OK** を押します。
6. Press ▼ to highlight [**国/地域の設定**] , and then press **OK** .
7. ▼ を押して国/地域をスクロールします。使用する国/地域が表示されたら、**OK** を押します。
8. 画面の指示に従って ▼ を押して [**はい**] または [**いいえ**] を選択し、 **OK** を押します。

プリンタの調整に失敗したというメッセージがディスプレイに表示される

原因 給紙トレイに、カラー用紙、文字が書かれた用紙、リサイクル用紙など、間違った種類の用紙がセットされています。

解決方法 レターまたは A4 の白い普通紙を給紙トレイにセットして、カートリッジの調整をもう一度行ってください。

また調整に失敗した場合は、センサーまたはプリント ヘッド アセンブリに問題がある可能性があります。HP サポートにお問い合わせください。www.hp.com/support にアクセスしてください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

ディスプレイのメニューに間違った単位が表示される

原因 HP All-in-One をセットアップするときに不適切な国/地域を選択した可能性があります。選択する国/地域で、ディスプレイに表示される用紙サイズが決まります。

解決方法 国/地域を変更するには、もう一度デフォルトの言語を設定する必要があります。 言語の設定は [**基本設定**] メニューからいつでも変更できます。

紙詰まりが発生した、またはプリント ヘッド アセンブリが動かないというメッセージがコンピュータに表示される

解決方法 紙詰まりが発生した、またはプリント ヘッド アセンブリが動かないというエラー メッセージがディスプレイに表示された場合は、HP All-in-One の内部に梱包用材料が詰まっている可能性があります。 プリント カートリッジ アクセス ドアを開き、デバイスに異物が入っていないか確認してください。 梱包材や異物があれば取り除きます。

HP All-in-One が印刷しない

原因 HP All-in-One とコンピュータが互いに通信していない

解決方法　HP All-in-One とコンピュータの接続を確認します。

原因　インク カートリッジの片方または両方に問題はありませんか？

解決方法　インク カートリッジが正しく装着され、インクが入っていることを確認します。

原因　HP All-in-One がオンになっていますか？

解決方法　HP All-in-One のディスプレイを見てください。ディスプレイに何も表示されず、 **On** ボタンが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。 **On** ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。

原因　HP All-in-One の用紙が切れていませんか？

解決方法　給紙トレイに用紙をセットしてください。

ファクス セットアップ時のトラブルシューティング

このセクションでは、HP All-in-One のファクス セットアップに関するトラブルシューティング情報について説明します。HP All-in-One でファクスが正しくセットアップされていないと、ファクスの送信、ファクスの受信またはその両方で問題が発生する可能性があります。

ファクス テストに失敗した

ファクス テストを実行して失敗した場合、レポートを調べてエラーの基本情報を確認します。詳細については、レポートでテストのどの部分で失敗したか確認し、このセクションの該当トピックで対処方法をご確認ください。

- 「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した
- 「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した
- 「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した
- 「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した
- 「ダイヤルトーン検出」テストが失敗した
- 「ファクス回線状態」テストが失敗した

「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した

解決方法

- コントロール パネルの **On** ボタンを使用して、HP All-in-One の電源をオフにし、HP All-in-One の背面から電源コードを抜きます。数秒経ってから、電源コードを挿し直して、電源をオンにします。もう一度テストを実行します。またテストに失敗した場合、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。

  注記　HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

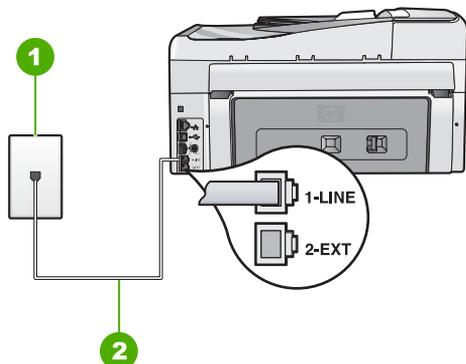
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。
- **[ファクス設定ウィザード]** からテストを実行している場合は、HP All-in-One が、コピーの作成など別のタスクを実行中でビジーになっていないことを確認します。コントロール パネル ディスプレイのメッセージで、HP All-in-One がビジー状態であるか確認してください。ビジー状態の場合、タスクが終了してアイドル状態になってからテストを実行します。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。 [ファクス ハードウェア テスト] の失敗が続き、ファクスを使用できない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 www.hp.com/support にアクセスしてください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した

解決方法

処置

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認してください。
- 必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスの送受信ができないことがあります。HP All-in-One 付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

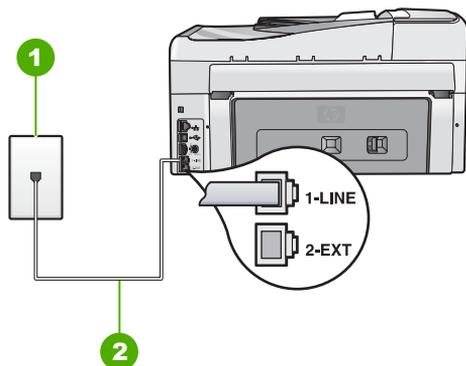
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コードコネクタです)。スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。

「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した

解決方法　電話コードを正しいポートに接続します。

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

注記　2-EXT ポートを使用して壁側のモジュラー ジャックに接続すると、ファクスの送受信はできません。2-EXT ポートは、留守番電話や電話機などの機器接続専用です。

HP All-in-One の背面図

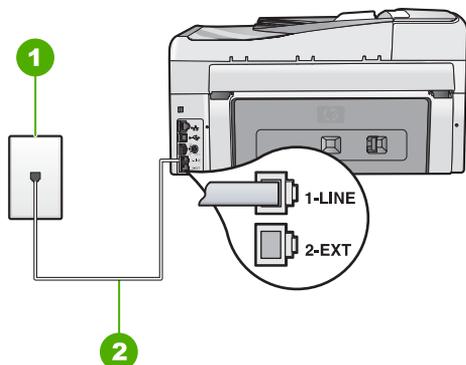
1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コードを使用する

2. 1-LINE と書かれたラベルのポートに電話コードを接続したら、もう一度ファクス テストを実行します。テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。
3. テスト ファクスを送信または受信してみてください。

- 必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスの送受信ができないことがあります。HP All-in-One 付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した

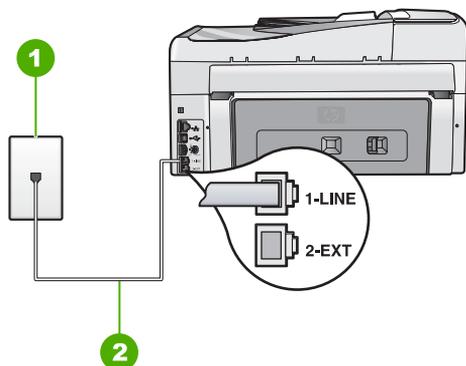
解決方法

- HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。下図のように、電話コードの一方の端を HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認してください。

「ダイヤルトーン検出」テストが失敗した

解決方法

- HP All-in-One と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線から HP All-in-One を除くすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。他の機器がないときに [ダイヤルトーン検出テスト] に合格した場合、1 つ以上の機器が問題の原因である可能性があります。どの機器が問題の原因であるかわかるまで、機器を一度に 1 つずつ戻し、そのつどテストを再実行します。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コードコネクタです)。スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- PBX システムなど、ご使用の電話システムが通常のダイヤル トーンを使用していない場合、テストに失敗する原因になる可能性があります。これは、ファクス送受信の問題の原因にはなりません。テスト ファクスを送信または受信してみてください。
- お住まいの国/地域に対して、国/地域の設定が適切に設定されていることを確認してください。国/地域が設定されてないか、間違って設定されていると、テストに失敗し、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。
- HP All-in-One をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。HP All-in-One をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。[ダイヤル トーン検出] テストに引き続き失敗し続ける場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

「ファクス回線状態」テストが失敗した

解決方法

- HP All-in-One をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。HP All-in-One をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
- 電話の壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認してください。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。
- HP All-in-One と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線から HP All-in-One を除くすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。
  - 他の機器がないときに [ファクス回線状態テスト] に合格した場合、1 つ以上の機器が問題の原因である可能性があります。どの機器が問題の原因であるかわかるまで、機器を一度に 1 つずつ戻し、そのつどテストを再実行します。
  - 他の機器が無くても、 [ファクス回線状態テスト] に失敗する場合は、正常に機能している電話回線に HP All-in-One を接続して、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コードコネクタです)。スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。[ファクス回線状態] テストに引き続き失敗し続け、ファクスができない場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

HP All-in-One でファクスの送受信がうまくできない

原因　HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。

解決方法　HP All-in-One と同じ電話回線上で他の機器やサービスを使用している場合、HP All-in-One で正しくファクスするには、本ガイドの指示に従って設定します。次に、ファクス テストを実行して、HP All-in-One の状態を確認し、ファクス機能のセットアップが正しく行われていることを確認します。

テスト結果は、レポートとして HP All-in-One から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。

原因　HP All-in-One の電源がオフになっています。

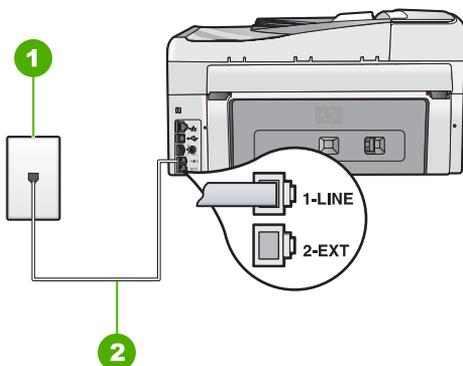
解決方法　HP All-in-One のディスプレイを見てください。ディスプレイに何も表示されず、 **On** ボタンが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれてい

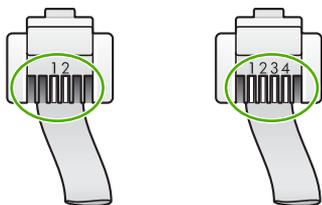
ることを確認してください。 **On** ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。

原因 HP All-in-One の接続に使用された電話コードが正しくありません。または、電話コードが間違ったポートに接続されています。

解決方法

注記 この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。下図のように、特殊な 2 線式電話コードの一方の端を HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

このコードは専用の 2 線式電話コードです。オフィスで一般的に見られる 4 線式電話コードとは異なります。コードの端を確認して、下図に示されている 2 種類のコードと比較してください。

4 線式コードを使用している場合は、それを取り外し、付属の 2 線式コードを HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートに接続します。

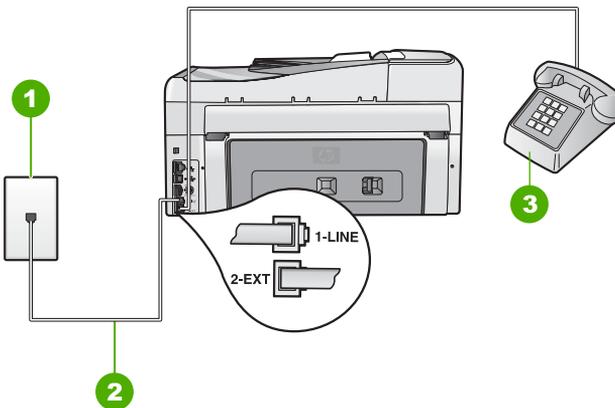
HP All-in-One に 2 線式電話コード アダプタが付属している場合、付属の 2 線式電話コードが短すぎるときには、4 線式電話コードにそのアダプタを装着して使用す

ることができます。2 線式電話コード アダプタを HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートに取り付けます。4 線式電話コードをアダプタの空きポートと壁側のモジュラージャックに接続します。2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください。

原因　HP All-in-One と一緒に使用する他のオフィス機器 (留守番電話や電話機など) が正しく設定されていません。

解決方法

注記　この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

HP All-in-One が壁側のモジュラージャックに正しく接続されていること、および HP All-in-One と電話回線を共有するその他の機器および設備が正しく接続されていることを確認してください。
壁側のモジュラージャックと接続するには、HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートを使用します。下図のように、留守番電話や電話機などその他の機器と接続するには、2-EXT と書かれたポートを使用します。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用
3	電話機 (オプション)

原因　電話回線スプリッターを使用しています。

解決方法　電話回線スプリッターがファクス使用時の問題の原因となることがあります(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

原因　壁側のモジュラージャックが正しく機能していません。

解決方法　正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。発信音が聞こえない場合、電話会社にお問い合わせください。

原因　電話回線の接続ノイズが発生しています。電話回線の音質が悪い (ノイズがある)と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。

解決方法　障害の原因が電話回線のノイズの場合は、送信者にファクスの再送信を依頼してください。2 回目の印刷品質は 1 回目の品質よりも向上することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。問題が解消されない場合は、 [**エラー補正モード**] (ECM) をオフにして、電話会社に連絡してください。

ファクスの問題が解決しない場合は、 [**ファクス速度**] の速度を遅くし、 [**標準 (14400)**] または [**ゆっくり (9600)**] などに設定します。

原因　HP All-in-One と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。

解決方法　内線電話 (同じ電話回線を使用している電話で、HP All-in-One に接続されていないもの) またはその他の機器が使用中でないこと、受話器が外れていないことを確認してください。内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP All-in-One のファクス機能は使用できません。

原因　HP All-in-One と同じ電話回線を使用している DSL サービスの DSL フィルタが接続されていません。

解決方法　DSL サービスの使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。接続されていないと、ファクスを使用することができません。DSL サービスでは、HP All-in-One と干渉し、HP All-in-One によるファクスの送受信を妨害するデジタル信号が電話回線で発信されます。DSL フィルタは、このデジタル信号を除去して、HP All-in-One が電話回線と正しく交信できるようにします。フィルタが接続済みであるかの確認は、電話回線の音または発信音を聞いてください。電話回線でノイズまたは静電ノイズが聞こえる場合、DSL フィルタが設置されていないか、または設置方法が正しくありません。DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。DSL フィルタを入手済みの場合、正しく接続されていることを確認してください。

原因　他の処理が原因で、HP All-in-One でエラーが発生しました。

解決方法　ディスプレイまたはコンピュータで、問題とその解決法のエラー メッセージを確認してください。エラーが解決するまで、HP All-in-One はファクスの送受信をすることができません。

HP ソリューション センター の **[ステータス]** をクリックして、HP All-in-One の状態を確認することができます。

原因　PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用しています。

解決方法

- HP All-in-One がファクスと電話用のポートに接続されていることを確認します。また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

  注記 ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続すると問題が発生する場合は、多用途向けのポートを使用してみてください。ポートには、"multi-combi" などのようなラベルが付けられています。

  PBX 電話システムまたは ISDN 回線で HP All-in-One を使用するための設定方法については、ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ を参照してください。
- [**ファクス速度**] を [**標準 (14400)**] または [**ゆっくり (9600)**] に設定してみます。

原因 [**ファクス速度**] 設定が速すぎます。

解決方法 ファクスの送受信を現在の設定よりも遅い速度で実行する必要があります。次のいずれかを使用する場合は、 [**ファクス速度**] を [**標準 (14400)**] または [**ゆっくり (9600)**] に設定してみます。

- インターネット電話サービス
- PBX システム
- FoIP (Fax over IP)
- ISDN サービス

原因 HP All-in-One が、デジタル電話用にセットアップされた壁側のモジュラージャックに接続されている可能性があります。

解決方法 HP All-in-One をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。HP All-in-One をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。

原因 HP All-in-One は、DSL サービスと同じ電話回線を使用しており、DSL モデムが正しく接地されていない可能性があります。

解決方法 DSL モデムが正しく接地されていない場合、電話回線にノイズが発生することがあります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある)と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。

ノイズが聞こえる場合は、以下の作業を行ってください。

1. DSL モデムの電源を切り、少なくとも 15 分間は完全に通電を断ちます。
2. DSL モデムの電源を再び入れます。
3. 再びダイヤルトーンを聞きます。ダイヤルトーンがはっきり聞こえる (ノイズや空電雑音がない) 場合は、ファクスを送受信してみてください。

注記　今後、電話回線で再び雑音が聞こえる場合があります。HP All-in-One でファクスの送受信ができない場合は、この手順を繰り返してください。

電話回線のノイズが消えない場合、電話会社に連絡してください。DSL モデムをオフにする方法については、DSL プロバイダにお問い合わせください。

原因　IP 電話を使ってインターネット経由でファクスを送信していますが、転送に問題が発生しました。

解決方法　後で再度ファクスを送信してみてください。また、お使いのインターネット サービス プロバイダが FoIP をサポートしていることを確認してください。

問題が解決しない場合、インターネット サービス プロバイダに連絡してください。

HP All-in-One でファクスを送信できないが、受信はできる

原因　HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。

解決方法　HP All-in-One と同じ電話回線上で他の機器やサービスを使用している場合、HP All-in-One で正しくファクスするには、本ガイドの指示に従って設定します。次に、ファクス テストを実行して、HP All-in-One の状態を確認し、ファクス機能のセットアップが正しく行われていることを確認します。

テスト結果は、レポートとして HP All-in-One から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。

原因　HP All-in-One のダイヤルする速度が速すぎるか、またはダイヤルの間隔が短すぎます。

解決方法　ファクス番号の途中に間隔の挿入が必要になることがあります。たとえば、電話番号をダイヤルする前に外線にアクセスする必要がある場合、外線番号の後ろに間隔を挿入してください。ダイヤルする番号が 95555555 で、9 が外線へのアクセス番号である場合、9-555-5555 のように間隔を挿入します。

9-555-5555. 入力するファクス番号間に一定の間隔を入れるには、ディスプレイにダッシュ記号 ([-]) が表示されるまで、 **スペース** ボタンを繰り返し押します。

ファクスを送信する際に短縮ダイヤルを使用している場合、番号の途中に間隔を含めるため、短縮ダイヤルを更新してください。

ダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信できます。これにより、ダイヤル時に電話回線の音を聞くことができます。ダイヤルのペースを設定し、ダイヤル時にプロンプトに応答できます。

原因　ファクス送信の際に入力したファクス番号の形式が正しくありません。

解決方法　入力したファクス番号とその形式が間違っていないか確認してください。たとえば、電話システムによっては番号の最初に「9」を加えてダイヤルする必要があります。

電話回線で PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線用の番号をダイヤルしていることを確認してください。

原因　受信側のファクス機に問題があります。

解決方法　それを調べるには、電話からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてみてください。ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイス メール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあ

ります。受信者に、受信側のファクス機に問題がないか確認するように依頼してください。

HP All-in-One で手動によるファクスの送信がうまくできない

原因　受信側のファクス機が手動によるファクスの受信をサポートしていない可能性があります。

解決方法　受信者に、受信側のファクス機がファクスを手動で受信できるか確認してください。

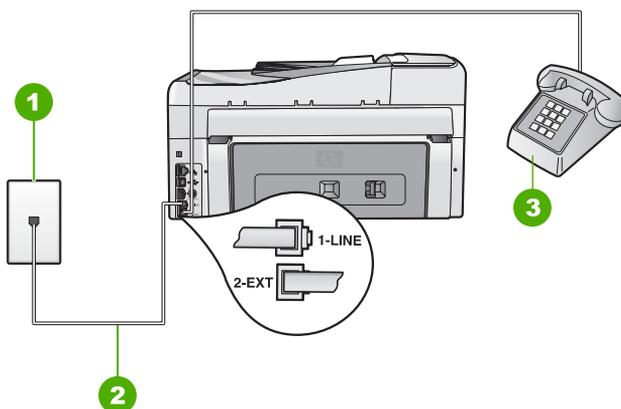
原因　ファクス トーンが聞こえてから 3 秒以内に **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** が押されませんでした。

解決方法　手動でファクスを送信する場合、受信側のファクス トーンが聞こえてから 3 秒以内に **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押してください。3 秒を超えると送信できません。

原因　ファクスを実行するために使用する電話機が HP All-in-One に直接接続されていません。または、接続が正しくありません。

解決方法

注記　この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

ファクスを手動で送信するには、下図のように、HP All-in-One の後部にある 2-EXT と書かれたポートに電話機を直接接続してください。

1	壁側のモジュラージャック
2	HP All-in-One に付属の電話コードを使用
3	電話

原因　[**ファクス速度**] 設定が速すぎる可能性があります。

トラブルシューティングとサポート

解決方法　[**ファクス速度**] を [**標準 (14400)**] または [**ゆっくり (9600)**] に設定し、ファクスを再送します。

原因　HP All-in-One がドキュメント フィーダ トレイにセットされている原稿を検出できません。

解決方法　ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットしていない、または原稿を十分奥まで差し込んでいない場合は、ファクスを手動で送信することはできません。ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットするか、または原稿をトレイの奥まで差し込んでください。HP All-in-One が原稿を検出すると、ディスプレイに確認メッセージが表示されます。

HP All-in-One でファクスを受信できないが、送信はできる

原因　HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。

解決方法　HP All-in-One と同じ電話回線上で他の機器やサービスを使用している場合、HP All-in-One で正しくファクスするには、本ガイドの指示に従って設定します。次に、ファクス テストを実行して、HP All-in-One の状態を確認し、ファクス機能のセットアップが正しく行われていることを確認します。

テスト結果は、レポートとして HP All-in-One から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。

原因　[**自動応答**] がオフのため、HP All-in-One は受信ファクスに応答しません。受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP All-in-One は受信ファクスに応答しません。

解決方法　オフィスのセットアップによっては、受信ファクスに自動応答するように HP All-in-One を設定できる場合があります。

[**自動応答**] をオフにしておく必要がある場合は、ファクスを受信するときに **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押す必要があります。

ヒント　HP All-in-One が遠くにありコントロール パネルに手が届かない場合は、数秒後に、電話で **1 2 3** と押します。HP All-in-One のファクス受信が始まらない場合は、さらに数秒間待って、再び **1 2 3** と押します。HP All-in-One のファクス受信が始まったら、受話器を置いてください。

原因　ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用しています。

解決方法　ファクスの着信に手動で応答するように HP All-in-One を設定します。ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。すべてのファクスを手動で受信する必要があります。受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。

原因　HP All-in-One と同じ電話回線でコンピュータ モデムを使用しています。

解決方法　HP All-in-One と同じ電話回線上にコンピュータ モデムがある場合は、モデムに付属のソフトウェアが、ファクスを自動受信するような設定になっていないことを確認してください。ファクスを自動受信するよう設定されたモデムは、すべての受信ファクスを受け取るため、自動的に電話回線を引き継ぐので、HP All-in-One がファクス呼び出しを受信できなくなります。

原因　HP All-in-One と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。

- 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるために HP All-in-One がファクス トーンを検出できず、それが原因で送信元のファクス機が切断される。
- HP All-in-One がファクス トーンを検出できるだけの充分な時間が、留守番電話の発信メッセージの後にない。この問題は、デジタル留守番電話の場合に最もよく発生します。

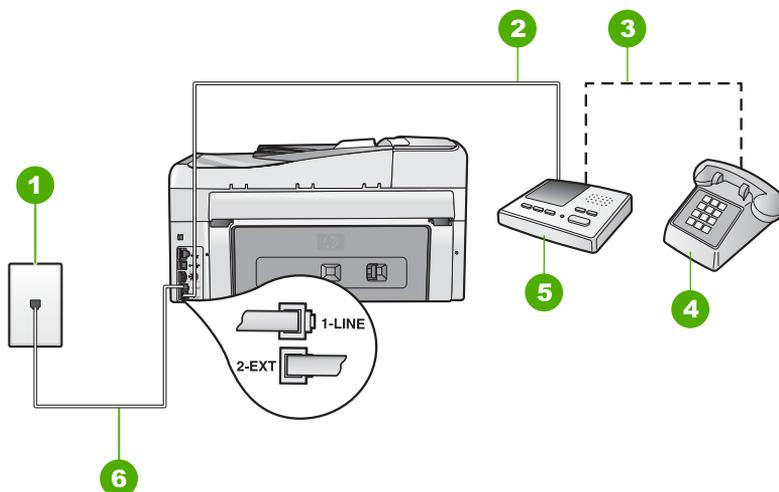
解決方法　HP All-in-One と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下の処置を実行してください。

- 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信してみる。この状態でファクスの受信に成功した場合は、留守番電話が原因である可能性があります。
- 留守番電話をもう一度接続し、発信メッセージを録音し直します。約 10 秒の長さのメッセージを録音します。メッセージを録音するときには、低い音量で、ゆっくりと話してください。音声メッセージの後、沈黙した状態で 5 秒以上録音を続けます。この沈黙時間を録音するときには、バックグラウンド ノイズが入らないよう注意します。もう一度ファクスを受信してください。

原因　留守番電話が HP All-in-One に対して適切にセットアップされていません。

解決方法

注記　この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、下図のように、2-EXT と書かれたポートを使用して、留守番電話を HP All-in-One に直接接続してください。また留守番電話と HP All-in-One の両方に対して、適切な呼び出し回数を設定します。

1	壁側のモジュラージャック
2	留守番電話の IN ポートへの接続
3	留守番電話の OUT ポートへの接続
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

HP All-in-One のファクス機能が自動受信に設定されていることと [**応答呼び出し回数**] 設定が適切であることを確認してください。 HP All-in-One の [応答呼び出し回数] を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。留守番電話の呼び出し回数を少なくし、HP All-in-One の呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP All-in-One が電話回線を監視します。HP All-in-One がファクス受信音を検出した場合は、HP All-in-One はファクスを受信します。音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。

原因　ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊なため (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している)、HP All-in-One の [**応答呼出し音のパターン**] 設定が合致していません。

解決方法　ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、それに合致するように HP All-in-One の [**応答呼出し音のパターン**] 設定を確認してください。たとえば、電話会社からファクス番号に 2 回の呼び出し音パターンが割り当てられている場合は、 [**応答呼出し音のパターン**] 設定として [**呼び出し 2 回**] が選択されていることを確認します。

注記 短音と長音を交互に繰り返すパターンなど、HP All-in-One では一部の呼び出し音パターンを認識することができません。このようなタイプの呼び出し音パターンを使っているときに問題が生じる場合は、電話会社に、交互型でない呼び出し音パターンを割り当てを依頼してください。

着信識別サービスを使用していない場合は、HP All-in-One の [**応答呼出し音のパターン**] 設定が [**すべての呼び出し**] になっていることを確認します。

原因 [**応答呼出し音のパターン**] 設定が [**すべての呼び出し**] ではありません (着信識別サービスも使用していません)。

解決方法 着信識別サービスを使用していない場合は、HP All-in-One の [**応答呼出し音のパターン**] 設定が [**すべての呼び出し**] になっていることを確認します。

原因 ファクスの信号レベルが不十分であるため、ファクスの受信に問題が発生している可能性があります。

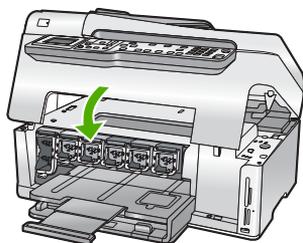
解決方法 HP All-in-One が、留守番電話やコンピュータ モデム、マルチポート スイッチ ボックスなど、その他のタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが減衰することがあります。スプリッターを使ったり、別のケーブルをつないで電話コードを延長しても信号レベルは低下します。ファクスの信号レベルが低下すると、ファクスの受信に問題が発生する場合があります。

- スプリッターまたは延長ケーブルを使用している場合は、それを外して HP All-in-One を直接壁のモジュラージャックに接続してみてください。
- ほかの機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、HP All-in-One 以外のすべてのものを電話回線から取り外し、ファクスを受信してみてください。他の機器を接続しないでファクスを正常に受信できた場合は、機器のいずれかが問題の原因になっています。機器を 1 つずつ追加し、問題の原因となっている機器を識別してください。

原因 HP All-in-One のメモリがいっぱいです。

解決方法 [**バックアップ ファクス受信**] がオンで、HP All-in-One にエラー状態がある場合は、メモリがまだ印刷されていないファクスでいっぱいになり、HP All-in-One が留守番電話を停止します。HP All-in-One がファクスを印刷するのを妨げるエラーが発生している場合は、コントロール パネルのディスプレイの表示を見て、エラーの内容を確認してください。次の点についても確認してください。

- HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。
- 給紙トレイに用紙がありません。
- 紙詰まりが発生しています。

- プリント カートリッジ アクセス ドアが開いています。 次に示すように、プリント カートリッジ アクセス ドアを閉じます。

- プリント ヘッド アセンブリが停止しています。 HP All-in-One の電源をオフにし、プリント ヘッド アセンブリをふさいでいるもの (梱包材など) を取り除いてから、電源を再度オンにします。

問題を解決してください。 まだ印刷されていないファクスがメモリに残っていれば、メモリに保存されたすべてのファクスの印刷が開始されます。

 注記　メモリをクリアするため、HP All-in-One をオフにして、メモリ内に保存されたファクスを削除することもできます。

原因　エラーが発生し、HP All-in-One がファクスを受信することができず、 [**バックアップ ファクス受信**] が [**オフ**] にセットされています。

解決方法　次の問題がないか確認してください。

- HP All-in-One の電源がオフになっています。 **On** ボタンを押して、デバイスの電源を入れてください。
- HP All-in-One のファクス機能のセットアップが正しく行われていません。
- 給紙トレイに用紙がありません。
- 紙詰まりが発生しています。
- プリント カートリッジ アクセス ドアが開いています。 インク カートリッジ用のドアを閉じます。
- プリント ヘッド アセンブリが停止しています。 HP All-in-One の電源をオフにし、プリント ヘッド アセンブリをふさいでいるもの (梱包材など) を取り除いてから、電源を再度オンにします。

 注記　[**バックアップ ファクス受信**] がオンの状態で HP All-in-One の電源をオフにすると、HP All-in-One のエラー発生中に受信した印刷待ちのファクスも含めて、メモリに保存されたファクスはすべて消去されます。このような場合、印刷していないファクスをもう一度送ってもらうように送信者に依頼してください。受信したファクス一覧を見るには、 [**ファクス ログ**] を印刷します。HP All-in-One の電源がオフになっても [**ファクス ログ**] は削除されません。

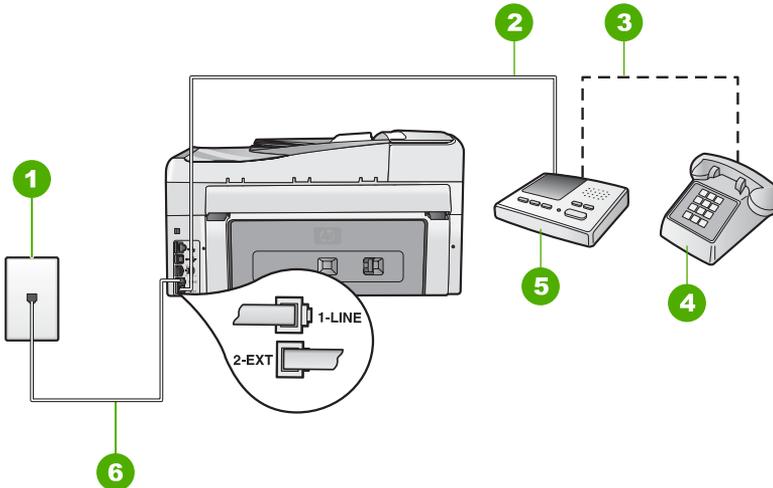
確認された問題を解決すると、HP All-in-One は受信ファクスに応答できるようになります。

ファクス トーンが留守番電話に録音されている

原因　留守番電話と HP All-in-One が適切にセットアップされていません。または、 [**応答呼び出し回数**] 設定が正しくありません。

解決方法

注記　この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、下図のように、2-EXT と書かれたポートを使用して、留守番電話を HP All-in-One に直接接続してください。

1	壁側のモジュラージャック
2	留守番電話の IN ポートへの接続
3	留守番電話の OUT ポートへの接続
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	HP All-in-One に付属の電話コードを使用

HP All-in-One のファクス機能が自動受信に設定されていることと [**応答呼び出し回数**] 設定が適切であることを確認してください。 HP All-in-One の [応答呼び出し回数] を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。留守番電話と HP All-in-One の応答呼び出し回数が同じ回数に設定されていると、電話とファクスの両方が着信に応答してしまうため、ファクス トーンが留守番電話に録音されます。

留守番電話の呼び出し回数を少なくし、HP All-in-One の呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP All-in-One が電話回線を監視します。HP All-in-One がファクス受信音を検出した場合は、HP All-in-One はファクスを受信します。音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。

原因　HP All-in-One が手動でファクスを受信するように設定されているため、HP All-in-One が受信ファクスに応答しません。受信ファクスに応答するには、ユ

ーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP All-in-One はファクスを受信せず、留守番電話にファクス トーンが録音されます。

解決方法　[自動応答] をオンにして、着信を自動的に受信するように HP All-in-One を設定してください。このオプションがオフの場合、HP All-in-One は受信ファクスを監視しないため、ファクスは受信されません。この場合、留守番電話がファクスに応答してしまうため、ファクス トーンが留守番電話に録音されます。

ネットワークのトラブルシューティング

このセクションでは、ネットワークの設定中に発生する問題とその対処方法について説明します。

- 有線ネットワークのセットアップに関するトラブルシューティング
- ワイヤレス セットアップ トラブルシューティング
- ネットワーク ソフトウェアのインストール時のトラブルシューティング

有線ネットワークのセットアップに関するトラブルシューティング

このセクションでは、有線ネットワークの設定中に発生する問題とその対処方法について説明します。

- コンピュータが HP All-in-One を検出できない
- システム要件エラー : TCP/IP が存在しない
- インストール中に [プリンタが検出されませんでした] 画面が表示される
- ルータなしにケーブル モデムを使用していて、IP アドレスがない

コンピュータが HP All-in-One を検出できない

原因　ケーブルが正しく接続されていません。

解決方法　以下のケーブルを点検して、正しく接続されていることを確認してください。

- HP All-in-One とハブまたはルータ間のケーブル
- ハブまたはルータとコンピュータ間のケーブル
- モデムまたは HP All-in-One インターネット接続に使用されるケーブル (該当する場合)

原因　ローカル エリア ネットワーク カード (LAN カード) が正しく設定されていません。

解決方法　LAN カードが正しく設定されていることを確認します。

LAN カードを確認するには (Windows)

1. **[マイ コンピュータ]** を右クリックします。
2. **[システムのプロパティ]** ダイアログ ボックスで、**[ハードウェア]** タブをクリックします。
3. **[デバイス マネージャ]** をクリックします。
4. お使いのカードが **[ネットワーク アダプタ]** に表示されていることを確認します。
5. お使いのカードに付属するマニュアルを参照してください。

LAN カードを確認するには (Mac)

1. **[メニュー]** バーの **[Apple アイコン]** をクリックします。
2. **[この Mac について]** を選択して、**[詳しい情報]** をクリックします。
   システム プロファイラ が表示されます。
3. **[システム プロファイラ]** で **[ネットワーク]** をクリックします。
   LAN カードが一覧に表示されるのを確認します。

原因 ネットワーク接続がアクティブになっていません。

解決方法 ネットワーク接続がアクティブになっているか確認します。

ネットワーク接続がアクティブになっているか確認するには

➔ HP All-in-One の後部の RJ-45 Ethernet ジャックの上部と下部にある 2 つの Ethernet インジケータ ランプを確認します。 このランプは以下の状況を示します。
   a. 上部のランプ: このランプが緑に点灯している場合、デバイスはネットワークに正しく接続されていて、通信は確立しています。上部のランプが消えている場合、ネットワークに接続されていません。
   b. 下部のランプ: デバイスがデータをネットワーク経由で送信または受信すると、この黄色のランプが光ります。

アクティブなネットワーク接続を確立するには

1. HP All-in-One からゲートウェイ、ルータ、ハブまでのケーブル接続を確認して、確実に接続されていることを確認してください。
2. 正しく接続されている場合、HP All-in-One の電源を入れ直します。コントロール パネルの **On** ボタンを押して HP All-in-One の電源を切り、もう一度ボタンを押して電源を入れます。ルータまたはハブの電源も入れ直します。

システム要件エラー：TCP/IP が存在しない

原因 ローカル エリア ネットワーク (LAN) カードが正しく装着されていません。

解決方法 LAN カードが正しく装着され、TCP/IP 用に設定されていることを確認します。 LAN カードに付属しているマニュアルを参照してください。

インストール中に [プリンタが検出されませんでした] 画面が表示される

原因 HP All-in-One の電源が入っていません。

解決方法 HP All-in-One の電源をオンにします。

原因 ネットワーク接続がアクティブになっていません。

解決方法 ネットワーク接続がアクティブになっていることを確認してください。

ネットワーク接続がアクティブになっていることを確認するには

1. 正しく接続されている場合、HP All-in-One の電源を入れ直します。コントロール パネルの **On** ボタンを押して HP All-in-One の電源を切り、もう一度ボタンを押して電源を入れます。ルータまたはハブの電源も入れ直します。
2. HP All-in-One からゲートウェイ、ルータ、ハブまでのケーブル接続を確認して、確実に接続されていることを確認してください。
3. HP All-in-One が、CAT-5 Ethernet ケーブルでネットワークと接続されていることを確認します。

原因 ケーブルが正しく接続されていません。

解決方法　以下のケーブルを点検して、正しく接続されていることを確認してください。

- HP All-in-One とハブまたはルータ間のケーブル
- ハブまたはルータとコンピュータ間のケーブル
- モデムまたは HP All-in-One インターネット接続に使用されるケーブル (該当する場合)

原因　ファイヤーウォール、アンチウィルス、アンチスパイウェア プログラムにより HP All-in-One がコンピュータにアクセスできません。

解決方法　HP All-in-One ソフトウェアをアンインストールトーし、コンピュータを再起動します。 ファイアウォール、アンチウィルス、アンチスパイウェア プログラムを一時的に無効にし、HP All-in-One ソフトウェアを再インストールします。ファイヤーウォール、アンチウィルス、アンチスパイウェア プログラムはインストール完了後に有効に設定してください。ファイアウォールのポップアップメッセージが表示されたら、そのメッセージを承認または許可してください。

詳細は、ファイヤーウォール ソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

原因　仮想プライベート ネットワーク (VPN) により HP All-in-One がコンピュータにアクセスできません。

解決方法　VPN を一時的に無効にしてから、インストールを続けてください。

注記　HP All-in-One の機能は、VPN セッションの間制限されます。

原因　Ethernet ケーブルがルーター、スイッチ、ハブに接続されていないか、ケーブルに障害があります。

解決方法　ケーブルを正しく差し込むか、必要に応じて、別のケーブルを使用します。

原因　HP All-in-One は DHCP ではなく AutoIP アドレスを割り当てられています。

解決方法　つまり、HP All-in-One がネットワークに正しく接続されていないことを示します。

次の点を確認してください。

- すべてのケーブルが正しくしっかりと接続されていることを確認します。
- ケーブルが正しく接続されている場合、アクセス ポイント、ルーター、ゲートウェイがアドレスを送信していない可能性があります。この場合は、デバイスをリセットする必要があります。
- HP All-in-One が正しいネットワーク上にインストールされていることを確認します。

原因　HP All-in-One が間違ったサブネットまたはゲートウェイに設定されています。

解決方法　ネットワーク構成ページを印刷し、ルーターと HP All-in-One が同一のサブネットとゲートウェイ上にあることを確認します。

ネットワーク設定ページを印刷するには

1. HP All-in-One のコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. [**ネットワーク**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
3. [**ネットワーク設定を表示**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
4. [**ネットワーク設定ページの印刷**] がハイライト表示されるまで▼ を押し続け、 **OK** を押します。
   これにより、ネットワーク構成ページが印刷されます。

ルータなしにケーブル モデムを使用していて、IP アドレスがない

原因　ケーブル モデムを持つコンピュータを使用している場合で、他のコンピュータ用に独立したローカル エリア ネットワーク (LAN) があり、DHCP もルータも使用していない場合は、AutoIP を使用して他のコンピュータと HP All-in-One に IP アドレスを割り当てる必要があります。

解決方法

ケーブル モデムを持つコンピュータの IP アドレスを入手するには

➔ ケーブル モデムを持つコンピュータには、インターネット サービス プロバイダ (ISP) によって静的または動的 IP アドレスが割り当てられます。

それ以外のコンピュータと HP All-in-One に IP アドレスを割り当てるには

➔ それ以外のコンピュータと HP All-in-One には、AutoIP を使用して IP アドレスを割り当てます。 静的 IP アドレスは割り当てないでください。

ワイヤレス セットアップ トラブルシューティング

このセクションでは、ネットワークの設定中に発生する問題とその対処方法について説明します。個々のエラー メッセージについては、デバイスのディスプレイを確認してください。

- SSID が見えない
- 弱信号
- エラー メッセージ： ネットワークに接続できません
- エラー メッセージ： ネットワークに接続できません。 サポートされていない認証か暗号化タイプです
- エラー メッセージ： WEP キーが無効
- エラー メッセージ： パスフレーズが無効
- エラー メッセージ： 接続が確立する前に、アクセス ポイントが時間切れになりました。
- エラー メッセージ： 複数の Secure Ez Setup アクセス ポイントが見つかりました。
- エラー メッセージ： お使いのデバイスを接続する前に、他のデバイスがアクセス ポイントに接続しようとしました。

SSID が見えない

原因　[**ブロードキャスト SSID**] オプションがオフになっているため、アクセス ポイントがネットワーク名 (SSID) をブロードキャストしていません。

解決方法　埋め込み Web サーバーにアクセスし、[**ブロードキャスト SSID**] オプションをオンにしてください。 ワイヤレス設定ウィザードの [**新規ネットワーク名 (SSID) を入力する**] オプションを使用することもできます。

原因　アクセス ポイント (インフラストラクチャ) またはコンピュータ (アドホック) が通信範囲外にあります。

解決方法　HP All-in-One とアクセス ポイント (インフラストラクチャ) またはコンピュータ (アドホック) 間での良好な信号のやりとりを確立するには、いくつかの方法を試みる必要があります。 機器が正しく機能していると仮定して、次のような処置を個別に、あるいは組み合わせてみます。

- コンピュータまたはアクセス ポイントと HP All-in-One の間が離れている場合には、お互いが近づくよう移動させてください。
- 送信経路に金属製の障害物 (金属製の本箱や冷蔵庫など) が置いてある場合、HP All-in-One とコンピュータまたはアクセス ポイントの間の障害物を取り除いてください。
- コードレス電話や電子レンジなど、2.4 GHz の無線信号を発する電子機器が周辺にある場合は、無線干渉を低減するためにそれらの機器を遠ざけて置いてください。

原因　リストの末尾に SSID が見当たりません。

解決方法　▼ を押して、リストの末尾までスクロールしてください。 インフラストラクチャのエントリは最初に、アドホックは最後にリストされています。

原因　アクセス ポイントのファームウェアを更新する必要があります。

解決方法　製造メーカーの Web サイトで、お使いのアクセス ポイントを対象とするファームウェアのアップデートがあるか調べます。 アクセス ポイントのファームウェアを更新します。

原因　コンピュータのワイヤレス アダプタが SSID (アドホック) をブロードキャストしていません。

解決方法　ワイヤレス アダプタが SSID をブロードキャストしていることを確認します。 HP All-in-One からネットワーク構成ページを印刷し、SSID のワイヤレス アダプタがネットワーク構成ページに表示されているか確認してください。 ワイヤレス アダプタが SSID をブロードキャストしていない場合は、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

原因　コンピュータに取り付けたワイヤレス アダプタのファームウェアを更新する必要があります (アドホック)。

解決方法　製造メーカーの Web サイトで、お使いのワイヤレス アダプタを対象とするファームウェアのアップデートがあるか調べます。

原因　Ethernet ケーブルが HP All-in-One に接続されています。

解決方法　Ethernet ケーブルを HP All-in-One に接続していると、無線機能はオフになります。 Ethernet ケーブルを取り外してください。

弱信号

原因　アクセス ポイントが遠すぎるか、干渉が発生しています。

解決方法　HP All-in-One とアクセス ポイント間での良好な信号のやりとりを確立するには、いくつかの方法を試みる必要があります。 機器が正しく機能していると仮定して、次のような処置を個別に、あるいは組み合わせてみます。

- コンピュータまたはアクセス ポイントと HP All-in-One の間が離れている場合には、お互いが近づくよう移動させてください。
- 送信経路に金属製の障害物 (金属製の本箱や冷蔵庫など) が置いてある場合、HP All-in-One とコンピュータまたはアクセス ポイントの間の障害物を取り除いてください。
- コードレス電話や電子レンジなど、2.4 GHz の無線信号を発する電子機器が周辺にある場合は、無線干渉を低減するためにそれらの機器を遠ざけて置いてください。

エラー メッセージ : ネットワークに接続できません

原因　機器の電源がオフになっています。

解決方法　インフラストラクチャ ネットワークのアクセス ポイント、またはアドホック ネットワークのコンピュータなど、ネットワークでつながれたデバイスの電源をオンにしてください。 アクセス ポイントの電源をオンにする方法については、アクセス ポイントに付属のマニュアルを参照してください。

原因　HP All-in-One が信号を受信していません。

解決方法　アクセス ポイントと HP All-in-One の距離を近づけます。 次に、HP All-in-One のワイヤレス設定ウィザードをもう一度実行します。

原因　SSID が正しく入力されていません。

解決方法　SSID を正しく入力してください。 SSID は大文字と小文字を区別します。

原因　WEP キーが正しく入力されていません。

解決方法　WEP キーを正しく入力します。 WEP キーは大文字と小文字が区別されます。

原因　HP All-in-One のワイヤレス設定と、アクセス ポイントのワイヤレス設定が一致していません。

解決方法　埋め込み Web サーバーを使用して、HP All-in-One のワイヤレス設定と、アクセス ポイントのワイヤレス設定を比較します。 HP All-in-One またはアクセス ポイントのいずれかの設定を変更し、両方のワイヤレス設定が一致するようにします。

原因　間違ったモード (アドホックまたはインフラストラクチャ)、またはセキュリティ タイプを入力しました。

解決方法　正しいモード、またはセキュリティ タイプを選択してください。 埋め込み Web サーバーを使用して、HP All-in-One のワイヤレス設定と、お使いのアクセス ポイントのワイヤレス設定を比較します。 HP All-in-One またはアクセス ポイントのどちらかの設定を変更し、両方のワイヤレス設定が一致するようにします。

原因　アクセス ポイントの MAC フィルタ機能が有効に設定されています。

解決方法　MAC フィルタ機能は有効にしておきますが、アクセス ポイントと HP All-in-One が通信できるように設定を変更してください。

エラー メッセージ： ネットワークに接続できません。 サポートされていない認証か暗号化タイプです

原因　HP All-in-One がサポートしていない認証プロトコルがネットワークに設定されています。

解決方法　アクセス ポイントの埋め込み Web サーバーを開き、セキュリティ設定を変更します。 埋め込み Web サーバーにリストされた、サポートしている認証プロトコルのいずれかを使用してください。 サポートされて**いない**プロトコル タイプは、 LEAP、PEAP、EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-TTLS です。

エラー メッセージ： WEP キーが無効

原因　無効な WEP キーが入力されました。

解決方法　WEP キーを知らない場合は、アクセス ポイントに付属のマニュアルを参照してください。 WEP キーはアクセス ポイント内に保存されています。 通常は、お使いのコンピュータからアクセス ポイント の埋め込み Web サーバーにログインすると、WEP キーを確認することができます。

原因　アクセス ポイントの WEP キーのインデックス設定と、HP All-in-One の WEP キーのインデックス設定が一致していません。

解決方法　HP All-in-One は WEP キーのインデックス 1 を探しています。アクセス ポイントの WEP キーのインデックス設定が変更されている場合は、HP All-in-One の埋め込み Web サーバーを開いてインデックス設定を変更し、アクセス ポイントの設定と一致するようにします。 HP All-in-One のインデックス設定を変更したら、ワイヤレス設定ウィザードをもう一度実行します。

注記　アクセス ポイントによっては、2 つ以上の WEP キーを提供する場合があります。ワイヤレス ネットワークを設定するときは、必ず最初の WEP キー (インデックス 1) を使用してください。

エラー メッセージ： パスフレーズが無効

原因　WPA パスフレーズが正しく入力されていません。

解決方法　ワイヤレス設定ウィザードを使用して、正しいパスフレーズを入力します。 パスフレーズは 8 ～ 63 文字で、アクセス ポイントでプログラムされたパスフレーズと一致するようにします (大文字と小文字が区別されます)。

エラー メッセージ： 接続が確立する前に、アクセス ポイントが時間切れになりました。

原因　SecureEZ setup を使用して、アクセス ポイントの待ち時間が短いため、設定を完了する前に時間切れになりました。

解決方法　設定をもう一度始めて、時間内に終わらせてください。

エラー メッセージ： 複数の Secure Ez Setup アクセス ポイントが見つかりました。

原因　周辺の誰かが SecureEZ Setup を使用してデバイスを設定しています。

解決方法　設定を中止して、最初からやり直してください。

エラー メッセージ： お使いのデバイスを接続する前に、他のデバイスがアクセス ポイントに接続しようとしました。

原因　HP All-in-One が接続可能になる前に、周辺の他のデバイスがアクセス ポイントに接続しようとしました。

解決方法　設定を中止して、最初からやり直してください。

ネットワーク ソフトウェアのインストール時のトラブルシューティング

このセクションでは、ネットワークを接続したときや CD を挿入し、ソフトウェアのインストールを開始したときに発生する、ネットワーク設定関連の問題とその対処方法について説明します。

- システム要件エラー：TCP/IP が存在しない
- インストール中に [プリンタが検出されませんでした] という画面が表示される

システム要件エラー：TCP/IP が存在しない

原因　ローカル エリア ネットワーク (LAN) カードが正しく装着されていません。

解決方法　LAN カードが正しく装着され、TCP/IP 用に設定されていることを確認します。 LAN カードに付属しているマニュアルを参照してください。

インストール中に [プリンタが検出されませんでした] という画面が表示される

原因　ファイヤーウォール、アンチウィルス、アンチスパイウェア プログラムにより HP All-in-One がコンピュータにアクセスできません。

解決方法　HP All-in-One ソフトウェアをアンインストールトーし、コンピュータを再起動します。 ファイアウォール、アンチウィルス、アンチスパイウェア プログラムを一時的に無効にし、HP All-in-One ソフトウェアを再インストールします。ファイヤーウォール、アンチウィルス、アンチスパイウェア プログラムはインストール完了後に有効に設定してください。ファイアウォールのポップアップ メッセージが表示されたら、そのメッセージを承認または許可してください。

詳細は、ファイヤーウォール ソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

原因　仮想プライベート ネットワーク (VPN) により HP All-in-One がコンピュータにアクセスできません。

解決方法　VPN を一時的に無効にしてから、インストールを続けてください。

注記　HP All-in-One の機能は、VPN セッションの間制限されます。

原因　Ethernet ケーブルがルーター、スイッチ、ハブに接続されていないか、ケーブルに障害があります。

解決方法　ケーブルを再度取り付けます。必要に応じて、別のケーブルを使用します。

原因　HP All-in-One は DHCP ではなく AutoIP アドレスを割り当てられています。

解決方法　HP All-in-One がネットワークに適切に接続されていません。

次の点を確認してください。

- すべてのケーブルが正しくしっかりと接続されていることを確認します。
- ケーブルが正しく接続されている場合、アクセス ポイント、ルーター、ゲートウェイがアドレスを送信していない可能性があります。この場合は、HP All-in-One をリセットする必要があります。
- HP All-in-One が正しいネットワーク上にインストールされていることを確認します。

原因 HP All-in-One が間違ったサブネットまたはゲートウェイに設定されています。

解決方法 ネットワーク構成ページを印刷し、ルーターと HP All-in-One が同一のサブネットとゲートウェイ上にあることを確認します。詳細については、HP All-in-One に付属のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

原因 HP All-in-One の電源が入っていません。

解決方法 HP All-in-One の電源をオンにします。

紙詰まりの解消

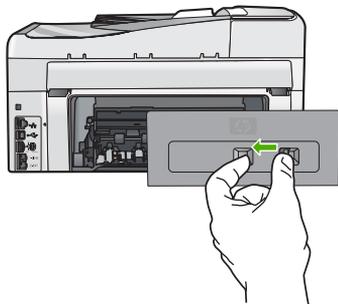
給紙トレイに用紙をセットした場合は、後部アクセスドアを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。

自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす場合もあります。次のような行為は、自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす原因となります。

- ドキュメント フィーダ トレイに紙を入れすぎる。自動ドキュメント フィーダには、レター サイズと A4 サイズの用紙は最大 50 枚、リーガル サイズの用紙は 35 枚までセットできます。
- HP All-in-One で厚すぎたり薄すぎたりする用紙を使用する。
- HP All-in-One が給紙中にドキュメント フィーダ トレイに用紙を追加する。

後部アクセスドアから詰まった紙を取り除くには

1. HP All-in-One の電源をオフにします。
2. 後部アクセス ドアにあるタブを押し、このカバーを取り外します。HP All-in-One からカバーを引いて取り外します。

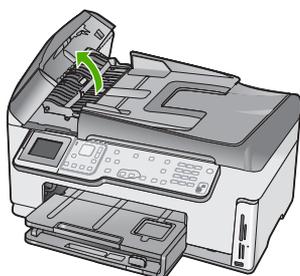
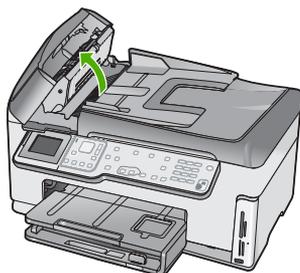
注意 HP All-in-One の正面側から詰まった紙を取り除くと、プリンタが損傷する場合があります。 必ず後部アクセスドアを開けて、詰まった用紙をプリンタから取り除いてください。

3. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

注意　ローラーから引き出している途中に用紙が破れた場合は、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。HP All-in-One に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

4. 後部アクセスドアを元に戻します。パチンと音がするまでカバーをゆっくり押し込みます。
5. HP All-in-One の電源をオンにし、 **OK** を押して作業を続けます。

自動ドキュメント フィーダから詰まった紙を取り除くには

注意　HP All-in-One のカバーを外して、原稿をガラス板から引っ張り出そうとしないでください。原稿が破損してしまいます。

1. ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り除きます。
2. 自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。

3. 自動ドキュメント フィーダ装置を外します。

4. 自動ドキュメント フィーダ装置内に詰まった用紙をゆっくりと引き出します。

注意　引き出している途中に用紙が破れてしまった場合、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。自動ドキュメント フィーダに紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

5. 自動ドキュメント フィーダ装置を下げ、自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。
カバーが完全に閉じると、カチッと音がして固定されます。

インク カートリッジに関する情報

印刷の品質を保つために、HP インク カートリッジの取り扱い方について、次のことに注意してください。

- インク カートリッジはパッケージを未開封のまま保管し、使用するときに開封してください。
- コントロール パネルの操作で HP All-in-One の電源を切ってください。 テーブルタップをオフにしたり、電源コードを HP All-in-One から抜いたりしないでください。 HP All-in-One の電源を不正な手段でオフにすると、プリント ヘッド アセンブリが正しい位置に戻らない場合があります。
- インク カートリッジは、常温 (15.6 ～ 26.6° C または 60 ～ 78° F) で保管してください。
- インク カートリッジは、交換用のカートリッジが取り付け可能になるまで HP All-in-One から外さないでください。HP All-in-One を持ち運ぶ場合、プリント ヘッド アセンブリからインクが漏れるのを防ぐため、インク カートリッジは、取り付けたままにしてください。
- 印刷品質が著しく低下した場合、プリント ヘッドのクリーニングを行ってください。
- プリント ヘッドのクリーニングを不必要に行わないでください。インクの無駄になり、カートリッジの寿命を縮めます。
- インク カートリッジは注意深く取り扱ってください。装着するときに、落としたり振ったり乱暴に取り扱うと、印刷が不調になることがあります。

インク カートリッジに関するメッセージ

このセクションは、HP All-in-One の使用中に表示される、インク カートリッジ関連のエラー メッセージを解決する場合にお読みください。

調整エラー

原因　給紙トレイに間違った種類の用紙がセットされています。

解決方法　プリンタを調整するときに、色付きの用紙またはフォト用紙が給紙トレイにセットされていると、調整に失敗します。レターまたは A4 の白い普通紙を給紙トレイにセットして、コントロール パネルの **OK** を押してください。

印刷できません

原因　示されたインク カートリッジにインクがありません。

解決方法　印刷を再開できるよう、示されたインク カートリッジをただちに交換してください。

示されたインク カートリッジが交換されるまで、HP All-in-One は印刷を続行できません。 すべての印刷が停止します。

詳細については、次を参照してください。

インク カートリッジの交換

次のインクカートリッジはデバイスの初期化後に使用することはできません。交換する必要があります。

原因　間違ったインク カートリッジが取り付けられています。

解決方法　デバイスの最初のセットアップ以降は、指示されたインク カートリッジを使用することができません。インク カートリッジを、HP All-in-One に対応するインク カートリッジと交換してください。お使いの HP All-in-One に対応する

全インク カートリッジの注文番号をご覧になる場合は、本ガイドに記載された指示に従ってください。

詳細については、次を参照してください。

インク カートリッジの交換

原因 インク カートリッジがこのデバイスに対応していません。

解決方法 HP サポートにお問い合わせください。 お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。

www.hp.com/support

–情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

インク カートリッジの問題

原因 示されたインク カートリッジが欠けているか、損傷しています。

解決方法 印刷を再開できるよう、示されたインク カートリッジをただちに交換してください。 HP All-in-One に欠けているインク カートリッジがない場合、インク カートリッジの接触部のクリーニングが必要です。

HP All-in-One に欠けているインク カートリッジがなく、インク カートリッジの接触部のクリーニングを行ってもこのメッセージが表示される場合、インク カートリッジが損傷しています。HP カスタマ・サポートにお問い合わせください。お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。

www.hp.com/support

–情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

詳細については、次を参照してください。

インク カートリッジの交換

インク カートリッジが空です

原因 示されたインク カートリッジにインクがありません。

解決方法 示されたインク カートリッジを新しいインク カートリッジと交換します。

詳細については、次を参照してください。

インク カートリッジの交換

インク カートリッジ期限切れ

原因 示されたインク カートリッジ内のインクが有効期限に達しました。

解決方法 インク カートリッジには、個別に有効期限が定められています。印刷システムの保護とインク品質の維持が有効期限の目的です。インク カートリッジの期限切れメッセージが表示された場合は、期限の切れたインク カートリッジを取り外して交換し、メッセージを閉じてください。インク カートリッジを交換しなくても印刷の続行は可能です。その場合は、HP All-in-One またはコンピュータ画面のインク カートリッジ有効期限切れのメッセージの指示に従ってください。有効期限に切れたカートリッジは交換することをお勧めします。HP では、使用期限の切れたインク カートリッジの品質または信頼性を保証することはできませ

ん。期限切れのインク カートリッジの使用に起因するプリンタのサービスや修理については保証対象になりません。

詳細については、次を参照してください。

- インク カートリッジの交換
- インク カートリッジの保証情報

使用期限が近づいています

原因　示されたインク カートリッジ内のインクの有効期限がまもなく切れます。

解決方法　いくつかのインク カートリッジの有効期限が近づいています。

インク カートリッジには、個別に有効期限が定められています。印刷システムの保護とインク品質の維持が有効期限の目的です。インク カートリッジの期限切れメッセージが表示された場合は、期限の切れたインク カートリッジを取り外して交換し、メッセージを閉じてください。インク カートリッジを交換しなくても印刷の続行は可能です。その場合は、HP All-in-One またはコンピュータ画面のインク カートリッジ有効期限切れのメッセージの指示に従ってください。有効期限に切れたカートリッジは交換することをお勧めします。HP では、使用期限の切れたインク カートリッジの品質または信頼性を保証することはできません。期限切れのインク カートリッジの使用に起因するプリンタのサービスや修理については保証対象になりません。

詳細については、次を参照してください。

- インク カートリッジの交換
- インク カートリッジの保証情報

HP 製以外のインク

原因　HP All-in-One が HP 製以外のインクを検出しました。

解決方法　該当するインク カートリッジを交換してください。

HP では、純正 HP インク カートリッジの使用を推奨しています。 純正 HP インク カートリッジは、HP プリンタで最高の性能が得られるように設計され、何度もテストされています。

注記　HP では、HP 製以外のインクの品質や信頼性については保証できません。 HP 製以外のインクの使用が原因で発生したプリンタの不具合や損傷に対するプリンタのサービスや修理は、保証ではカバーされません。

純正 HP インク カートリッジを購入されている場合、次のサイトを参照してください。

www.hp.com/go/anticounterfeit

詳細については、次を参照してください。

インク カートリッジの交換

HP 製インクがなくなりました

原因　示されたインク カートリッジ内の HP 製インクがなくなりました。

解決方法　示されたインク カートリッジを交換するか、コントロール パネルの **OK** を押して続行します。

HP では、純正 HP インク カートリッジの使用を推奨しています。 純正 HP インク カートリッジは、HP プリンタで最高の性能が得られるように設計され、何度もテストされています。

注記　HP では、HP 製以外のインクの品質や信頼性については保証できません。 HP 製以外のインクの使用が原因で発生したプリンタの不具合や損傷に対するプリンタのサービスや修理は、保証ではカバーされません。

詳細については、次を参照してください。

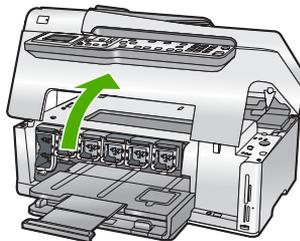
インク カートリッジの交換

プリント ヘッド アセンブリが停止

原因　プリント ヘッド アセンブリの動きが妨害されています。

解決方法　プリント ヘッド アセンブリをふさいでいるものを取り除いてください。

プリント ヘッド アセンブリに対する妨害を除去するには

1. プリントカートリッジアクセスドアを本体前面の中央から持ち上げて、ロックされるまで開きます。

2. 梱包用材料など、プリント ヘッド アセンブリをふさいでいるものを取り除きます。
3. HP All-in-One の電源を入れ直します。
4. プリントカートリッジアクセスドアを閉じます。

プリント ヘッドの故障

原因　プリント ヘッド アセンブリまたはインク供給システムが故障しており、HP All-in-One が印刷を実行できなくなりました。

解決方法　HP サポートにお問い合わせください。 お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。

www.hp.com/support

–情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

プリンタの調整に失敗

原因　給紙トレイに間違った種類の用紙がセットされています。

解決方法　プリンタを調整するときに、色付きの用紙またはフォト用紙が給紙トレイにセットされていると、調整に失敗します。レターまたは A4 の白い普通紙を給紙トレイにセットして、カートリッジの調整をもう一度行ってください。引き続き調整に失敗する場合は、センサーが故障している可能性があります。

HP サポートにお問い合わせください。 お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。

www.hp.com/support

–情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

原因　プリント ヘッド アセンブリまたはセンサーに問題があります。

解決方法　HP サポートにお問い合わせください。 お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。

www.hp.com/support

–情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

すぐにカートリッジを交換してください

原因　この警告は、1 つ以上のインク カートリッジのインクがないことを示します。

解決方法　プリント ヘッド部分に残っているインクで、短時間だけ、印刷を続行できます。示されたインク カートリッジを交換するか、コントロール パネルの **OK** を押して続行します。

詳細については、次を参照してください。

インク カートリッジの交換

間違ったインク カートリッジが装着されています

原因　間違ったインク カートリッジが取り付けられています。

解決方法　最初に HP All-in-One をセットアップして使用するときに、デバイスに付属のインク カートリッジが取り付けられていることを確認してください。付属するインク カートリッジのインクは、プリント ヘッド アセンブリのインクと混ぜ合わさる特別な仕組みになっています。

このエラーを解決するには、該当するインク カートリッジを HP All-in-One に付属のインク カートリッジと交換します。

詳細については、次を参照してください。

インク カートリッジの交換

インク カートリッジがない、正しく装着されていない、またはデバイスに対応していない

原因　1 つまたは複数のインク カートリッジが欠けています。

解決方法　インク カートリッジを取り外してからもう一度挿入し、カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。

原因　1 つまたは複数のインク カートリッジが装着されていないか、または正しく装着されていません。

解決方法　インク カートリッジを取り外してからもう一度挿入し、カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。問題が続く場合は、プリント カートリッジの銅色の接点をクリーニングしてください。

原因　インク カートリッジに問題があるかこのデバイス用のものではありません。

解決方法　印刷を再開できるよう、示されたインク カートリッジをただちに交換してください。 HP All-in-One に欠けているインク カートリッジがない場合、インク カートリッジの接触部のクリーニングが必要です。

HP All-in-One に欠けているインク カートリッジがなく、インク カートリッジの接触部のクリーニングを行ってもこのメッセージが表示される場合、インク カー

トリッジが損傷しています。HP カスタマ・サポートにお問い合わせください。次のサイトを参照してください。

www.hp.com/support

–情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

詳細については、次を参照してください。

インク カートリッジの交換

原因　間違ったインク カートリッジが取り付けられています。

解決方法　最初に HP All-in-One をセットアップして使用するときに、デバイスに付属のインク カートリッジが取り付けられていることを確認してください。これらのインク カートリッジのインクは、プリント ヘッド アセンブリのインクと混合するよう、特別に考案されています。

このエラーを解決するには、影響を受けたインク カートリッジを HP All-in-One に付属のインク カートリッジと交換します。

詳細については、次を参照してください。

インク カートリッジの交換

サポート プロセス

お困りのときは、以下の手順に従ってください。

1. HP All-in-One に付属するマニュアルを確認してください。
2. HP オンラインサポート Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。HP オンラインサポートは、HP のすべてのお客様がご利用いただけます。このサイトには常に最新のデバイス情報や専門的アドバイスが公開され、他にも以下のようなサービスが用意されています。
   – 専門のオンラインサポート担当者へのお問い合わせ
   – お使いの HP All-in-One 用ソフトウェアおよびドライバアップデート
   – 有用な HP All-in-One 情報および一般的な問題に対するトラブルの解決方法
3. HP サポートにお電話ください。ご利用できるサポート オプションは、デバイス、国/地域、および言語により異なります。

電話による HP サポート

サポート電話番号については、このガイドの裏紙裏の情報を参照してください。

- 電話サポートの期間
- 電話でのご連絡
- 電話サポート期間終了後のサポート

電話サポートの期間

1 年間有効の電話サポートは、北米、アジア太平洋、ラテン アメリカ (メキシコ含む) の各国で利用できます。ヨーロッパ、中東、アフリカ各国での電話サポートの期間については、 www.hp.com/support を参照してください。規定の通話料金がかかります。日本では期間限定はありません。

電話でのご連絡

HP サポートにお電話をおかけになる際は、コンピュータと HP All-in-One の前からおかけください。また、以下の情報を事前にご用意ください。

- モデル番号 (HP All-in-One 前面のラベルに記載)
- シリアル番号 (HP All-in-One 背面または底面に記載)
- 問題が発生したときに表示されたメッセージ
- 次の質問に対するお答え
  - この問題が以前にも起こったことがありますか？
  - 問題をもう一度再現できますか？
  - この問題が起こった頃に、新しいハードウェア、またはソフトウェアをコンピュータに追加しましたか？
  - この問題が起きる前に、雷雨があったり HP All-in-One を移動したなど、何か特別なことはありませんでしたか？

電話サポート期間終了後のサポート

電話サポート期間終了後は、追加費用を支払うことで HP のサポートをご利用いただけます。サポートは、HP オンラインサポート Web サイト www.hp.com/support でもご利用いただけます。サポートオプションの詳細については、HP 取扱店またはお住まいの国/地域のサポート電話番号にご連絡ください。日本では期間限定はありません。

電話でのご連絡

HP サポートにお電話をおかけになる際は、コンピュータと HP All-in-One の前からおかけください。また、以下の情報を事前にご用意ください。

7 技術情報

このセクションでは、HP All-in-One の技術仕様および国際的な規制について説明します。

システム要件

ソフトウェアのシステム要件は、Readme ファイルに収録されています。

用紙の仕様

このセクションでは、用紙トレイの機能と用紙サイズについて説明します。

用紙トレイの収容枚数

種類	用紙の重量	用紙トレイ*	排紙トレイ†	フォト トレイ*
普通紙	20 ～ 24 lb. (75 ～ 90 gsm)	最大 100 (20 lb. の用紙)	50 (20 lb. の用紙)	該当なし
リーガル用紙	20 ～ 24 lb. (75 ～ 90 gsm)	最大 100 (20 lb. の用紙)	50 (20 lb. の用紙)	該当なし
カード	110 lb. (200 gsm)	最高 40 枚	25	最高 20 枚
封筒	20 ～ 24 lb. (75 ～ 90 gsm)	最高 10 枚	10	該当なし
OHP フィルム	なし	最高 30 枚	15 以下	該当なし
ラベル紙	なし	最高 30 枚	25	該当なし
10 × 15 cm (4 × 6 インチ) フォト用紙	145 lb. (236 gsm)	最高 30 枚	25	最高 20 枚
216 × 279 mm (8.5 x 11 インチ) フォト用紙	なし	最高 30 枚	10	該当なし

* 最大収容枚数。

† 排紙トレイの収容枚数は、用紙の種類および使用するインクの量によって異なります。排紙トレイは、頻繁に空にしてください。

* 最大収容枚数。

用紙サイズ

すべての対応用紙サイズについては、プリンタソフトウェアで確認してください。

印刷の仕様

- 最大解像度 1200 x 1200 dpi はコンピュータからモノクロ印刷した場合
- 最大解像度 4800 x 1200 dpi は入力データ解像度を 1200 dpi に設定し、コンピュータからカラー印刷した場合
- 印刷速度はドキュメントの複雑さによって異なる

- パノラマ サイズ印刷
- 方式 :オンデマンド型サーマル インクジェット
- 言語： PCL3 GUI
- 動作周期 : 最高 3000 ページの印刷/月

コピーの仕様

- コピー解像度最大 4800 x 4800
- デジタルイメージ処理
- 原稿のコピーは 99 枚まで (モデルによって異なります)
- ズーム 400%、ページに合わせる (モデルによって異なります)
- コピー速度はドキュメントの複雑さによって異なります

スキャンの仕様

- イメージエディター内蔵
- 統合 OCR ソフトウェアによってスキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換 (インストールされている場合で、Windows のみ)
- Twain 互換 インタフェース
- 解像度： 最大光学解像度 4800 x 4800 dpi (モデルによって異なる)、 19200dpi (拡張)(ソフトウェア)
- カラー： 48 ビット カラー、8 ビット グレースケール (256 階調の灰色)
- ガラス板からの最大スキャン サイズ：21.6 x 29.7 cm

ファクスの仕様

- Walk-up 方式のモノクロおよびカラー ファクス機能
- 最大 110 件の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)
- 最大 120 ページのメモリ (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合で、モデルよって異なります)より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 手動ファクス送受信。
- 最大 5 回のビジー自動リダイヤル (モデルによって異なります)
- 1 回の応答なし自動リダイヤル (モデルによって異なります)
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート
- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー訂正モード対応)
- 伝送速度 33.6 Kbps
- 36.6 Kbps の場合の伝送速度は 3 秒/枚 (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合)。より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファクス/留守番電話の自動切り替え

	写真 (dpi)	超高画質 (dpi)	高画質 (dpi)	標準 (dpi)
モノクロ	200 x 200 (8 ビット グレースケール)	300 x 300	200 x 200	200 x 100
カラー	200 x 200	200 x 200	200 x 200	200 x 200

技術情報

物理的仕様

仕様	開いた場合	閉じた場合
高さ	45.7 cm	24.7 cm
幅	49.3 cm	45.7 cm
奥行	43.9 cm	38.5 cm
重量	9.5 kg	9.5 kg

電気的仕様

- 消費電力: 最大 50 W (印刷時平均)
- 入力電圧: AC 100 ～ 240 V、1 A、50 / 60 Hz、アース済み
- 出力電圧： DC 32 V===1560

環境仕様

- 推奨される動作時の温度範囲： 15° ～ 35℃
- 許容される動作時の温度範囲 :5° ～ 40℃
- 湿度： 20% ～ 80% RH (結露しないこと)
- 非動作時 (保管時) の温度範囲： -40 ～ 60 ℃
- 強い電磁気が発生している場所では、HP All-in-One の印刷結果に多少の歪みが出るおそれがあります。
- 強い電磁気が原因で発生するインクジェットのノイズを最小化するために、使用する USB ケーブルは長さが 3 m 以下のものとしてください。

騒音に関する情報

インターネットにアクセス可能な場合は、騒音に関する情報を次の HP Web サイトから入手することができますお問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。
www.hp.com/support

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。 HP の環境保全のための プロダクト スチュワード プログラムについては、オンスクリーン ヘルプを参照してください。

規制に関する告知

HP All-in-One は、お住まいの国/地域の規制当局からの製品要件に適合しています。すべての規制に関する告知については、オンスクリーン ヘルプで確認してください。

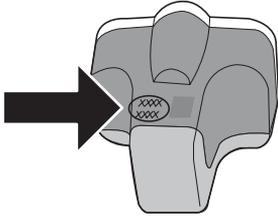
規制モデルの ID 番号

規制上の識別を行うために、本製品には規制モデル番号が指定されています。本製品の規制モデル番号は、SDGOB-0605-02 です。この規制番号は、商品名 (HP Photosmart C6100 All-in-One series 等) 、または製品番号 (Q8191A 等) とはまったく別のものです。

インク カートリッジの保証情報

HP インク カートリッジの保証は、製品が指定された HP プリンタで使用された場合に適用されます。この保証は、詰め替え、再生、刷新、誤用、改造のいずれかを行った HP インク製品には適用されません。

保証期間内に HP インクを使い切っていないこと、保証期限が切れていないことが製品に保証が適用される条件です。保証の有効期限は、下記のように製品上に年/月/日形式で示されます。

技術情報

保証

HP 製品	限定保証期間
ソフトウェア メディア	90 日
プリンタ	1 年
プリントまたはインク カートリッジ	HP インクが空になった時点か、カートリッジに記載されている「保証期限」のいずれか早い時点まで。本保証は、インクの詰め替え、改造、誤使用、または不正な改修が行われた HP インク製品には適用されません。
アクセサリ	90 日

A. 限定保証の有効範囲
1. Hewlett-Packard (以下 HP) は、ご購入日から上記の指定期間中、設計上および製造上の不具合のないことを保証いたします。
2. HP のソフトウェア製品に関する保証は、プログラムの実行エラーのみに限定されています。HP は、製品操作によって電磁波障害が引き起こされた場合は保証しません。
3. HP の限定保証は、製品の通常使用により発生した欠陥のみを対象とします。下記に起因する不具合を含むその他の不具合には適用されません。
   a. 不適切なメンテナンスや改修
   b. 他社により提供またはサポートされているソフトウェア、部品、またはサプライ品の使用
   c. 製品使用外の操作
   d. 不正な改修や、誤使用
4. HP プリンタ製品に HP 製品以外のインク カートリッジやインクを詰め替えたカートリッジを使用した場合は、保証の対象、または HP サポートの対象から外れます。ただし、プリンタの故障や損傷が HP 製以外の詰め替え用インク カートリッジの使用によって発生した場合は HP は標準時間と実費にて特定の故障または損傷を修理いたします。
5. HP は、保証期間中に HP の保証対象となる製品の不良通知を受け取った場合、HP の判断に従って製品を修理または交換するものとします。
6. HP の保証対象となる欠陥製品の修理や交換が適用範囲で行えない場合、HP は、欠陥通知を受け取ってからしかるべき期間内に購入代金返還を行います。
7. HP は、お客様が欠陥製品を HP へ返却するまでは、修理、交換、返金を行う義務はないものとします。
8. 交換製品は、新品、またはそれに類する製品で、機能的には少なくとも交換に出された製品と同等のものとします。
9. HP 製品は、パーツ、コンポーネントや素材を再利用して製造する場合がありますが、これらの性能は新しいものと同等です。
10. HP の限定保証は、HP 製品が販売されているすべての国と地域で有効とします。出張修理などの追加保証サービス契約については、HP 製品販売国/地域における正規の HP サービス センタ、または正規輸入代理店までご相談ください。.

B. 保証の限定

国/地域の法律によって認められる範囲内で、当社および第三者の納入業者のいずれも、保証条件、製品品質、および特定の目的に関して本保証以外に明示的または黙示的に保証をすることはありません。

C. 限定責任
1. 国/地域の法律によって認められる範囲内で、本保証に規定された救済が、お客様のみに限定された唯一の救済になります。
2. 本保証に規定された義務を除いて、HP または第三者は、損傷について、直接的、間接的、特別、偶発的、必然的であるかどうか、あるいは、契約、不法行為、その他の法的理論に基づくかどうかに関わらず、またそのような損傷の可能性を説明しているかどうかに関わらず、責任は負わないものとします。.

D. 国/地域ごとの法律
1. 本保証によって、お客様に特定の法的権利が付与されます。この権利は、米国およびカナダについては州ごとに、その他の国については国ごとに付与されることがあります。
2. この保証書の内容と国/地域の法律が整合しない場合、本保証書は地域の法律に合致するように修正されるものとします。このような国/地域の法律の下で、一部の警告文と限定保証はお客様に適用されない場合があります。たとえば、米国の複数の州、また米国以外の政府 (カナダの州を含む) などでは、以下のとおりとなります。
   a. 本保証書の警告文と限定保証を、お客様の法廷権利の制限からあらかじめ除外する場合があります (例：イギリス)。
   b. その他に製造元が保証を認めないことや限定を設けることとについて規制すること。
   c. お客様に追加の保証権利を提供すること、製造業者が責任を逃れられない暗黙の保証期間を規定すること、および暗黙の保証期間に対する限定を認めないこと。
3. 本保証の条項は法律の及ぶ範囲内までとし、除外、制限、または修正などはしないものとします。また、義務づけられた法的権利は、お客様への HP 製品の販売に適用されます。

索引

021 672 280	الجزائر
Argentina (Buenos Aires) Argentina	54-11-4708-1600 0-800-555-5000
Australia Australia (out-of-warranty)	1300 721 147 1902 910 910
Österreich	+43 0820 87 4417
17212049	البحرين
België Belgique	+32 070 300 005 +32 070 300 004
Brasil (Sao Paulo) Brasil	55-11-4004-7751 0-800-709-7751
Canada	1-(800)-474-6836 (1-800 hp invent)
Central America & The Caribbean	www.hp.com/support
Chile	800-360-999
中国	021-3881 4518 800-810-3888
Colombia (Bogotá) Colombia	571-606-9191 01-8000-51-4746-8368
Costa Rica	0-800-011-1046
Česká republika	810 222 222
Danmark	+45 70 202 845
Ecuador (Andinatel) Ecuador (Pacifitel)	1-999-119 800-711-2884 1-800-225-528 800-711-2884
(02) 6910602	مصر
El Salvador	800-6160
España	+34 902 010 059
France	+33 0892 69 60 22
Deutschland	+49 01805 652 180
Ελλάδα (από το εξωτερικό) Ελλάδα (εντός Ελλάδας) Ελλάδα (από Κύπρο)	+ 30 210 6073603 801 11 75400 800 9 2654
Guatemala	1-800-711-2884
香港特別行政區	(852) 2802 4098
Magyarország	06 40 200 629
India	1-800-425-7737 91-80-28526900
Indonesia	+62 (21) 350 3408
+971 4 224 9189	العراق
+971 4 224 9189	الكويت
+971 4 224 9189	لبنان
+971 4 224 9189	قطر
+971 4 224 9189	اليمن
Ireland	+353 1890 923 902
1-700-503-048	ישראל
Italia	+39 848 800 871
Jamaica	1-800-711-2884

日本 日本 (携帯電話の場合)	0570-000511 03-3335-9800
0800 222 47	الأردن
한국	1588-3003
Luxembourg Luxemburg	+352 900 40 006 +352 900 40 007
Malaysia	1800 88 8588
Mauritius	(262) 262 210 404
México (Ciudad de México) México	55-5258-9922 01-800-472-68368
081 005 010	المغرب
Nederland	+31 0900 2020 165
New Zealand	0800 441 147
Nigeria	(01) 271 2320
Norge	+47 815 62 070
24791773	عُمان
Panamá	1-800-711-2884
Paraguay	009 800 54 1 0006
Perú	0-800-10111
Philippines	2 867 3551
Polska	22 5666 000
Portugal	+351 808 201 492
Puerto Rico	1-877-232-0589
República Dominicana	1-800-711-2884
Reunion	0820 890 323
România	0801 033 390
Россия (Москва) Россия (Санкт-Петербург)	095 777 3284 812 332 4240
800 897 1415	السعودية
Singapore	6 272 5300
Slovensko	0850 111 256
South Africa (international) South Africa (RSA)	+ 27 11 2589301 0860 104 771
Rest of West Africa	+ 351 213 17 63 80
Suomi	+358 0 203 66 767
Sverige	+46 077 120 4765
Switzerland	+41 0848 672 672
臺灣	02-8722-8000
ไทย	+66 (2) 353 9000
071 891 391	تونس
Trinidad & Tobago	1-800-711-2884
Türkiye	+90 212 444 71 71
Україна	(044) 230-51-06
600 54 47 47	الإمارات العربية المتحدة
United Kingdom	+44 0870 010 4320
United States	1-(800)-474-6836
Uruguay	0004-054-177
Venezuela (Caracas) Venezuela	58-212-278-8666 0-800-474-68368
Viêt Nam	+84 88234530